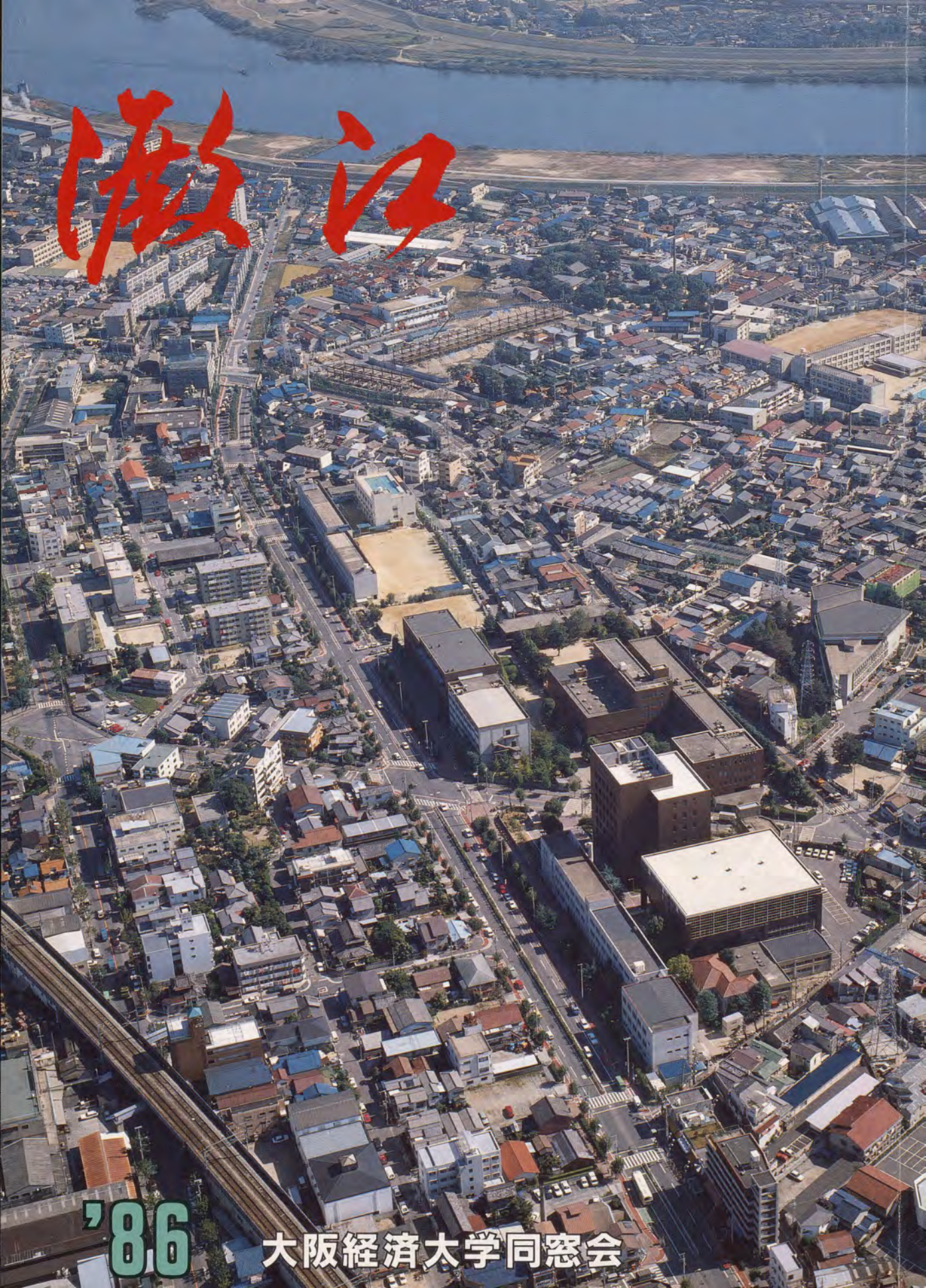


# 淀江



'86

大阪経済大学同窓会



竣工式

本学の弥栄を  
祈念して



定礎除幕式

記念館竣工祝賀会 5月10日

於・記念館7階 黒正展示ホール



美酒に喜びを感じて



# 50周年記念館竣工式 祝賀会

特集

座談会 新堀通也先生を囲んで  
今後の大学教育と私大の特色づくり

● 同窓会本部だより

昭和61年度理事会盛會裡に終了・支部長会開催  
——大学と活発に意見交換・同窓会総会(60・61年度)

● 同窓会支部だより

待望の大阪市支部が誕生  
備後支部(仮称)の発足もまぢか

● 学園の近況

● ゼミ短信・先生の近況

● キャンパスだより

● 同期生クラブOB会

● 北から南から

全国の同窓生の近況、希望、母校50周年の所感

50周年記念館竣工、同窓生各位に  
謝意を表す

理事長選任のごあいさつ

学長就任のごあいさつ

話題の同窓生

同窓会支部役員  
事務局だより

5

23

43

59

67

71

84

18

43

44

82

86

89

92

三木 薫さん

新堂友衛さん

小谷哲生さん

関田庄司さん

梶村文弥さん

林 武さん

渡辺達好さん

松本旬弘さん

青山貞二さん

深田 稔さん

山本晴義

磯野 斉

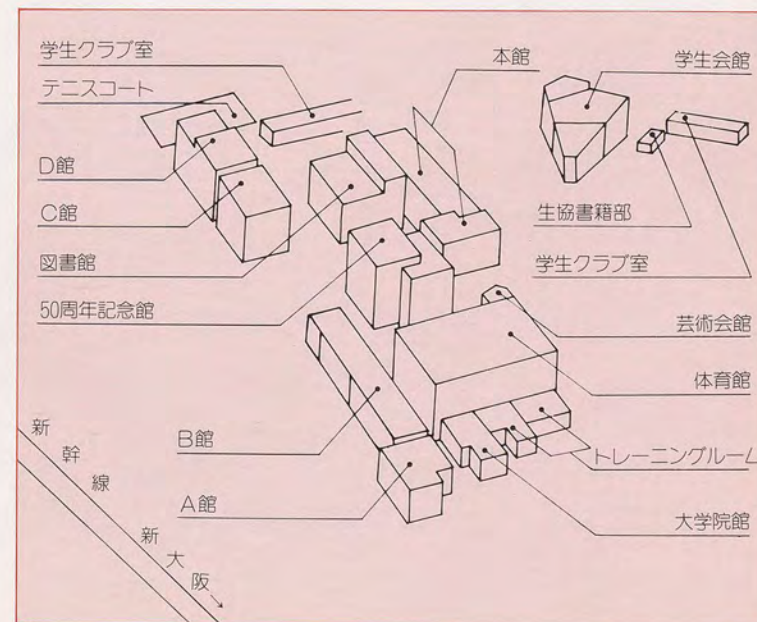
93

● 表紙写真

母校の上空から、竣工成った50周年記念館を撮らえる。  
(昭和61年10月20日撮影)

● 表紙題字

名誉会長の渡辺達好氏の筆によるもの。

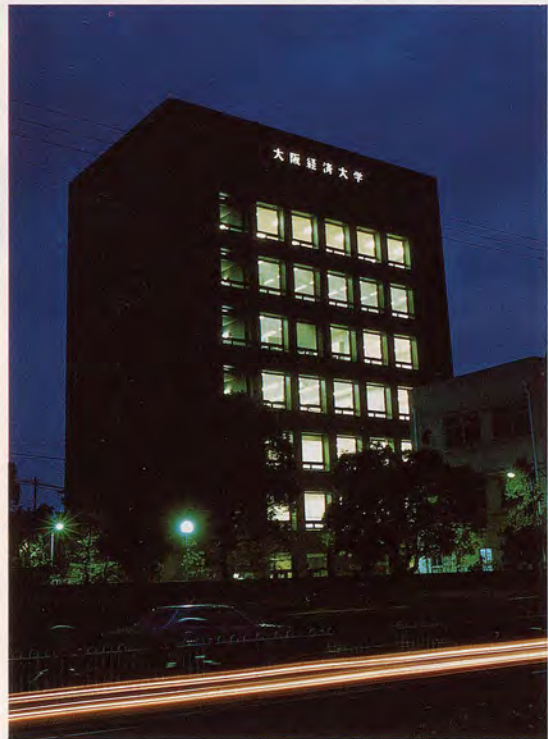




門標が変わりました



東キャンパスから眺む



記念館の夜景——新幹線の車窓から見えます



学生だんらん | Fホール

# 特集 座談会

## 新堀通也先生を囲んで

# 今後の大学教育と 私大の特色づくり

日時

昭和61年9月13日(土)午後5時～8時半

場所

本学50周年記念館同窓会ホール

出席者

- 新堀通也 (広島大学名誉教授)
- 近藤秀磨 (本学助教授)
- 松本義和 (同窓会副会長)
- 西本集一 (同窓会広報部長)
- 前田悦子 (同窓会広報部)
- 波根伸俊 (同窓会広報部)

(略敬称)



18歳人口の増減期を迎え、教育問題とりわけ高等教育に関する話題にはこと欠かない昨今である。

また、母校は創立50周年を経、新しい半世紀へ向けて始動を開始した。卒業生として母校の針路は信じてやまないが、母校の厳しい環境を我々も一緒に考えてみようという企画したのがこの座談会である。

ゲストの新堀通也先生は、この分野では得難い学識経験者で、幸い私達の企画に賛同し多忙をおしてご出席をいただいた。当企画の協力者でもある母校の近藤秀磨先生ともどもに厚く御礼を申し上げます。

(なお、本文中に掲載の図表は、『臨教審だより』所収の「目で見る教育」より転載した。快く承諾された同審議会事務局にお礼申し上げます。)

## 61年度同窓会総会



▲流政之氏作品を記念館に贈る



▲記念館見学 黒正展示ホール



▲ディスプレイを見つめるOB 難しいモンダ!

## 60年度同窓会総会





新堀 通也 (しんぼり みちや)

プロフィール

大正10年、神戸市生まれ。昭和20年、広島文理科大学(広島大学の前身)卒業。教育社会学専攻、文学博士。広島高等師範学校教授を経て広島大学教授。その間、シカゴ大学留学、文部省社会教育官、広島大学教育学部長、同大学大学教育研究センター長、日本教育社会学会会長などを歴任。昭和61年より、広島大学名誉教授、武庫川女子大学教授、同大学教育研究所長。

〔最近の高等教育関係主要著書〕 『日本の大学教授市場』(昭40 東洋館) 『デュルケム研究』(昭41 文化評論社) 『学歴』(昭41 ダイアモンド社) 『学生運動の論理』(昭44 有信堂) 『学閥』(昭44 福村出版) 『高学歴社会の教育』(昭50 第一法規) 『日本の学界』(昭53 日経新書) 『学者の世界』(昭56 福村出版) 『大学教授職の総合的研究』(昭59 多賀出版) 『学問の社会学』(昭59 東信堂) 『大学生』(昭60 至文堂) 『知日家の誕生』(昭61 東信堂) ほか多数。

しかし、大学と申しましても、世界的に見ればいろんなタイプがある。たとえば、アダムソンという方が大学を国別に四つの型に分けて考えています。一つはアングロサクソン、英米型と称される型です。この型の特徴は一般の学部は一般教養を主として、広い意味での教養ある市民を育成する。大学院ないしは専門学部はプロフェッショナルを養成する。そういったのが英米型と言われています。第二はソ連型で、大学は、たとえば鉱山大学であるとか映画大学であるとか、非常に狭い職業人を養成する——単科大学方式の特徴としております。第三は北ヨーロッパ型ですが、大学は大体学問研究を中心とする。大学のほかに、ドイツ語ではテーハー(T.H.)と言っていますが、技術系の高等教育機関が別個にある。これが北ヨーロッパ型、ドイツ型です。第四はフランスを中心にした南欧型で、大学は一般的な教育を行い、専門的なエリート

の改革について”の国際セミナーを開きました。私も参加したのですが、アメリカ側の代表者の一人はニューマンで、『高等教育に関するニューマンレポート』を書き非常に有名な方です。もう一人は私立のイサカ大学の学長で、私大連盟の会長でもあるウエーレンという方です。日本側で基調講演をやられ、中心的な講師になられたのは、臨教審の委員でもある、名古屋大学長の飯島先生です。日米の高等教育に関するセミナーですが、日本とアメリカの大学は非常に違った点もあるが、似た面もあります。そこでも問題になっていることは何かというようなことを中心に、2日間論じあつたわけです。マス化といいますが、世界でアメリカは大学が最も普及してある。日本はそれに次ぐ大学の普及状態にあるので共通点も多い。つまり、進学率が上昇して大学がマス化、大衆化する状況のもとでどういった問題が出てくるか、大学をどう改革し、どう活性化するか、というようなことを中心に論じあつたのです。大学は世界的に見て1960年代から急激な拡大を遂げました。これを教育爆発という名称で呼んでいるのですが、大学教育、高等教育が非常に普及をしたことから教育危機、教育のクライシスという状況、質の低下とか、大学が社会から取り残される傾向とかが起きた。その危機を象徴したのが1960年代の大学紛争です。この大学でもあつたようですが、その危機を解消するため、いろんな大学

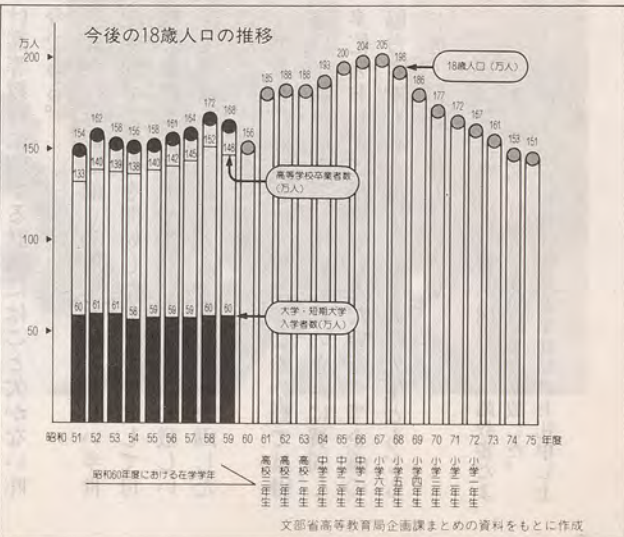
養成機関を大学以外につくる。これをフランスではグラン・ゼコールと言っております。たとえば高等師範学校であるとか、エコールポリテクニク(理工科学校)であるとか、超エリートを非常に選択的に養成します。日本は、はたしてどれに入るのか。日本の大学は戦後アメリカをモデルにしたと考えられておりますから、この四つの分類で言えば英米型に入ると思われます。しかし、そういういろんな型にもかわらず、現在、特に日本とかアメリカやヨーロッパの国々に共通に見られる傾向があります。なにかなく日本やアメリカのように高等教育が非常に普及した国では、次のような特徴があるのではないかなと思っております。大学の 大衆化 学生数が非常に勢いで伸びてくる。アメリカではほとんど50パーセントの人達が高等教育を受ける。これは日本以外の国で特に言えることです。これが、学生層の変化としていくつの特徴があります。その①は今後の日本の大学をどうするかという問題にも関係してきますが、年齢の高い学生が増えてきたという現象です。たとえば、アメリカの場合で言えば、全学生の4割近い学生は25歳以上、日本で言えば社会人と申しますか、そういう学生です。これが世界的な傾向、特にアメリカ、ヨーロッパの、中でもスウェーデンといった国がそうです。年長学生が増えると、当然それに対する教育のあり方も違ってくるということになります。その②の世界的な傾向は、パートタイムの学生、働きながら学ぶという学生の割合が増えてくる。これも一つの現象です。その③、これは国際化その他にも若干通じますが、いわゆる少数民族、マイノリティと言われている人々が増えてきます。アメリカなんかで申しますと、全学生の10パーセントは白人以外の学生が入ってくる。従来大学が伝統的に扱っておった階層ないし民族以外の学生が増えてくる。その④は、女子の比率が増えてきたことです。アメリカで申しますと半数以上、51パーセントは女子学生ということになります。その基本には、教育の機会均等という原理

世界への 大学教育 新堀 今月のはじめごろ、大阪のアメリカ文化センターが四国の松山で、「世界の高等教育

座談会 本日は、新堀先生には、ご多忙のところ私どもの企画いたしました座談会にご出席いただき、まことにありがとうございます。 さて、本学はすでに50周年を経て、新しい半世紀へ向けてダイナミックに歩みはじめております。本学関係者は、大学の充実、発展のために、それぞれの分野で努力いたしておりますが、この度は、高等教育問題にご造詣の深い、教育学界の重鎮でいらっしゃいます新堀先生をお迎えして、同窓会としてもこの問題を取り上げ、この際読者と一緒に考えてみたいと思っております。 本日は、50周年事業で完成しました記念館を舞台にこれから約2時間、なごやかな中にも実りある座談会にいたしたいと思います。 座談会の骨子は、大体四つに分けて考えております。一つは最近の高等教育の事情について。二つには今後の大学教育の方向について。三番目は私立大学における特色づくりについて。四番目には魅力ある大学づくりについて。こころ四つを中心に、これからいろいろとお話を願いたいと思います。 それでは早速ですが、ご専門の高等教育、なかんずく今後の大学教育の問題をどのようにお考えになっているか、あらましのところをまずお話しただきたいと思っております。

の改革について”の国際セミナーを開きました。私も参加したのですが、アメリカ側の代表者の一人はニューマンで、『高等教育に関するニューマンレポート』を書き非常に有名な方です。もう一人は私立のイサカ大学の学長で、私大連盟の会長でもあるウエーレンという方です。日本側で基調講演をやられ、中心的な講師になられたのは、臨教審の委員でもある、名古屋大学長の飯島先生です。日米の高等教育に関するセミナーですが、日本とアメリカの大学は非常に違った点もあるが、似た面もあります。そこでも問題になっていることは何かというようなことを中心に、2日間論じあつたわけです。マス化といいますが、世界でアメリカは大学が最も普及してある。日本はそれに次ぐ大学の普及状態にあるので共通点も多い。つまり、進学率が上昇して大学がマス化、大衆化する状況のもとでどういった問題が出てくるか、大学をどう改革し、どう活性化するか、というようなことを中心に論じあつたのです。大学は世界的に見て1960年代から急激な拡大を遂げました。これを教育爆発という名称で呼んでいるのですが、大学教育、高等教育が非常に普及をしたことから教育危機、教育のクライシスという状況、質の低下とか、大学が社会から取り残される傾向とかが起きた。その危機を象徴したのが1960年代の大学紛争です。この大学でもあつたようですが、その危機を解消するため、いろんな大学

またどの国でも、いわゆる財政危機が到来しました。いままでもふんだんに大学に金を回すことができたのに対して、大学に投資する金が少なくなってきました。この二つの新しい危機を受けて、大学が大衆化の中でいかに生き残るか。こういう問題が緊急の問題として浮かび上がってきました。これは時代の流れでもあると思うのです。 改革、教育改革が主張されました。これが60年代以後の大きな流れなのです。 しかし、1970年代の後半以降、拡張に一種の歯止めがかかってきております。その歯止めの一つは18歳人口の急激な増減少という人口構造の変化で、大学のお客さんが少なくなりました。 またどの国でも、いわゆる財政危機が到来しました。いままでもふんだんに大学に金を回すことができたのに対して、大学に投資する金が少なくなってきました。この二つの新しい危機を受けて、大学が大衆化の中でいかに生き残るか。こういう問題が緊急の問題として浮かび上がってきました。これは時代の流れでもあると思うのです。



が働いており、スウェーデンでは、25歳以上の年齢層で5年間労働経験を持った人達には優先的に入学させるといふ割当制が法律的にできている。アメリカで申しますと、特に州立の大学、中でもコミュニケーションはオープン・アドミッションで、志願者は全員入学させるといふ政策を取っています。そこで従来大学が相手になっていた層以外の種類の人々がたくさん入ってくるようになった。これが一つの傾向であります。この様な大学のマス化に対応して、いろんな方策が取られることとなります。

大衆化・多様化

への対応

どういふ対策が取られるかということでも高等教育の代表的な研究者の一人であるトロローは、いままでの大学は書物や知識を中心にしてきた。これに対して、書物からアクション、行動を中心にするような教育を行うようになった。いままでの教育では、学生は一人で勉強しておる。これに対して今日では、一人でコツコツ勉強するよりも、むしろグループで学習することを好むようになる。そういう大学側の対応がございます。

また最近では、リースマンが使用した言葉に、スチューデント・コンシューマニズム、学生消費者主義とでも申しますか、つまり、いままでの大学は言ってみれば教授のための大学で、教育は片手間にやっておった。これに対して今日では、大学の経営上の問題もある。

り、学生の母集団の減少もあり、いままでは大学は学生を入れてやるという態度だったが、いまや学生は大学にとって非常に大事なお客さまとなり、入れてやるのでなくて入ってもらう。来てもらおうという態度になってくる。つまり、学生のための大学になると言っております。

そういう状況が激しいアメリカでは、たとえばレメディアル・エデュケーション、補習教育が盛んです。アメリカの高等学校の卒業生の学力は平均して見れば低いわけですが、大学にいろんな学生を入れる、来てもらおうということになると、当然学力が低い学生が増えてくる。そこで補習授業を大学の中でやって高等学校卒業程度の学力を補充する。こういう教育を真剣にならなければならないというやり方をしております。

いずれにしても、大衆化した大学では、従来大学と考えられておった教育機関ではまかないきれない新しい顧客層というか、学生層が入ってくる。これをどうするか。これが現代の大衆化した大学で問題になっている一つの特徴だと思えます。

もう一つの新しい傾向は、ポスト・セコンダリー・エデュケーションという概念が出て



近藤 秀麿 (本学助教授)

年かかってためていけば卒業ができる。いつでも大学に入って単位を取り直す。こういう形の考え方は、生涯教育と関連いたしますが、これも一つの特徴です。

大学の

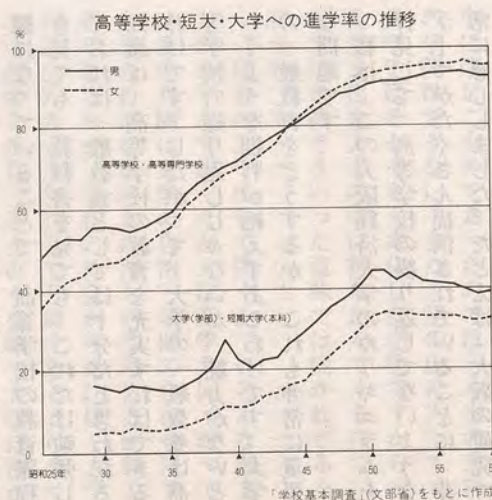
評価とは

もう一つの世界的な特徴として、いままでの量の拡張に対して、いまや質が大事だといふことが叫ばれるようになりました。大学が課せられた社会的要求に見合った教育をやっておるかどうか。そういう責任の追及、アカウンタビリティという言葉でいわれていますが、大学が何をやっておるかということに対する社会の目が厳しくなってきた。そのため量より質といったこと、アメリカで非常にやっている言葉でいえば、卓越性、エクセレンスを大学自体にも、大学教育を受けた卒業生自身にも求めるというような、効率ないし質への要求が高まった。これがもう一つの現代の特徴ではないかと思えます。

それに関連して、大学評価という問題が浮かび上がってきたというところであります。どこの国でも大学を世間で評価するということはあるわけですが、特に日本ではインプットと申しますか、大学の入口でどういふ学生が入ってくるか。端的に言えばいわゆる輪切り現象、偏差値というような、入学の難易度、入学試験ないしは国立で言えば共通一次の点数がいい者しか入れない大学の評価が高い。もう一つの大学の評価と言えば、どうい

きたということですが。日本語で、直訳すれば中等以後の教育ですが、O E C D がつくりだした言葉です。いままで高等教育とはハイヤー・エデュケーション、文字どおり高度な教育を行うということでしたが、今日の高等教育では必ずしも高度な教育、高度な学問を中心にした教育を行わず、大学以外の教育機関がたくさん出てきた。日本で申しますと、たとえば専修学校といったような、研究ではなくて、教育を重視し、いわゆる一般教養よりもむしろ職業専門教育を行う教育機関が増えてきた。これが今日非常に変わってきた状況です。これに引きずられて大学そのものも変わってくる。大学の分類のやり方はいろいろあるけれども、たとえば研究大学という、研究を中心としたままでもどおりの大学、また、リベラルアーツカレッジというような一般教養を主として行う大学、プロフェッショナル・スクールという専門家を養成する大学など、大学そのものもいろいろ変わってまいります。そういった意味で、今日、高等教育という場合には大学だけを考えるのではなくて、大学以外の教育機関が重要な位置を占めるようになってきた。これがもう一つの世界的な傾向です。

もう一つは、新しいタイプの大学が出現したことです。日本で言えば新構想大学と申しますが、大学の改革が叫ばれるが、大学ほどある意味では変わりにくい機関はない。いろいろ改革案が、特に大学紛争後日本でも諸外国でもたくさん生まれました。しかし大学自体は



ところへ就職しておるか。出口というか、大企業へのどのくらい就職しておるかという就職率による評価です。つまり入学の難易度と就職状況、これによって大学の評価が決まっているという状況があります。

しかし、もっと重要なことは、大学の中でどういふ教育が行われているかということ、これをアメリカなんかでは大学評価における付加価値の評価と言っておるのですが、たとえば学力の低い人間であつても4年間勉強させてこれだけ能力を高めたということは、大学が教育によって価値を付加したということになりますから、付加価値がどれくらいあるかを大学の評価の基準にしようというような動きが出てきました。

以上申し上げましたようなことが、世界的に見て、いわゆる自由主義諸国の中の先進



松本 義和 (同窓会副会長)

変わりにくい。そういう変わりにくいままでの大学ではなくて、新しい大学をつくってこれを刺激剤として古い大学も変えていくということ、新しい大学がたくさん生まれてきた。たとえば、オープンユニバーシティ、放送大学みたいなものですが、そのほかいろいろ新しい大学が出てまいりました。特にアメリカではたとえば連合大学、つまり学生がいろんな大学を渡り歩いて単位を取るといふような方式の大学、ないしは壁のない大学、キャンパスのない大学、ないしはコミュニケーション・カレッジといった専門学校、予備校、そんなものをごちゃ混ぜにしたような、短期大学ですが、新しい大学がでてきました。日本でも、筑波大学とか、放送大学とか、その他いろいろありますが、そういう新しい型の大学が出てきたということも一つの特徴です。

もう一つ、世界的な傾向、特に先進諸国の傾向ですが、リカレント教育という考え方が高等教育、大学にあらわれてきたということ、これは、言ってみれば年齢主義から単位主義とでも言うか、いままでの大学はたとえば日本では4年間で学するというのがノーマルな形です。それに対して124単位を何

諸国、日本とかアメリカ、ヨーロッパといった国におよそ共通した問題ではないかと言っていると思っております。

ありがとうございます。世界の傾向や大学教育の方向についてお話をしたのですが、いまわが国では臨教審で教育の自由化とか、既成の観念を改めて新しい制度づくりということができていますが、新しい制度について、先生のご意見をお聞かせいただきたい。

魅力ある一般教育と

大学院の拡充

新堀 臨教審の提案の中で、高等教育を担当しているのは第四部会（部会長飯島宗一）ですが、ここでは非常に具体的な提案をやっている。たとえば入学試験で言えば、共通一次を改革して共通テストを導入する。私立大学が参加するかどうか。これもやがて問題になると思います。

それから、たとえば入学資格を、弾力化、自由化するとか、高専卒に大学入学資格を認めるとか、大学院を拡充するとか、国際化とか、大学設置基準をもっと緩やかにするとか、いわゆるユニバーシティ・カウンシルを設置してはどうかなど。



西本 集一  
(同窓会広報部長・司会)

であるとか、「現代生活とスポーツ」であるとか、「新聞の経済欄に強くなるう」とか、教養演習、総合科目といったもので、一般教育を魅力ある教育にしようという努力がなされていることに意を強くしております。

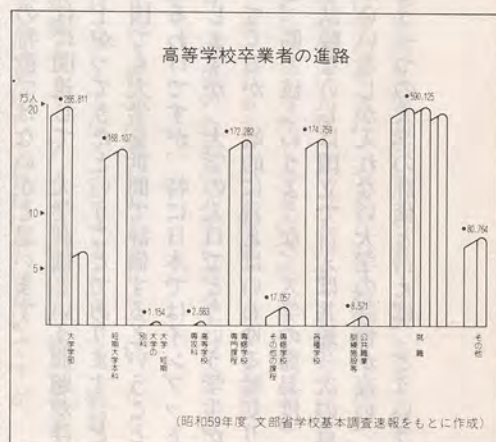
また、一般教育と専門教育のほかに基礎教育という考え方があります。大経大は経済学部と経営学部、両学部あるわけですね。一般教育ではなくて、経済学を学部でやるための基礎的な、広い意味での一般教養があるわけです。そういう基礎教育を充実すること、見直すことが必要じゃないかと考えております。

先ほど、大学教育について、いろんな話の中で出てきたわけですが、「大学設置審議会大学設置計画分科会報告」の中で、60年以降の高等教育の計画的整備というのが出ていますね。その中で「開かれた大学」、「生涯教育と大学」など新しい制度改革論が、61年今年を出発点として書かれているようですが、このへんについてお話をいただきたいと思っております。

開かれた

大学とは

新堀 そもそも大学は、ある意味では開かれたものですね。たとえば大学が行う学問は、いわば国だけに、ないしはある地域だけに閉じこもっておったのではできない。世界に通用する真理を追究する場が大学ですから、学問の府としての大学はそもそも世界に向かって開かれている。また大学は真空の中で生きていくわけにはいかないわけです。社会が求



これらはいずれも非常に具体的な提案で、文部省あたりも着々と準備を進めていると思われませんが、そういう動きはどの大学も真剣に受け止めていかなければならない問題じゃないだろうかと思っております。

文部省の方針の中に、大学から教養課程を廃止したり、いまの大学院を本場の大学にするという動きがあるように聞いておるのですが、そういうことについて何かお聞きおよびなっておりますか。

新堀 いままでの大学院はどうも研究者を養成するというような感が深かったわけですが、これに対して特に修士課程は高度な専門家、職業人を養成するという方向に変えていくということがある。博士課程も、いまは長すぎるのもっと年限を縮める。学位をもっと簡単に出来るようにしたらどうか。そういう動きは、国際化にも関係します。

日本と外国とを比べた場合に、韓国なんかと比べてもそうですが、大学院が質、量ともめる人材を提供しなければ学生も集まらないのですから、大学は、ある意味では外に向かつて開かれておるべきものだし、事実、開かれても開けるわけです。

しかし象牙の塔という言葉がありますが、学問はそもそも批判的な精神がもとになっておる。批判的な精神は当然、外の社会に向かつてても発露されざるを得ない。特に社会科学あたりにはそういう傾向がありますが、大学自身そういう社会を批判する精神を持っている。そういった批判的な精神から言えば、大学は学問の自由、自治を尊重し、外部からの干渉をできるだけ排除しようとしています。またそういう制度もできあがっている。そういった意味では、大学は、外部社会に対して閉じられておる。ないしは大学と外部社会は本来対立、緊張の関係にあるとも言えます。大学の歴史で言えば、ガウンとタウンの争いと言いますが、大学と社会ないしは地域社会は本来対立する。大学は地域社会にとってある意味では迷惑施設だ。こういう歴史を大学は持つておるわけです。しかし、そういう伝統的な大学ではもはや間に合わなくなってきたというところだろうと思えます。



波根 伸俊  
(同窓会広報部)

たとえば、学問一つやるにしても、大学の

に低い。韓国あたりは、日本より、たとえば修士課程の学生は、割合にしても実数にしても多い。有識者は、この調子では日本は韓国にやがて敗けるんじゃないかというふうなことも言っているのですが、どうも高度な職業人を養成するための修士課程を受け入れる体制が工学部以外の系統では十分できていない。おそらく企業なんかの受け入れ体制が改まらなければならぬと思いますが、日本の大学院には非常に問題があり、これを改革拡充しなければならぬと思います。

一般教養は、新制大学ができてから常に問題になっていて、高等学校の教育課程を見ても、教科書を見ても、これだけ勉強しておれば一般教養としては十分だと思われる知識は、高等学校の教育を充実すればできるわけです。したがって、大学の一般教養は高等学校の繰り返しじゃないか、魅力がないというふうな批判が絶えずあるわけです。大学の一般教育をどうするか、これも非常に重要な問題です。

私は、この大阪経済大学のカリキュラムを拝見して、高等学校の繰り返しでないようなテーマがたくさん提供されていることに、非常に感心しました。たとえば「大阪の研究」中に閉じこもっておったのでは、本当の意味の学問はできない。また大学の中に入ってくる学生はそもそも大衆化した学生ですから、大衆文化を大学の中に持ち込んでくるので、大学は当然そういった意味では開かれざるを得ない。

一体どのようにして開くか。いろんな開き方がありますが、たとえば産学共同。かつては産学共同は大学の自治、学問の自由を侵す大学の自治を崩すものだという考え方が強くありました。現在の社会から見れば、大学は社会の要求を無視して存続することは全く不可能ですから、そういう意味で大学は開かれなければいけない。経済なり産業界に対して共同するというような姿勢でいかなくちやいけない。

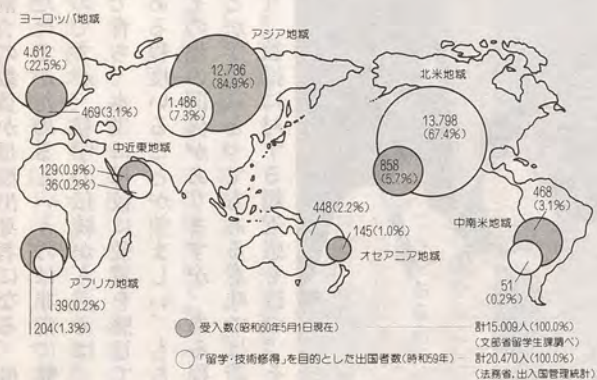
また、大学が持つておる講座とか知識を、地域社会に還元する。今日の大学は、単に学生を教育する機関だけではなくて、一種の社会教育機関でもある。たとえば大学開放講座を開くことは非常に必要です。そういう意味でも大学は、外部社会に対して開かれなければならないと思うのです。

本学の場合、58年から公開講座を始めていますが、大変な人気で成功しています。また本学には中小企業経営研究所を設置しております。大阪は中小企業の町といわれていますが、もう少し中小企業の研究を市民のために広げていって、密着したものにならないとせっかくいい研究をしても象牙の塔ではもったいないですよと言っているんです。



前田 悦子  
(同窓会広報部)

外国人留学生の地域別受入数・日本人学生等の地域別海外留学状況



**大学に**  
新堀 いわゆるスチューデント・コンシューマニズムのもとで、学生をどうやって集めるかが関心の的となってきた。ごく少数の超一

**特色のある**

次にいままでも大学といえはともすれば画一的な大学であったと思うのですが、今後は特色ある研究活動を行わなきゃならんのかな。こういうことにつきましてお話をいただきたい。

から見ると決して高い評価を得ているとは言えない。

先日、私は中国の上海を訪問したんですが大阪市と上海市は姉妹都市になっており、復旦大学と大阪市立大学とが提携をしている。そんな中で、本学も図書館から本を寄贈し、

つまり、大学は、教授会だけで動いている。外部からの声は入ってこない仕組みになっている。私立の大学では理事会があり、理事には外部の方ないしは卒業生の方が入ってきて、その声を大学の運営なり教育に反映させる仕組みは一応できあがっているのですが、必ずしも外部の声や卒業生の声が、大学の教育ないしは公開講座の内容といったものに反映していないんじゃないかと思うのです。

そういう意味では、大学という組織そのものに外部の声が反映できるような組織につくりかえるか、いまあるならばそれを強化する必要がありましよう。その場合、卒業生が一つの大きな役割を果たし得るし、また果たすべきではないかと思っております。

新堀 これからは教授は、自分の研究したことを、教室で学生に教えればよいというだけでなく、社会が大学に何を要求しておるかというのを自ら学び取ろうという姿勢が必要だ。現在のところは、大学は勝手にこういふことをやればやるだろうというカンで、いろんな講座を開くわけですね。それは当たることもあるし、当たらない場合もある。中小企業の代表者と大学の関係の教授なり、大学そのものが相談するという機構ができてないわけですね。

**大学の国際化**

遅れている

そのお礼に復旦大学から本学に訪問があった。復旦大学は総合大学で経済系の学部もありますので、本学と提携していいんじゃないかという話が話された聞いておるのですが、こういうことは非常に結構なことだと思っております。まずまずそういう意味でも門戸を開いて、国際化を目指していかなくやならんのかな。この点について、もう少し補足してお話いただきたいと思っております。

新堀 国際化は、経済にしても何にしても、日本にとつて欠くべからざる課題だと言っている。大学でも全く同じことが言えると思うのです。国際化は外国人教師の割合とか、外国留学生の割合とか、いろんなやり方、指標ではかることができます。

日本の場合、外国と比べて非常に顕著なことは、国際化率が低い。たとえば留学生の数にしても、外人教師の数にしても、非常に低いという傾向があります。これはある意味では当然のこととも言ってもいい。自然科学は別ですが、ほかには大部分日本語で研究発表しているもので、国際的な通用性がない。いろんな意味で日本は国際化が遅れておる。何とかしなくちゃいけないと思われまます。

ただ、その前に、たとえば経済の国際化等を考えてみますと、経済なり産業は世界の水準より高いわけです。高いがゆえに国際化の必要が迫られているということになる。とこ

流と言われている大学、もつと極端に言えば東大だけは別として、それ以外の大学にとつて、いい学生をどうやって集めるかは、大学のサバイバルに致命的な問題なわけですね。現在すでにどの大学も、どうやって学生を集めるかに懸命になっておると言ってもいいんじゃないかと思われまます。サバイバルのためにはどうしても特色を出さなければいけない。

特色の出し方ですが、大抵人間の知恵は限られておつて、あるところで特色があると思つたことをやり、それがはやればどれもこれもそれに右へならえするという傾向があります。最も手っ取り早いやり方としては、テラックスな校舎をつくるか、有名な教授を集めるとか、スポーツで有名になるとか、いろんな特色で、有名になる方法があると思うのですが、特色ある学生を集めるということが重要です。

いままでの日本の大学は、オールラウンドというが、ソツなくいい成績を取っている学生の中で優秀な者から採っていくというやり方が主流ですが、そうでなくて、推薦制であるとか、ある一つの点で優れているような学生を採る入学試験とか、入口で特色ある学生を採る選択方式に特色を出す。

入学した者に特色ある教育を行う。先ほどこの大学の教養ゼミで私は特色がある教育をやっておるといいましたが、そういう教育のやり方、カリキュラムで特色を出す。そして来た学生を特色ある者にする。教授について言えば、特色のある学問をや

ろが日本の大学の場合には、世界の水準より高いかどうかというと、必ずしも楽観はできないわけですね。具体的に言うると、日本の大学の評価は、OEC Dが日本の教育を調べに十数年前にやってきましたが、そのときの結論では、大学以前の教育はうまうまといっている学力も高い。しかし、水準が低い、ないしはうまうまといっていないのは大学だ。こういう結論を出しているわけですね。

そういう評価を受けている日本の大学にいくら留学生をよんでも、留学生もなかなかやつてこない。満足しない。大学の国際化はもちろん必要です。必要だけれども、同時に大学の水準を上げる、ないしは国際的な評価を高める、これが非常に大事な前提ではないかと思っております。

広島大学に大学教育研究センターという研究所があります。私はそのセンター長をやつておりましたが、そのときに、日本における外国人留学生とか、日本における外国人の大学教師に対してアンケート調査をやりました。彼ら外国人から見ると、日本の大学はほめるよりけなすことばかりだと言つてもいいのです。日本の大学に対してどういふ非難、批判が行われているか。たとえば学生についていえば、出席率はなほだ悪い。勉強はほとんどしない。教授についていえば休講が多い。採点が甘い、不親切だ。制度的に言うと、学位が非常に取りにくい。大学を学問といったものが支配しているなど。我々も大抵気がついていることですが、日本の大学は外国人か

る。研究において特色を出すということもあるわけですね。

もう一つは、今日はPRの時代ですから、PR、広報活動をもつとやらなくちゃいけないと思われまます。ただ世間一般にまんべんなく広報活動をやるのではなしに、ある意味で重点的なPRをするということは、特に私立大学の場合には非常に重要じゃないかと思うのです。

大衆化された学生に対する特色ある教育をなすには、一教師として人格的な影響も与えながら学生をいかに導くかが大切ですね。そういう教育方法とか技術論が今の大学教育には欠けていると思われまます。大学の発展と後輩のための人格的教育に熱意をもつ教育は案外母校出身の教師が多いと思われまます。

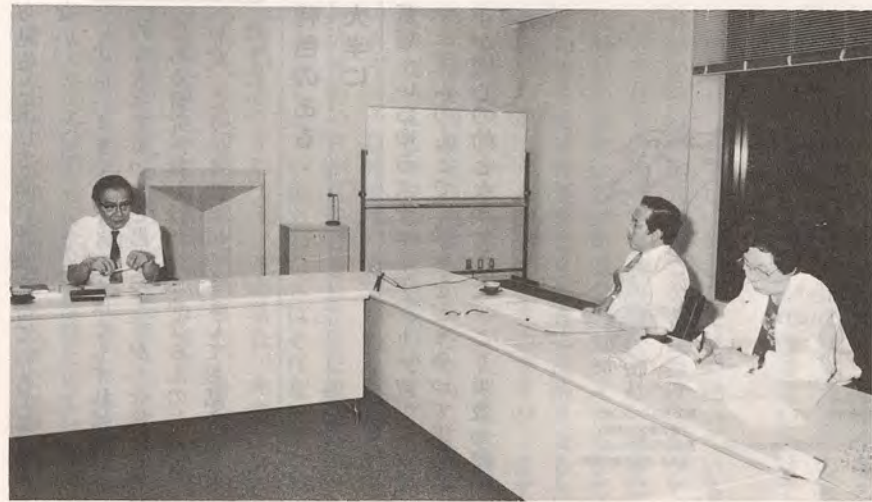
新堀 アメリカなんかですと、スタッフ・ディベロプメントということが非常にさかんなわけですね。いまの日本の大学の教師は、教え方とかカリキュラムについての専門性はないうわけですね。ですから、少なくとも関心を持つ必要はあるわけですね。

教師養成にしても、大学教師の養成はほとんど専門的に行われていないと言つていいと思われまます。教授は、特に日本では研究者としての意識しかない傾向が強い。旧制大学の傾向ですが、これからはそれだけではやっけないだろうと思われまます。

私は大学の個性、伝統で言えば、大学に母校の卒業生の教授がいることが有利だと思われまます。大体大学院ができて、15年たてば



相当の割合の教員が母校出身者になる。母校出身者だけかためるといふのは非常に弊害があるのですが、私学の伝統から言えば、その大学で育ち、本当に母校に愛着を感じておる人がある程度いることが望ましい。もちろん能力その他の関係がありますが、ある程度いることが学生にとつてもある意味では誇りにもなり、教授に対する親近感も持つ。その



私学は官学のコピーであつてはならんといふことをしよつちゆう言うてきておるわけですね。本学のことを言っているわけじゃないけれども、本当に国公立のコピーみたいなやつて、入学試験から何やら無難なものになり、私学よさがなくなつてきた。昔は独得の入学選抜とか、柔軟な対応をしておつたのに、いまは硬直してしまつて成績本位でやつてい

る。  
新堀 アメリカと日本を比べると、非常に顕著な一つの傾向があるんですね。日本の場合は、だれが見ても東大はトップの大学ですが、そういう大学では、世間の目がうるさいので、

大学の伝統を受け継ぐという意味がありますので、この大学院を出て研究者あるいは母校の中で職場を得たいという人を大事にして育てることを考えてもいいんじゃないかと思ひますね。

おっしゃるとおりです。大学と懇談する場合は、そのことは口を酸っぱくして言うんです。ところが一向にそれが増えんものですから、悪循環になりまして、大学院に入ってくる学生が少なくなつた。それが本学に定着して、ここで教授までなつていくという道が開ければ、また違った意味での大学院の活性化につながるわけです。また、本学の卒業生で一流企業の重役が言っているのですが、学生を採用する場合、成績のいいのと、その次は運動部の二軍の選手を採るんだそうです。二軍の選手というのは非常に粘り強い。海外なんかへ出したら、そういう連中は現地でものすごく頑張るんだそうです。

私たち、新入社員が入つてきまして見つめておりますと、いろいろな特性があります。初めから頑張る人、何年後から素晴らしく伸びてくる人、素晴らしい人物と折紙をつけても伸び悩む人、突然才能を發揮する人など、ペーパーテストだけの中で、はたしてそれがわかるのかどうか。私立の場合、小中学校とか幼稚園では面接をやつてるところが多いのですが、大学になりまして少ないように思ひます。その中で特色ある学生を選んできていこうと思つたとき、どういう方法がいいのでしょうか。

公明正大な入学試験、テストをやつて、上から採つていく。だれが見ても文句のつけようがないといふことで、無難主義です。いい大学ほど個性ある人間は採れないような仕組みになつていくわけですね。いい大学、悪い大学といふのもおかしいですが、下のほうの大学は個性的な選抜をやつてもだれも文句は言わない。ところがだんだんと世間の評価が高まるにしたがつて、そういうやり方はできなくなる。

このへんの私立の大学でも、昔はたとえば教授が責任を持つて推薦する学生は入れることができるというふうなことがあつたのですが、だんだんその大学の格が高くなるとできなくなる。国立大学と同じような、平等主義といふか、学力試験だけでやるという仕組みにならざるを得ない。

ところが、アメリカの場合は逆ですね。格の高い大学のほうが個性的な選抜方式をとる。たとえばハーバード大学は、世界で第一級の大学と言つていいわけですが、卒業生の子弟は優先的に入学できる。ケネディ一家はどんな成績であつても入れる。これが個性ある学生かどうかは別として、そういう独自の方式で選抜しても世間は文句を言わないんだといふことです。

スポーツ一つ取りましても、昔は、サッカーが強いといふことになると、全国から優秀なサッカーの選手をスカウトしてきたんですね。そういうことを、柔道とか各クラブで競つてやつた。特色という意味では、スポーツ

入学、学生募集の

部局を強化

新堀 日本の大学の入学選抜制度、具体的には入学試験は、非常に短期間に大量の人間を試験、選抜するわけですね。どうしてもマークシート方式といふか、○×式といふか、ないしは点が出やすい学力試験になつてしまわざるを得ないと思ひます。しかし実際はそれでは特色ある学生を選ぶわけにはいけません。そこで推薦入学をやつたり、いろんなことをやるわけですが、実際にその学生を見るわけではないのですから、非常に限界がある。もつと本気になつてやろうとするならば、長期にわたつて観察することが必要になる。そのためにも、入学試験、学生募集の専門の部局を強化して、プロ野球が長い間かかつて目星をつけていくようなやり方があると思ひます。

もつとやりやすい方法は、大学に入つてからは学生を見ようと思ひえれば見られるわけで、大学に入つてから教授の側が真剣になつて学生を観察しないし接触する。大学に入つてから大学の気に入らないような学生はお引き取り願うといふような仕組みですね。日本の場合は、大学に一人入れると大体どんな学生でも卒業させるのですが、そういう仕組みをやめれば、大学の中で特色のある学生を優遇する方法が可能じゃないかと思ひます。これしかし、実際にはなかなか……。

で他大学を圧倒するようなことになれば、宣伝にもなるわけで、融通無碍はいかんけれども、多少の私学の融通性といふか、特色といふものは必要なんじゃないかといふ気がするんです。

一点集中主義で

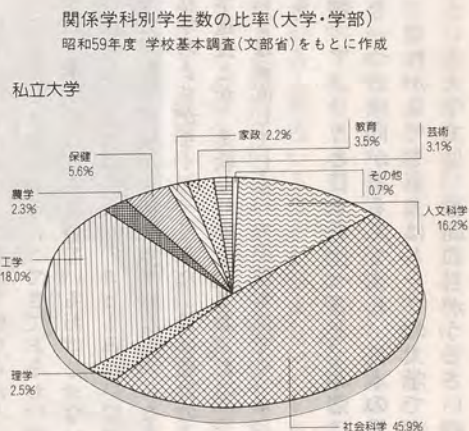
大学の個性化

新堀 これも、学生について言えるだけではないに、教授についても同じことが言えると思ひますね。この大学はこの点では東大も及ばんといふような、一点集中主義と申しますが、そういう意味で研究の特色を出す。これは大学の個性化といふか、一つの道だろうと思ひます。

ところが日本では、教授がどんぐりの背比べ、たとえば研究費なんかでも平等にバラまきといふやり方をやつておるわけです。どうも個性のある人物を伸ばそうといふ雰囲気、単に大学だけではないのですが、足りないと思ひます。競争の原理が働いていないと思ひますよ。おそらく企業なんかとは非常に違つた点じゃないか。

18歳人口の減少は205万から151万ですから、54万人も減るわけで、サバイバルはまさに深刻だろうといふ気がするのですが。

新堀 4分の1減るわけです。  
これもある大学だけでやつてもなかなかうまくいかないのですが、生涯教育的な年長学生を大学に引き戻す仕組みを考へる。  
それから、男女雇用機会均等法もでき、女



子の4年制大学に対する進学率を高める。もう一つは留学生、そういった三つの水源池があります。

本学は単科大学ですけれども総合大学志向型の中で単科大学の生きていく道は、先ほど来出しているかもしれません、特色づくりということ、地域に密着して、本学では大都市、大阪市の中にあるわけです。地場産業なんかと密着していくことが大切だろうと思うのですけれども、単科大学についての評価はどのようにお考えになりますか。

**単科大学の将来**

新堀 いまの学問の傾向から言うと、ある意味では学際化という傾向が強いわけですね。学際的な教育、研究を行うことになる、従来の意味での単科大学の発想ではまかないき

れない状況が強くなると思います。たとえば国立の場合で言えば、一橋大学はその前身からいっても単科大学ですが、実際は人文的な社会学の学部もあるわけですね。単科大学的でありながら一種の総合大学になっている。もっといい例は東京工大です。東京工大は文字どおり単科大学ということになります。その中には社会学という名前、社会科学分野を非常に大きく取り入れている。アメリカで言えば、MITという世界一の工科大学は、単に工学教育をやっているのではなくて、むしろ人文、社会系統の学部ないしは業績で、非常に大きな名をあげておられるわけです。

したがって、たとえば経済経営というような方面であっても、統計とかコンピュータとか、そういう理科系の学問や技術がどうしても必要なわけで、単科大学といっても非常に幅の広い、一種のミニ総合的な性格を持たざるを得ないのではないかと思います。企業なんかでもおそらく、従来の意味での文科系、理科系という考え方でなしに、文科、法律、経済系統の人達であっても、理科的な能力、技術をこなすだけの能力を持った人達を好むという傾向があります。

そうしますと、単に従来の意味での単科大学的な発想ではなくて、人文社会系統で言えばもっと理科系統のカリキュラムを導入する必要がある。理科系の単科大学であれば、もっと人文社会的な要素を付け加える必要があると思います。

— 単科大学はほとんど職業人養成の傾向が強

そういう意味では、都市に大学が立地しているということ、それだけで非常に有利なんですね。

特に社会科学系統の大学ですと、都市は情報源ですから、地域そのものが研究の刺激になる。田舎に行くと、大学相互の相乗効果がないわけですね。都市であると近辺にいろいろな大学がある。学生もそうですが、教授にしてみれば研究者仲間が自分の大学以外の近くにたくさんいるため、大学群というか、複数の大学が身近なところで競い合い、協力し合うというような効果がある。都市には、大学の立地として相当メリットがあると思うのです。都市に現在立地しているところを売るのでなしに、あくまでも現在のキャンパスを利用して、一部を移転するというようなことであればいいと思います。

大学の国際化について、再度海外のご経験も豊富な先生にお考えをお聞きしたいのですが。

新堀 大阪という状況を考えれば、中国とか韓国と非常に密接な関係を持っているわけ、中国との交流という伝統を生かすような国際交流に重点をおくのがいいと思います。

一つ私の印象では、この大学はPRがうまくないんじゃないか。たとえば黒正先生の立派な蔵書であるとか、いろんな優れた蔵書をお持ちなのですが、あんまり知られてないんじゃないかと思うのです。また中国語に長い伝統があるというようなことをもっとPRして、そういう方面は非常に得意だということ

くなっていますね。ところが学際的な研究が拡大され、そのカリキュラムの中で、いま最も必要な一人前の社会人養成に不可欠の人間関係に関する教養という学際的分野が、専門学部にはほとんどないわけです。そういうことを考えますと教職課程というのが案外社会人への準備としての人間関係学をやっているわけです。そういう意味で、単科大学では教職課程なんかを拡充することが、いろんな学部の学生が社会へ出るための一つの基礎教育になると思うのですけれども。

新堀 企業なんかでこれから必要欠くべからざることは、生涯教育や研修ですね。研修立案をやったり、企業内教育に関する訓練なり知識が非常に必要なのですね。確かにおっしゃるとおり、人間関係であるとか、そういうカリキュラムが必要ですね。

ジャーナリストディックにこのごろ宣伝されている点で経済大学とか商業大学はいまの潮流に即さないんだ。片方にはCIとかUIとか言いまして、校名の検討を考えているという大学もあるように聞いておりますし、現にお変えになっているところもある。

一方、本学は昨日や今日できた大学ではないですね。しかし、それを根底から変えるような校名の変革までいま求められる時期にあるのかどうか。そのへんはどういうふうにお考えになりますでしょうか。

新堀 ネーミングは非常に大事なことで、大学自体の名前を変えるのはたいへんでしようが、学部の名前を変えることは相当頻繁に行

とをもう少しPRされるほうがいいんじゃないか。

最後に、ここは経済学部があり、経営学部がある。大学の経営、特に経済的な意味での経営ないしは財政の研究とか教育経済学というようなテーマを取り上げて下さる教授が出てくれると非常に頼もしいと思うのです。司会 ありがとうございます。

いろいろお話をお聞きしておいて、先ほど私、こういうことを感じておったのです。大学と企業を比較するというのは不謹慎かも知れないのですが、各企業ではいろいろな商品を市場に出すために巨額の研究費を投じて、いろいろな市場調査をやりながら消費者のニーズにこたえることのできるいろいろな商品を出しておられるわけです。それがあつた一時期だけ非常に消費者のニーズに合ったとしましても、すぐにあきらまれる。そこで、各企業は絶えず研究に取り組み、常に市場のニーズにあうように努力しているわけです。

先ほどの先生のお話によりますと、大学も同様に今後社会のニーズにあつたような教育をやっていくなければいけないとお聞きしました。これからますます厳しくなる世の中において、我々同窓生や本学関係者にこの座談会を読んでもらって少しでも母校の発展に寄与することができれば、主催者側としてもこれ以上の幸せはないと思います。

先生には、本日はお忙しいところ、有益なお話を聞かせていただきまして本当にありがとうございました。

**都市情報**

本学は都心の中にあります。都心では女性を集めやすいというようなメリットもあると思うのですが、そこらへんに先生の指標を示していただきたい。そして、都市型大学として生きる道はいかがですか。

新堀 日本では大体どこも校舎が狭くて移転する大学が多いのですが、移転した大学で一番困る問題の一つは、学生が集まらなくなるということですね。学生は大学のキャンパスの中だけで生活しているんじゃないに、地域社会で生活している。この地域社会に文化的な刺激もなし、一杯飲むところもないということでは、今日の若者はいやがるわけですね。

われているのですね。たとえば、家政学と名がついたら学生は集まらない。生活科学部であるとか、しゃれた名前に変えると学生も集まる、販路も広がるという傾向がありますね。ただ、大学の名前について言えば、この大学の歴史を拝見してみますと、いろいろ変わっているわけで、そういう意味では名前を変えることにあまり抵抗はないかもしれませんが、名前を変える一番の抵抗は卒業生とか学生から起こると思います。学部の名前を変えた例はありますが、大学の名前を変えるというのは、学制の改革があつたようなときは別にして、あまりないんじゃないでしょうか。大阪経済大学、なかなかいい名前じゃないですか。

50周年記念館堂々竣工  
同窓生各位に謝意を表す



同窓会会長 磯野 斉

数年来、わが国経済界の重大関心事となつて、大幅貿易黒字解消については、自動車業界を初め弱電機器関連業界が既に実施しているように、国内生産を現地生産へ転換し、輸出水準を低下させることによってバランスをとる以外に短期間に実績をあげることとはできないでありましょう。

それについても、戦後日本経済の高度成長の基盤をつくった大手鉄鋼、造船業界に大量

人員整理を余儀なくさせていることを考えると、これからの内需拡大経済への転換は、不可避であるにしても、雇用、失業という労働力の調整という困難な問題を避けて通れないことを銘記すべきであります。

日本経済が、このような困難に際会した時に、わが大阪経済大学は、新しく1、400余名の卒業生を世に送り出した。

経済学、経営学を専攻した諸君は、社会的に、いま最も求められている人材であります。それだけに社会人としての諸君の責任は重大であります。母校の伝統として培われた「自由と融和の精神」のもとに、常に自らを磨き、人生の大道を力強く歩んで下さい。同窓会は、諸君の参加によつて会員数46、500名を数えるにいたりました。私は諸君の門出を心から祝福し、その前途に幸多かれと祈念します。本年は、希望の大阪支支部がめでたく発足しましたから、北海道から南九州まで33の同窓会支部となり各地域で各界にわたり活発な活動を続け、先輩、後輩携えて互いに温かい交流の輪を広げています。諸君も、すすんでこの全国的組織を活用して下さい。

さて、昭和60年度決算並びに61年度予算につきましては、去る6月14日、全国各地から支部長、理事、監事、100名の方がたに、

ご参集賜わり各議案とも終始熱心なご審議の結果、全議案すべて滞りなく承認可決されました。ここに厚くお礼申しあげます。本年は、特に、役員会に先立ち、鈴木 亨学長のご臨席を得て、支部長会を開催しましたところ、つぎつぎに貴重な意見が出され、大学との相互理解が深められ極めて有意義でありました。これを機に、今後、慣行的な会合にしたいものと思ひます。

なお、ここに特筆すべきことは、7階建50周年記念館が、本年3月31日立派に竣工したことです。ヨーロッパ・スタイルの堂々たる建物は、現代社会の要請に応える情報処理技術者養成のための最新鋭機器を備え、内容外観とも近代的センス溢れるものであります。本記念館募金に進んで参加頂いた多数の同窓生各位に対し、ここに深甚なる謝意を表します。募金に対し、まだ機会を得られない方がありましたら62年3月31日までご参加下さるようお願いいたします。

おわりにのぞみ「澱江」編集にご尽力下さった方がたに衷心より感謝申しあげますとともに、全国各地でご活躍の同窓生各位のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

昭和61年度理事会盛會裡に終了

——昭和60年度決算・昭和61年度予算(案)——  
満場一致で可決——

◇昭和61年6月14日(土)

◇新阪急ビル12階、レストラン・パレス

◇議案

第一号議案

昭和60年度決算について

第二号議案

昭和61年度予算(案)について

第三号議案

600万円(特別基金取り崩し)

を大学に寄贈する件について

第四号議案

その他

◇司会 比企事務局長

◇定刻6時、司会者より開会宣言

◇磯野会長挨拶

会長より「創立50周年記念募金については、会員各位のご協力により、ある程度の募金額が集まりましたが、現在、本部事務局で把握している募金額が2万6千余名に対して、募金拠出者が約6%の1500余名という数字は

余りにも同窓会として自己批判することもできないものである。したがって、今後は、金額もさることながら、拠出者数の増加に、なお一層のご協力をお願いしたい」と熱意をこめての協力依頼があり、

また、「記念館が完成したときに、後援会から600万円相当の彫刻像が一階正面に設置されるので、同窓会としても600万円相当額の記念品(大学の希望される物品)を贈呈したいので、現在、決算書に表示されている特別基金から600万円を取り崩し、大学に寄贈すること」を、さらにまた、「本年は会員名簿の発行年でもあり、一時的不足額を従来の慣例によれば銀行より借入れをしていたが、支払金利などを考慮し、特別基金より借入れて充当することにしたいので併せてご承認をいただきたい」との挨拶をかねた理事各位への承認要請があった。

◇司会者より議案審議のための議

長選出方法について提案がされたが、「司会者一任」を満場一致で承認。司会者より議長に広田 実理事(1)を選出指名。

◇広田議長就任挨拶のあと、第一号議案、第二号議案、第三号議案の一括審議を提案、承認のあと、

ただちに議案審議に入る。

◇第一号議案

中村会計部長(3)から昭和60年度収支計算について各項目別に説明がされた。

山上監事(2)から監事報告がされた。

◇第二号議案

谷口総務部長(2)から昭和61年度予算(案)について予算編成の趣旨を各項目別に説明、提案された。

◇第三号議案

谷口総務部長(2)から第二号議案に引続き、会長よりご提案があった本議案についてご審議をいたしたい」と提議された。

最後に、比企事務局長より特別基金よりの借入れと名簿収入の關係についての補足説明があった。

第一号議案、第二号議案、第三号議案について一括審議に入る。

広田議長から第一・第二・第三号議案についての賛否提案の結果、万場一致、拍手裡に原案通り可決承認された。

◇第四号議案について特別審議事項なし。

以上により昭和61年度理事会の議案審議終了を広田議長より宣言閉会された。

◇ご出席の支部長紹介

東京、東海、岐阜、豊中、大阪市、大阪市役所、東播磨(代理)、姫路、岡山、広島、山口、南九州、福井、香川(顧問)、愛媛(代理)、徳島、丹有、奈良、泉南、南部大阪市支部長より

◇大阪支支部結成についての概要説明とご挨拶があり、拍手で謝意と今後のご活躍を念願した。

比企事務局長より

◇支部胎動の状況について

福山市(現在、広島支支部所属)

地方を中心とした新支部胎動について、また、彦根市(現在、滋賀支支部所属)地方を核とした新しい

滋賀支支部の胎動について報告があ

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

り

昭和60年度収支決算書

自 昭和60年4月1日～至 昭和61年3月31日

Table with 6 columns: 科目, 決算額, 予算額, 科目, 決算額, 予算額. It details the financial results for the 60th anniversary year, including income from membership fees and expenses for various activities.

昭和61年度収支予算表

自 昭和61年4月1日～至 昭和62年3月31日

Table with 6 columns: 科目, 予算額, 摘要, 科目, 予算額, 摘要. It outlines the budget for the 61st anniversary year, listing planned income and expenses with their respective purposes.

り、一日でも早い誕生の希望を万場拍手で祈念した。

以上で報告を終了した。

◇中谷和一入試部次長よりご挨拶。母校の地方入学試験に対し、同窓会の格別のご協力をいただき深くお礼を申し上げるとともに、なお一層のご支援を依頼するとのご挨拶があった。

◇就職部黒正 明主任よりご挨拶。新卒業生の就職に対する依頼と

支部長会開催され 大学と活発に意見交換

昭和61年6月14日(土)、定例理事会に先立ち、久方振りの支部長会を開催、活発な意見交換が行われ盛会裡に終了。

- ◇昭和61年6月14日(土) 4時
◇新阪急ビル12階、レストラン・パレス
◇出席者
大学より

ご協力に対する謝意をかねたご挨拶があった。

◇昭和61年度理事会は以上をもつてなごやかなうちに司会者の閉会宣言で終了した。

別室にて、渡辺名誉会長の乾杯で懇親会に入り、大いに歓談し、来年もまた、元気で再会できることを願いつつ、萬歳三唱で散会した頃には梅田のネオンは、われわれの理事会が盛会であったことを祝福するように美しくかがやいていた。

鈴木理事長代行・学長、泉谷理事、渡辺理事(同窓会名誉会長)、松尾経営学部長、玉岡事務局長 同窓会より

- 鮫島東京支部長、加藤東海支部長、坪内岐阜支部長、倉田大阪市役所支部長、南部大阪市支部長(組織部長)、筒井豊中支部長、東播磨支部長代理、永川姫路支部長、村上岡山支部長、佐々木広島支部長

串田山口支部長、宮田南九州支部長、松原香川支部顧問、愛媛支部長代理、伊藤徳島支部長、梶村丹有支部長、中川泉南支部長、内田福井支部長、(以下本部)磯野会長、広田相談役、萩原、桑津、松本副会長、小松(組織)、谷口、神田、森(総務)、西本、前田、波根(広報)、中村敏(会計)、比企(事務局) 常任理事、山上(監査)の役員。

◇磯野会長あいさつ
◇鈴木先生よりごあいさつをいただき早速会談に入る。

まず、松本副会長より50周年の募金の方法について、よりキメのこまかい手段をとっている具体的な報告があり、続いて、南部大阪支部より活発な意見が出し、より具体的な質疑応答がありましたがいずれにしても、瀬江が約2万6

千冊発送されているのに対し応募者が約1,500件ということは同窓会として再考する必要があることを再認識して、募金運動に対し最終期限まで尽力することを確認しあった。

次に、内田福井支部長より「みちしるべ」の内容記事について私見が述べられ、それぞれの立場で意見交換がされた。

また、加藤東海支部長より「募金活動ニュース」のあり方について、ジャーナリストであった加藤支部長らしい発言があり、大いに論議された。

本日の支部長会は「フリーに大学と話しあう」のが目的であったが、論旨の視点は異なっても、母校愛の発露は、どこまで行っても募金の方法についての論議であり、その熱意に敬服するとともに「今後のより一層のご協力をお願いしたい」という磯野会長の発言で、本当に、和気満々のうちに閉会をした。

できれば、このような会合を事情の許す限り、また、機会あるたびにもちたいと願いつつ……。

### ◆同窓会総会

#### 昭和60年度 募金取扱コーナーも 設ける

11月3日(文化の日)、レストランパレスにおいて恒例の昭和60年度同窓会総会が開催されました。大安吉日と好天に恵まれたのが、かえって裏目となり、出席者は20人と延びませんでした。  
谷口一郎(2)実行委員長の開会のことばで定刻11時から総会は始まりました。司会は神田博(30)委員、鈴木学長から記念館建設の進捗状況、募金入金額の初年度目標額に近づいていることの謝辞が述べられました。

今回は「募金取扱コーナー」を設けて、遠方からの来阪同窓生の便をはかり、パーティー場でも記念館のことや、募金に話の花がさきました。司会の森政彦(33)委員が紹介して松川圭一氏(15)の正調道遥歌の指導もあり、大学側の来賓や恩師を囲んで、終始和やかな密度の濃いパーティーでした。  
終了後、税理研究会OB会やハ

ンドボール部OB会総会が同所で、現役の学生ともども盛会に行われました。

#### 昭和61年度 記念館見学会に 新顔集まる

恒例の11月3日(文化の日)、同窓会総会がレストランパレスで開催されました。記念館の竣工もあり誰しもが開催場は記念館で、との思いもあつたのですが、条件未整備のところもあつて、止むなく恒例のレストランパレスで行われました。しばらくは「澁江」で総会案内をしていたのを、今年ハガキ通知に切りかえ、総会で逢いましょうと呼びかけました。それが効を奏したのが、20人以上の出席があり、加えて「卒業後〇〇年で初めて」という新顔が多く、いつになく盛況でした。

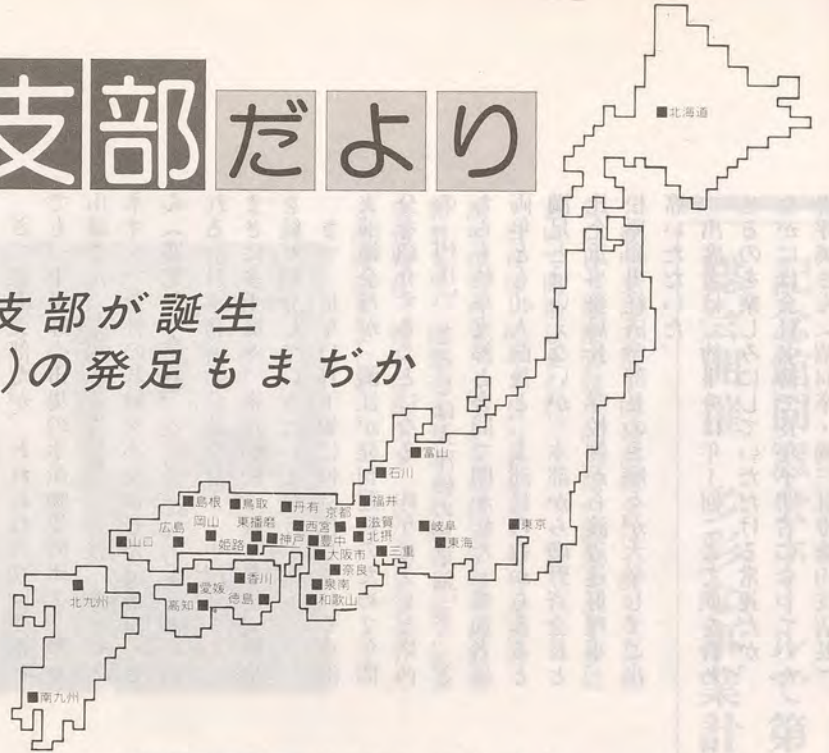
セレモニーは、前田悦子(13)実行委員長の開会のことばで、定刻11時から開始、司会は神田博(30)委員、磯野会長から、記念館竣工を祝し



て鈴木理事長に、記念品目録を贈呈しました。来賓祝辞のなかで、理事長は、国際的彫刻家、流政之(ながれ・まさゆき)氏をユイモラスな口調で紹介、同窓会からの記念品も後援会ともども、流氏の創作による彫刻によって創立50周年を祝したい旨話されました。山本新学長は教育に対する抱負を熱っぽく話され、とくに斯界で活躍中のOBたちとも交流を深め、開かれた大学の姿勢を打ち出して行きたいとのお話は印象的でした。  
理事長・学長・会長による鏡開きでパーティー開始、森政彦(33)委員の司会で、年代を超えて同窓生は皆同じの雰囲気です。ひとときわ若やいでした。  
パーティー終了後、スクールバスで本学記念館へ、30余人の見学者を乗せて大隅校地までドライブ。学内は大樟祭の真つ最中で若者たちがキャンパス一ぱいに模擬店をはり出して大賑わい。電算機のキーに触れたり、視聴覚教室の映像に見入るなど、50周年記念館を見学しました。今回は初めて女性委員長による運営で、終始、ソフトムードの総会でした。

# 同窓会支部だより

## 待望の大阪市支部が誕生 備後支部(仮称)の発足もまぢか



昭和54年以後、服部前支部長の後をうけ、約7年間東京支部長を務めさせていただきましたが、昭和61年7月1日付にて名古屋に転勤となりました。幹事間で種々協議の結果、井阪健一氏(昭和28年卒)に新支部長をお願いする運びになりました。井阪氏は野村証券投信委託(株)の取締役社長として活躍しておられ、人格識見共に優れた人物であり、素晴らしい方にバトンタッチ出来て大変喜んでおります。

## 60年度総会「新橋亭」で開催 新支部長に井阪健一氏

一、東京支部総会について  
昭和60年度東京支部総会は、10月25日(金)におなじみの「新橋亭」にて開催されました。大学からは昨年に引き続き北崎教授が、同窓会本部からは久方ぶりに渡辺名誉会長と、昨年に引き続き、比企事務局長がご出席下さつて、創立50周年記念事業等、大学・同窓会の近況他いろいろお話を聞かせていただき、有意義な集まりとなりました。

東京支部長としての私は、皆様のお役に立つどころか、逆に同窓会本部・各支部にお世話になり誠にありがとうございました。厚くお礼申し上げます。  
なお、自宅が東京と名古屋の2カ所にあるという生活が当分続きますので、東京支部と東海支部の両方にご挨拶に出向したいと考えております。今後共よろしくお願い申し上げます。



# 今年の支部総会は グルメの味と共に

東海支部  
支部長 加藤 正秋

同窓会広報部から「お店拜見」に代わって「話題性のある同窓生」を掲載したいと依頼がきた。瀬江の企画性には常々敬服しているが、これは読みごたえがある特集になるだろうと思った。

さて東海支部だが、われわれの10回生だけでも、中央卸売市場の水産物界のボス、桒々山誠さん（茶福水産・社長）、戦後、蛍光灯とネオンで会社の基盤を不動にした河盛富三さん（盛電社・会長）、名古屋でNO.1といわれる会計事務所の公認会計士・中川進さんとまさに多士済々。企画が続く限り名物同窓生を続々紹介していきたいと思う。

さて、毎年11月下旬に恒例化している東海支部総会だが、瀬江が発刊遅れのため2年間分を紹介することになる。昨年はテレビ塔西の「円庄」、ことしは大津橋の「京錦」で、どちらも岐阜支部と合同で開かれた。参加者は兩年とも40人前後と、支部員の教からみると満足とはいえないが、本部から磯野斉会長と比企重事務局長、学校側から渡辺達好理事、松原和男経済学部長のお歴々が大挙してご出席いただいた。

出席者は、約半分は年1回ここで顔を合わせるのを楽しみにしていただけの常連だが、なかには会員名簿で長年不明者になっていた岩坪純さん（昭44卒・岡三証券金山支店長）

が、部下の同窓生とひよっこり現われるなど、毎年新顔が登場してもらえのりも楽しみである。さて毎年幹事会でその年の催事を考えているが、ことしは美人のフリーアナウンサーを招いて、会を盛りあげた。美声でうっとりす

## 和氣藹々のうち 旧交を暖める

京都支部  
支部長 深田 稔

9月6日（土）午後6時30分より京都ホテルで本年度支部総会を開催。前支部長のご都合で副支部長の深田 稔が臨時支部長代理として、谷、南、井出諸氏とともに合同でお世話させていただきました。当日、皆様より私、深田を新支部長としてご指名をいただきました。

学校側から渡辺理事、黒正就職部主任、同窓会側から磯野会長、比企事務局長の4氏のご臨席をたまわり、同窓会の現状、新しく完成した記念館の建設費の寄付の件、今年度の就職状況と学生の現代思考等のご説明をいただいた後、会員20名とともに相互に旧交を温め、ご婦人のご出席もあり、和氣藹々のうち

るような司会だけでなく、全員がいつしよに楽しめるゲームから賞品まで相談に乗ってくれる。このおかげで、ことしはいつものカラオケ大会に、ご存じの方も多いビンゴゲームなど、おやじから孫までのファミリー感覚で興じあった。

来年もさらにぎん新たな企画で楽しみたいと願っているので、とくに若い同窓生が誘い合っ、顔をみせていただけるよう、願ってやまない。

に9時に閉会。有志の方々は祇園での二次会に同道され、次回も一回元気で再会することを約して散会しました。

今回は、特殊な事情もあって、出席者が少なかったため、次回は今回出席された方々が一人ずつでも勧誘して、少なくとも今回の倍の人員が出席されるようお願いいたします。

会員の中には、次回は8人を引っぱって来ますと約束された方もあり心強い限りです。新しく卒業された方々のご出席を特に切望いたします。

なお、本会開催に当たり、お世話になりました幹事の方々に紙上をもって厚くお礼申し上げます。

## 記念館同窓会ホールで第1回通常 総会開催 多彩な事業計画を発表

豊中支部  
支部長 筒井 英夫

豊中支部の第1回通常総会は、61年7月20日（日）母校50周年記念館の同窓会ホールにおいて開催しました。

当日は、昨年7月21日発足した当支部の一周年に当たり、大学からは経済学部長の松原和男先生、同窓会本部からは磯野会長、比企事務局長、特別に松川圭一氏（15）に來賓としてご出席頂きました。



香川尚道先生の講演を聞く

総会は親しみを感ずる円卓方式で、山本事務長の司会により諸議案を検討、出席者全員のご協力により、原案通りすべての議案は滞りなく承認されました。次いで、香川尚道先生から「最近における円高の進展」と題して、約1時間ご講演頂きました。最近の円の動き、新聞の経済記事の読み方など、事例を交えてのお話で、私たちの今後の仕事に、日常生活に大いに参考となり、有意義でした。そのあと、川吉一郎氏（8）の乾杯でパーティー。磯野会長差入れのウイスキーでのどを潤し、趣味同好会の話、職場の話などを肴に和やか、松川氏による逍遙歌の歌唱指導で最高潮。午後2時、黒田副支部長の閉会のことばで、無事終了しました。

- 1、61年度役員の顔ぶれ
- 支部長 筒井英夫(11) 副支部長 前田悦子(13)
- 黒田稔(15) 平田寛(27) 山本雄三(28) 事務局長 斎貞文(30) 書記 丸本桂三(30) 会計 岩浅哲夫(29) 監事 上野満里子(14) 大槻明司(22)
- 地区委員 野田寛(27) 中村昌弥(30) 三原健太郎(29) 末川明男(36) 足立健人(27) 植田富雄(38)
- 寺本聖興(35) 金丸州男(32) 塩田利一(22) 塩見道弘(31) 藤敬一郎(31) 石川好真(30) 関谷宏之(42)
- 西村敬一(31) 金子実(44)
- 2、事業報告と計画
- 趣味ごと同好会の発足……趣味のアンケート

ト調査（61・5実施 回答15通）の主な結果は次のとおりです。

- 旅行47 ゴルフ46 読書23 麻雀15 ハイキング13 魚釣り12 古寺美術鑑賞11 カラオケ9

これらのアンケートに従って、趣味の項目ごとに同好会をつくり、世話人をきめ、年1・2回親しく話の出来る親睦の場をつくることになりました。

《第一泊旅行 洲本「四州園」》  
61年11月23・24日 O B経営の「四州園」へ、つれもつていこら「を」を行います。往復ともマイカーに分乗、晩秋の夜長を心ゆくまで歓談し、翌日はゴルフ・観光などそれぞれ別々の同好会、夕方同じマイカーで豊中へ帰る予定です。

《豊中支部メイクフレンドツアー》  
豊中支部のみなさん

春の旅を楽しみませんか？  
私も新役員としましては、支部活動のあり方について、アンケート調査を基にしていろいろ討議した結果、旅行の趣味の方が非常に多かったため、有馬温泉へ親睦旅行することを決議しました。

有馬温泉でお互いの年代も忘れて楽しいひとときを、経大OB同志としてのふれあいを大切に……。どうぞ、同期生の方がたをお誘いの上気楽にご参加下さい。

なお、第2回通常総会を併せて開催しますことをご了承下さいませよう、お願いいたします。  
※旅行日 62年4月 または5月  
宿泊先 有泉閣（私学共済宿泊所）

参加方法 (参加費用1万3000円)の  
前金1万円を左記銀行口座に振込んで下  
さい。残金は当日払いです。

大阪経済大学同窓会豊中支部

代表 筒井 英夫

申込〆切 62年1月末日まで

④ 旅行の詳細プランづくりについては、  
後日参加者のみお集まり頂いて協議しますの  
で、よろしくご了承下さい。支部のみなさま  
方の参加申込みをお待ちしております。  
3、支部歌の作詞ができました

## 計画以来9カ月 待望の 大阪市支部結成される

大阪市支部  
事務長 陰下 嘉典

すでに全国で32支部が結成されているのに、  
地元大阪市には支部が結成されないで、折り  
にふれて、支部結成の動きがありながら、実  
現しないまま推移してまいりました。ところが、  
母校の創立50周年を機に、地元同窓生相互の  
より親密な連携が必要ではないかとの機運の  
高まりとともに、同窓会本部の機構改変で、  
従来の企画部が組織部へと変更されたのに伴  
い、組織部で検討が開始されました。  
その結果、「母校の所在地である大阪市に同  
窓生相互の親睦を図り、先輩・後輩の連携の  
きずなを育む支部組織を結成することこそ、  
母校愛を育て、同窓会への帰属意識を高める  
ための急務である」との結論を得て、大阪市

山本副支部長の作詞による「豊中支部歌」  
を総会の席上、披露されました。作曲して下  
さる方を求めています。来年の総会には出席  
者全員で歌いたいです。替歌でもいいの  
ですが……。  
4、「澱江」で支部事業計画を通知  
9月6日(土)、豊中市民会館において新役  
員会を開催。総会開催の工夫・周知方法など  
を検討の末、「澱江の支部だより」を十分活用  
して、事業計画・総会予告を行っていくこと  
にきまりました。ご講読をよろしく願いまし  
ます。(61・9・6)

内在住者3千余名をまとめるため、取り敢え  
ず組織部が中心となって、支部結成を推進す  
ることとしました。具体的には、数度にわた  
る組織部会において、本部役員・各クラブO  
B役員等々の協力を得て、「大阪市支部設立準  
備委員会」を組織し、第1回会合を60年8月  
23日、レストランパレスで開催しました。そ  
の後、二度の準備委員会で各委員の意見を取  
りまとめ、支部運営規則案をはじめ、大阪府  
内26区を6ブロックに分割運営する方法を決  
定しました。  
計画以来9カ月、61年5月25日(日)50周年記  
念館において設立総会を開催しました。当日  
は天候に恵まれ、磯野同窓会長、鈴木学長兼



理事長代行をはじめ、多数の来賓の方々のご  
出席を頂いて、真新しい記念館大会議室での  
午前の総会では、伊藤音七郎氏(6)を議長に、  
支部運営規則案ならびに役員選出については  
満場一致で、準備役員会案が承認可決されま  
した。午後は、記念館7階の同窓会ホールに  
おいて、生協心づくしの料理に舌鼓を打ちな  
がら、盛大な「支部結成祝賀パーティー」が  
開かれました。午前中の式典ではやや緊張気  
味の会員諸氏も、そこはやはり同窓のよしみ、  
大槻先生の乾杯で雰囲気は一転、会場は和気  
あいあいの熱気に包まれて、予定の2時間は  
瞬く間に過ぎていきました。写真撮影の担当

は太田一澄氏、司会は桑田利雄氏、松川圭一  
氏指導で逍遙歌の斉唱、最後に松本義和副会  
長の萬歳三唱で、名残つきなまま再会を約  
して散会しました。

今後は一人でも多くの会員に参加して頂け  
る魅力ある支部活動を展開したいと願って  
おりますので、より一層のご支援・ご協力  
をお願いします。

なお、大阪市支部役員は次のとおりです。  
ご意見・ご連絡事項等心安くご連絡下さいま  
すようお願いいたします。

支部長 南部俊一(9)

副支部長 西北ブロック(福島・大淀・此花

## 2000名を超す マンモス支部に成長

大阪市役所支部  
幹事 藤川 保治

母校、大阪経済大学もますます充実し、輝  
かしい歴史と伝統をそなえ発展されているこ  
とは我々同窓生といたしましても喜ばしくご  
同慶にたえません。

我が大阪市役所支部は記録によりますと、  
昭和25年1月大阪市役所に奉職する同窓生13  
名の方々によって結成され、初代支部長に広  
田 実氏(第1回卒)が就任され、その後、  
第2代支部長に中村宗啓氏(第3回卒)、第3  
代支部長に村上静夫氏(第5回卒)、第4代支  
部長に砂山 保氏(第7回卒)、第5代支部長  
に金子昭典氏(第15回卒)と歴任されてまい  
りました。

区)古賀省三(7) 西南ブロック(西成・浪  
速・港・大正区)松川圭一(15) 中央ブロッ  
ク(東・西・南・北区)太田一澄(17) 東南  
ブロック(東住吉・平野・住吉・住之江・  
阿倍野・天王寺区)貝塚 茂(18) 淀川ブロ  
ック(東淀川・淀川・西淀川区)桑田利雄  
(19) 東北ブロック(城東・鶴見・旭・都島・  
東成・生野区)越川 昇(35)  
事務長 陰下嘉典(16)

事務長代理 池田善雄(36)

会計 大畠恒夫(17) 平尾哲男(28)

会計監査 佐藤順郎(8)

第5代支部長金子昭典氏が、昨年、大阪市  
役所を定年退職され、その後任として、昭和  
59年度総会において、あらかじめ承認を受け  
ていた倉田秀太郎氏(第21回卒)が第6代支  
部長として引き継いでおります。

支部活動としては、毎年1回、支部総会を  
開催し同窓会本部並びに母校からご来賓をお  
招きし、母校の現況をお聞きしたり、会員相  
互の親睦を深めるのを目的といたしております。  
すがこころはらく開催いたしております。

当大阪市役所支部も母校がますます発展い  
たすとともに大学II部卒業生も増加し、また、  
そのうえ昭和52年に大阪府立高等学校教職員



の同窓生の方々も加入され、2000名を超す  
マンモス職域支部になってまいりました。

このように組織がマンモス化するにつけ、  
支部運営につきましても仕事の片手間でやる  
のが困難となり、行事も滞りがちになってい  
るのが現状であります。

私ども幹事といたしましては早急に幹事会  
を開催し、その対策を協議し、おそくとも来  
春早々までには、総会を開催したいと思っ  
ておるところです。

結成以来30有余年の歴史を持つ当支部の伝  
統を絶やすことのないよう努力いたす所存で  
すので何卒ご支援・ご協力をお願いいたします。

### 若い女性の参加で 一層華やかな総会

神戸支部  
世話人 浜田 明

神戸支部は、昭和23年に結成、発足し、この間、歴代の支部長のご尽力により発展し、同窓会本部のコンピュータ名簿により、約2,000人の会員に達しております。

現会長の田淵栄次氏(21回、神戸市総務局長)のご指導のもと、会員一同益々結束を強め発展を目指しております。

昭和60年定時総会

昭和60年定時総会は、11月15日(金)、午後6時より、三宮・サンバル・ビル、8F(天



「一坊」にて開催されました。会場は三宮ターミナルより徒歩5分の交通至便の地であり、また、日々整備が進んでおります三宮東地区の再開発ビルで、「風車のあるビル」と呼ばれております。

### 10月開会に定着 してきた総会

姫路支部  
支部長 永川 仁一

支部結成日。昭和23年1月18日。

近年は6月の同窓会本部の理事会後、姫路の幹部会を開き、10月上旬に総会開催というパターンで定着しかけています。

昭和60年秋季総会

一、日 時 昭和60年10月4日(金)

一、場 所 北京閣

一、出席者 (1)ご来賓 泉谷教授、黒正就職部

主任、磯野会長、比企事務局長

(2)同窓生 37名

さて、大学においては、地域との密接な協

のは私の偏見ではあるまい。

昭和61年同窓会姫路支部総会

標記の件左記の通り開催致しました。

記

一、日 時 10月3日(金)午後6時より2

時間

一、場 所 北京閣

一、出席者 (1)大学、同窓会本部よりのご来

賓 渡辺達好理事、黒正就職部

主任、磯野同窓会長、比企事務

局長 (2)同窓生 32名

渡辺理事より大学の近況、磯野同窓会長よ

### グループ結成の推進で組織づくり 有意義だった支部同窓会

岡山支部  
支部長 村上 一夫

岡山県下在住の同窓生総数も、今年で1,200名に近づきました。ご参考までに申し上げますと、1〜10回卒が4%、11〜20回卒が5%、21〜30回卒が7%、31〜40回卒が32%、41〜52回卒が52%であり、いかに、全国的にも、我が県としても、20歳台から、40歳までの卒業生が多いか。これこそ、正に、最近のわが母校の優秀さと、卒業生の努力のたまものだと思います。

母校創立50周年記念館も竣工し、都心型大学として、ますます、内容が充実され、われら同窓生としても、今後の社会的責任の重大さを痛感しています。そのためには、来年3月までは、可能な限りの募金に協力しようではありませんか。

り同窓会の活動ならびに50周年記念募金の現状等についてご説明があり、支部の今後の運営在りかたについて、各位のきたんのない意見を交換し、中でも今年には市政担当の決意をもったもの2名が現れ、今までは一味異なつた雰囲気を示し、和気満々のうちに終了した。

昭和62年度同窓会総会左記の通り決定

一、日 時 10月2日(金)午後6時より

一、場 所 北京閣

乞う。多数のご出席。

わが支部でも、組織作りの一貫として、昨年は、市役所経大会グループが結成され、また、今年も、津山経大会グループ(代表 武田郁文(33)、幹事 竹本巧(37))が61年6月1日に発足しました。また、支部役員も、小谷哲生氏(49)(北部担当幹事)および中塚節也氏(24)(岡山市役所グループ担当)武田郁文氏(33)と竹本巧氏(37)(津山グループ担当)が支部幹事として増員強化いたしました。そして、今後とも、同期グループはもちろん、地域、職域、クラブ別など、グループの結成を推進し、県支部の核組織として、お互いの連絡の緊密化を計り、同窓会の組織、役員の適正配置づくりを實施し、1年1回の定例同窓会を今後ますます充実して、多様化に順応したいと考えてい



杯、懇談に移りました。宴たけなわ、出席者会員にマイクが回り、自己紹介、近況報告とお互いに旧交を温め、楽しい内に時間のたつのも忘れる程でした。特に、今回は、第47回米田由美子さん達、若い女性の方の参加もあり、一層華やいだ雰囲気のもとで開催することができました。

終りに、出席者全員が肩を組み合い、学歌、逍遙歌を学生気分にかえり合唱し、最後に母校の発展を願い萬歳を三唱し、午後8時30分無事終了いたしました。

今後とも会員相互がよく連携し、母校の発展に微力ながら尽す所存でありますので、各支部の皆様方におかれましては、今後とも神戸支部にご指導、ご教示を賜りますようこの誌上を借りまして心からお願ひ申し上げます。

力関係により成り立つものであることはいうまでもないことであるが、今後、数年間は高校生が激増する状態であり、これに対し効率的な手を打つべきことは当然であるが、本年度の場合、地元大阪府の国立大学付属高校の2校、北野、天王寺、大手前、四条畷、茨木、豊中、三国ヶ丘、高津の8校の進学校及び私立高5校より1名の入学者もないことは淋しいきわみである。これは何を物語っているであろうか。大学としても、同窓会としても考えなければならぬ問題であると思料する

さて、今年度の支部同窓会は、6月7日(土)「ラウンジ・赤いグラス」を(午後5時〜9時)借りきって開催しました。50名の定員も満席の大盛況で、定刻、岡本健也氏(2)の名司会により、第1部が始まりました。まず、村上支部長(12)から年間の行事報告、今後の予定説明があつた後、ご来賓としてご臨席いただいた、磯野会長より来年3月末までに募金目標達成の協力要請が、また、松尾教授より母校の現況が、黒正就職部主任より最近の企業先別求人就職状況などの説明が、そして、最後に、比企事務局長より各地方支部の状況な





と報告がありました。次いで、祝電披露、支部役員紹介が、また、小野副支部長(5)から来年の支部同窓会は、62年6月6日(土)開催との予告がされて1時間の総会を閉会しました。

### 備後支部(仮称)の 発会式を待つ

もう何年前になるだろうか(新幹線がまだ新大阪までしか開通していなかった頃である)、福山市を中心とした同窓生が約50名程集まったことがある。

当日は広島島の佐々木支部長と私が出席し、広島支部福山分会として今後の活躍を期待して散会した。

その後、小池勝章君(2)には大変ごめいわくであったと思うが、何回となく支部結成を要請してきたが、ご多忙のためなかなかOKがなく、今日に至った。

しかし、とうとう念願の「小池号」が動き出した。

61年10月26日(日)、福山で佐々木広島支部長が列席のうえ、「備後支部(仮称)」がスタートすることになった。この誌面を借り、佐々木広島支部長に厚くお礼を申しあげるとともに

いこの腹をわけての会談は夜を徹し、二次会へ行く事の出来ない島での閉会は、なんと午前1時半でした。  
翌日は有志8名による魚釣り大会となり、安芸の宮島沖でのサバ釣りに興じ、台風の余波をうけたにもかかわらず大漁でした。新田正信さん(7)をはじめ古屋剛さん(11)、川下正男さん、黒正さん等に、特に、喜んでいただきました。  
本当にスッキリした会合であったと自負している次第です。

二郎市議員(1)より、「来年もよろしく」とのあいさつもあり、最後に学歌を合唱し、「蛍の光」で見送られる定刻9時まで、有意義に懇親しました。  
以上、岡山支部の、年間行事概況を、誌上を拝借してご報告申しあげ、みなさまのご理解と、今後のご協力を切にお願い申しあげます。  
なお、昭和61年度同窓会出席者は49名でした。

に、日に夜に自宅まで電話をかけ、ご令室にまでごめいわくをおかけした小池勝章君に伏してお詫びを申しあげるとともに心から感謝の意を表します。  
11月22日(土)に発会式を、との申し出が

### 似島一泊の総会 久し振りの学生時代を満喫

広島支部  
支部長 佐々木 一義

一、61年支部の集い。年中行事とは言え「同窓生の皆様が楽しい思い出となるような企画はないか」と思索を練るが、決め手が見つからない。そこで、想いついたのが瀬戸内を利用しての似島一泊の総会となった次第です。  
当日は、大学側から成瀬教授(理事)、黒正

就職部主任、同窓会本部から磯野会長をお迎えし、総勢18名でしたが、中味は最高に濃いものとなり、久し振りに自由奔放の学生時代を満喫することが出来ました。  
まず、童心に返っての潮干狩に始まり、瀬戸内のあらゆる生鮮料理に舌鼓をうち、お互

二、広島支部の分割について

支部を長年運営して参りましたが、広島県の地形上、福山、尾道近辺の同窓の皆さんへの対応をどうするかと言うことが悩みの一つでありました。つまり、広島市での会合に備後地方からは出席し難いということです。その解決策の一つとして、山口支部のように開催地を毎年転々とすることも考えましたが、それより県を東西に分割したらどうかと言う事で、現在最終打合せの段階にあります。広島支部の皆さん!! 実情をご賢察下さいましてご理解いただくよう本誌を借りてお願いする次第です。

三、大学当局へお願い  
(1)、先日、所用で茨木方面へ参りました時、母校の茨木用地付近を見て驚きました。それ

### 夏まつりの最中 大淀川畔で総会

南九州支部  
支部長 宮田 順一郎

昼間は30℃を越えていた真夏の暑さも太陽が西に傾くとともに大淀川を渡る川風もいっらか涼しさを感じる。今年8月23日(土)、宮崎、大淀川畔のホテル・フェニックス、3階の大広間で盛大な支部総会が開催できたことを大変うれしく思う。

例年通りの宮崎、鹿児島からだけの会員の出席かと思っていたところ、今年には熊本からも参加していただき誠にうれしい。  
また、本部からは磯野会長、大学からは渡辺理事(同窓会名誉会長)、八木田先生、就職

ありました。当日は東海支部総会が開催される日であるため、日程の再調整をしております。  
いずれにしても、佐々木広島支部長の「融和」の精神により、備後分会でなく、備後支部としての独立をご認容下さいましたことに対し謝意を表します。  
新しく支部長に就任されるのは守屋 毅氏(20)、副支部長に小池勝章氏(2)が予定されており、発会式での総員の承認を待つだけとなりました。

備後支部(仮称)の地域は  
福山・尾道・府中・三原・因島の5市、瀬戸田・御調・向島・内海・沼隈・神辺・新市・三和・油木・神石・東城・上下の12町、豊松村、1村  
となるようです。  
では、発会式でお会いできるのを楽しみにしています。  
(事務局長 比企 重)

は用地の上の方にすぐ大きな団地が出来あがっていることです。現存用地の広さからすれば転売し、もっと広い用地の確保等思い切った方策を望みます。  
(2)、定員増はご苦勞様でした。次に学部の新設増設は如何になりましたか。21世紀に向かつて長期、短期ビジョンの上に立っての学部増設であってほしいものと考え、当局の大英断を希望する次第です。  
(3)、スポーツ選手のセレクションについて私見としては、少数精鋭主義でセレクトしてほしいものです。今年の広島カープを見て、北別府というエースと津田という抑えの投手がいたから、あの弱体チームがセ・リーグで優勝できたのです。その点思い切った対応に踏み切ってほしいものです。

部の黒正主任がご遠路はるばるご出席いただき支部全員にかわり厚くお礼を申しあげるとともに、いつも元気な姿をみせてくださる比企事務局長のお姿がみえなかつたことがさびしく残念に思う。来年は是非出席して下さい。ことを支部全員で待っている。

今年も会場の下の大淀川畔では夏まつりの最中で、そのにぎやかさが会場にも流れてきていたが、それにも負けず、大盛名司会者により、支部長、磯野会長、渡辺名誉会長、八木田先生、黒正主任さんのごあいさつとお

話等につき、出席者各人による自己紹介で会  
は最高潮に達し、若い人、壮年、実年と、各  
人それぞれの思い出に花が咲き、時の過ぎる  
のを忘れて夏の一夜を十分に満喫した。

来年の再会を熊本県で開催する旨を決議し、  
熊本での再会を約し、出席者全員で学歌を斉  
唱し、名残を惜しみつつ総会の幕を閉じた。

今年の総会のためご苦勞をおかけした宮崎  
の大盛さん、福田さん誠にありがとう。

なお、台風が接近していた一昨年は翌日大  
阪へ帰られる方々の飛行機の出発を心配した  
が、今年はその心配もなく安心した。



られない奄美大島、沖繩の会員の皆さんも来  
年は是非ご出席下さいませようお待ちしております  
ります。

次に、同窓会の組織運営に関する今後の課  
題ですが、世代が若くなるに従って同窓会へ  
の関心度、参加率が低くなる傾向がみられま  
す。このことは一人南九州支部のみの問題で  
はなく全国各支部に共通する悩みだと思いま  
す。もし、支部組織運営の面で成功をおさめ  
ているところがありましたら一度この欄を通  
して紹介していただきたいと思えます。

さて、余談になりますが、10月2日(木)  
のNHKニュースセンター9時は私大の生き  
残り対策を主要ニュースとして取りあげてい  
ました。すなわち昭和68年以降、18歳人口の  
激減に伴って私大の経営危機がやってくる  
ということ。そのことにそなえてそれぞれの  
大学では、今、自校のイメージアップに余念  
がないというのがその時の報道内容でした。

我々の母校、大阪経大も冬の時代にそなえ  
て、何かうつつ手があればよいかと先々を案じ  
ながらテレビを見た次第です。数年後他校の  
後塵を拝することのないよう、大学当局の展  
望のきいた対策を待ち望んでいます。

なお、すでにご存知の方もいらつしやいま  
すが、宮崎県串間市にご在住でした林 忠尚  
氏(7)が今年4月15日胃ガンのため亡くなられ  
ました。確か70歳だったと聞いています。皆  
さんと共に故人のご冥福をお祈りしたいと思  
います。

次に、南九州支部総会開催に際して宮崎相  
互銀行社長木村さん(7)(当日欠席)よりビー

## 在学生、父母も呼びかけて

—支部総会の幹事役を務めて—

今年の南九州支部総会は残暑のきびしい8  
月23日(土)の夜、宮崎平野を流れる大淀川  
河畔のホテル・フェニックスで開かれました。  
当夜はたまたまホテルのすぐ南側の「橋公  
園通り」(この夏建設省の「日本の道路百選」  
に選ばれたフェニックス並木の続く南国情緒  
あふれる通り)では「宮崎夏の夜祭り」とジャ  
ズの祭典」があり大勢の人出でにぎわってい  
ました(翌日の新聞報道6万人と記す)。

こんなはなやいだ街の雰囲気の中で支部総  
会が開かれたわけですが、みんな和気あいあ  
い夜の更けるのも忘れて大いに飲み楽しく語  
り合いました。

当日のメンバーはご来賓として大学、同窓  
会本部から教養部長の八木田先生、渡辺理事  
磯野会長、就職部の黒正さんの4名、これに  
地元支部会員20名(熊本1、鹿児島4、宮崎  
15)在学生父母1の計25名による総会でした。  
支部総会の詳しい模様については重複を避  
けるため鹿児島在住の宮田支部長の報告にゆ  
だねることにして、私の方からは今年の支部  
総会の特色と思われる事の紹介と、来年の総  
会の開催地について、それに、大学当局への  
要望等、あれこれ取り混ぜて報告にかえたい  
と思えます。

今年の支部総会を開くに当って、特に、例  
年と異なる点は在学中の学生の父母へも同窓

南九州支部(宮崎市在住)大盛 豊一(23)

会の案内状を差し上げ参加を呼びかけたこと  
であります。その努力の甲斐あって2名の在  
学生の父親に出席していただくことができました。

4回生の父親堤さんは経大26回卒で、親子  
二代にわたる経大ボーイであることがはじめ  
てわかりました。2回生の父親田中さんから  
は後日電話で「とってもいい雰囲気の中でし  
た」というありがたい感想をいただきました。

在学生の父母へ案内状を出すことについて  
はいろんな点で意義があるように思われます  
ので今後継続していきたいと考えています。

南九州支部は熊本、宮崎、鹿児島、沖繩の  
4県の卒業生で組織されていますが、なにし  
ろその範囲が広域にわたるため会員相互の交  
流には手間どる面もかなりあります。しかし、  
各人の努力で不利な諸条件を克服し、つな  
がりをいっそう緊密にしていくよう頑張ってい  
るところです。

来年は熊本の会員の便宜をはかるため、会  
場を熊本県人吉市に移すことになりました。  
熊本県の皆さんには来年の支部総会に向けて  
今から相互に呼びかけていただいたり、また、  
八代市の浜さんを中心数名の方が幹事役を  
積極的に引き受けて下さるなど早めに準備と  
取り組んで下さいますことを期待しています。  
なお、これまで一度も支部総会に参加してお

## サイレンに平和と 母校の発展を願う

福井支部  
支部長 内田 甫

私の生地は、福井県武生市の東部、万葉の  
ふるさとといわれる味真野で、朝夕二つのサイ  
レンを耳にして生活している。

その一つは、西方にある仁愛女子短大より  
静かに響きわたるミュージックサイレンで、  
私にとっては、いろいろと懐かしい幼時の思  
い出をめぐらしてくれるのである。それは、  
幼いころ日曜日には村のお寺で日曜学校が開  
かれ、そこでのできごとのあれこれを思いだ  
させてくれる。日曜学校では、いつも、御仏  
の寛大な慈悲を学び、説かされ、聞き入った  
ものである。その後で、歌詞は確か「われら  
は佛の子供なり、うれしきときも、悲しいと  
きも、みごやのそでにすぎりなん」と、みん  
なが口をそろえ、一緒に小さな手をあわせて  
歌ったように思われる。この幼いときの楽し  
い、愉快な思い出が走馬灯の如く行きかい、  
いつも、その響きが鳴りやむまで、ひとり  
に自然と口ずさんでいる。このようにして、  
今日の日を感じ、明日への生きがいを感じ、  
今日ある楽しい一日の中に、うにいわれな  
い深い尊敬さに打たれている。

いま一つは、市の出張所より、定時に吹鳴

紙面を借りて心からお礼申しあげます。  
来年、人吉市で多数の会員の皆さんとお会  
いできますことを祈りつつ宮崎からの報告を  
終わることにします。

されている昔ながらのサイレンである。それ  
は、戦時中になやになる程聞きならされた、  
あの空襲警報の音である。しかし、平和な現  
時代には、このような空襲などという言葉、  
文字さえ忘却の彼方に遠く消え失せられ、今  
は国家繁栄の鐘の音として、思いも新たに  
日々励まされるのである。

この音を聞き、自己の学びきた学生時代の  
あれこれの日々が思い出され、母校の現在お  
かれた優雅な環境での学問、運動にいそむ  
学生諸君の恵まれた生活に考えがおよぶので  
ある。今日もまたこの二つのそれぞれの音色  
にしばし静かに一しお深い感慨を催すのであ  
る。

現在のような平和な日本がどこまでも末長  
く続くよう、そしてまた、母校、大阪経済大  
学が、鈴木学長先生のご指導により、諸先生  
ならびに大学関係の皆さん方の力強いお力添  
えのもとに、ますますの隆盛をひたすら心か  
ら願ってやまない一人である。

親愛なる大経大同窓生皆様のご健勝、ご  
多幸、ご自愛を祈りつつ……。

## 久方振りの支部総会 大いににぎわう

石川支部  
支部長 柚木 繁

日毎に秋が深まりつつある60年11月10日(日)午後3時から、金沢市内を一望できる金沢国際ホテルで、本日に久方振りに石川県支部総会を開催いたしました。

当日は、学校から理事大槻先生、松尾教授、黒正就職部主任、同窓会本部から磯野会長、比企事務局局長のご臨席をいただき、盛大に、かつ、和気満々裡に挙行できたことをともに喜びたいと思っております。



学校側より、50周年記念館のことや学園の現況、あるいは卒業生の就職状況などのお話の後、同窓会より、50周年記念館への募金の現況や同窓会本部および他支部の動向などのお話を聞き、本当に懐かしく、母校への愛着はないと思えます。

また、当日、われわれがなかなか利用できない金沢国際ホテルでの開催に格別のご配慮をいただいた北元喜雄先輩(10)に心からお礼を申しあげます。北元先輩はご存知の方もいらっしゃると思いますが、当ホテルの代表取締役、学校法人松雲学園・北陸大学の理事長をはじめ多方面で活躍されておられますことをこの誌面をお借りしてご紹介しあげておきます。

さて、総会は、一応、終了し、パーティーに入るや、今までは全然ちがった雰囲気、これこそ同じ釜の飯を食った輩の集りで、あ

## かえ難い母校への愛着 来年の再会を約す

富山支部  
支部長 重松 尚

昭和61年度富山県支部総会は7月13日(日)午後3時より富山市の富山第一ホテルにて挙行政致しました。

の若い世代にマッチしており、大きなアビールになるものと確信していると述べられた後、50周年記念募金にふれられ昭和62年3月迄にさらに引き続き当支部への一層の協力のご依頼とご挨拶がありました。

そして、松原先生から大学の近況につき、情報処理講座と実習の中核としての設置機械は日立の240・Hであり、学生諸君にも大いに活用されている様子及び入試状況につき、ここ10年来低下傾向にあった偏差値も上向きになったことや、推薦入学(商業科対象・特技(スポーツ)・普通科対象)でも成果をあげており、この推薦入学ではいずれも富山県から入学しているご報告があり、あわせて今後予想される学生数の減少期にそなえての将来の展望をも含めてのご挨拶がありました。

更に、大槻先生より資料に基づき竣工した記念館のご説明と、大学の中でもシンボルの位置を占め大学人に大変喜ばれている旨と募金集計についてご説明がありました。

## 昭和62年度支部総会の ご案内

同窓生の皆様お元気でご活躍のこととお喜び申しあげます。

香川県支部は、現在、会員数約600名。毎年1回、支部同窓会を開催しています。今回は「瀬江」を活用させていただいて、支部総会の案内をさせていただきます。県内はもちろん、県出身の方で、出張また

ちらでは手を握り、肩を叩き合っているグループ、こちらでは名刺を出して最敬礼をしている一団と、実になごやかな雰囲気がいっ果てることもなく続いていました。やはり同窓会というものは、肩書きをはずし、仕事を忘れ、上新庄の学舎とともに学び、ともに遊んだ、ただ単なる人間の集団の会合であることを感じさせられました。

本日に、心から楽しめる会合でした。ぜひ来年も開催したいと思えます。

秋の日はつるべ落ち、といわれますが、追遠歌を歌い、名残りおしく去り難い会場を後にした時は、金沢のネオンが輝きを増していました。

二次会へと有志が流れ、本日開店という「スナック・さくらがい」へ。そこで比企事務局長の旧患のハブニングがあったことは知る人ぞ知る、ということにして、また大いに飲み、語り香林坊の夜更けまで、金沢の夜を楽しみ、三々五々開散いたしました。

最後に、当日ご遠路ご臨席下さいましたご来賓の方々に、また、種々有形無形の北元喜雄先輩のご配慮に心からお礼申しあげます。またお目にかかる日を楽しみに。

母校から昨年に続いて法人理事大槻先生、経済学部部長松原先生、昭和57年以来久方振りの就職部黒正主任のご参列を初め、同窓会本

各種の総会報告も順調に進み、全て承認され無事総会を閉会しました。

そして、重松支部長の挨拶と「乾杯」の音頭に始まり、待望の第2部の懇親会にはいりました。

終始同窓ならではの和気満々の明るい雰囲気、話に花が咲きました。当日は、むしろ暑かったこともありビールの売れゆきも上々、ご来賓の方々をふくめての自己紹介も始まりました。宴たけなわ、黒正就職部主任より会場ホテルに本年度から勤務の坂下祐康君(61年3月卒業)の紹介もあり会は盛り上がりました。

時間の経過するのを忘れる程に早く過ぎ去りました。そして、学生気分に戻って、学歌追遠歌を合唱し、萬歳を三唱し一同別れをおし、来年の再会を約しつつ閉会しました。

終わりに、大学、同窓会本部のご来賓、ならびにご参加いただいた支部同窓会員のみなさまに心から感謝いたします。

香川支部  
支部長 和田 憲明

は帰省の予定の方も是非ご参加下さい。

日 時 昭和62年2月21日(土)  
午後6時(時間厳守)  
会 場 瓦町 わたや (地図参照)  
高松市瓦町1の11の1  
0878・61・3806



部より磯野会長、比企事務局長のご臨席をいただきました。

また、県内各地区より26名の懐かしい支部会員の顔が集まり開催されました。

総会は、高橋 努氏(34)の司会で始まり、重松 尚支部長(23)から本部及び母校からの遠来の諸先生方に感謝の意を表しながら、支部の最大の行事である総会に1人でも多くの会員が参加されるように誘い合って、今後とも、新たな感動を覚え、楽しいひとときを味わえる総会にしようとの挨拶がありました。

次に、磯野会長より大阪経済大学の50周年記念館が威風堂々たる姿で立派に完成し、瑞光寺付近の一つの名所になりつつあり、現在

会費 5,000円(当日ご持参下さい)

※参加希望の方は

左記まで / (締切は2月15日)

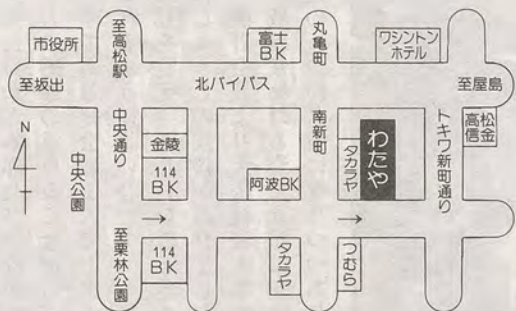
連絡先 須和憲一 高松市役所・広域行政担

当

和田恵明 わたや

藪内敏広 香川県中小企業団体中央

会



## 大経大の展望、支部の発展策、募金に話題広がる

愛媛支部

事務局長 宮崎 望

昭和61年9月7日(日)、第3回大阪経済大学同窓会愛媛支部総会を、新居浜市のオクダ会館にて開催いたしました。



総会は宮崎事務局長(37)の司会で、飯尾副支部長(29)の開会のことばから始まり、なくなられた恩師ならびに同窓生のご冥福を祈り、一分間の黙禱をしました。そして、学歌斉唱、小野支部長(26)のあいさつに続き、ご来賓の同窓会長磯野齊様、経営学部部長松尾竹彦先生、就職部主任黒正明様のご祝辞をいただきました。役員紹介と、その他の議題は、懇親会の部へ移すことになり、戸田副支部長(30)の閉会のことばでもって、盛会、かつ、和やかに閉会し、ひきつづき、懇親会の部へと移りました。

松山から出席された木村氏(31)の乾杯の音頭で楽しい会食が始まり、自己紹介、役員紹介へと移り、お酒も入り、リラックスしてきた所で自由議題(雑談も)へとはいりました。議題の中心は、主に、大経大の展望、愛媛支部の今後、50周年の寄付金の3点です。それらの会話を羅列すると、

- 親が大経大同窓生である受験生に対しては何らかの特典をもうけてはどうか。
- 女子学生をもっとふやしたらどうか。
- その為には新しい学部(コンピュータを使用した情報処理部門)をふやす案はどうか。
- 運動部、芸術学部等のPRが少ないように思う。

調子はいかがですか。これにこりず、来年の総会には、ぜひ、ご出席して下さい。全出席者の中で紅一点の中内さん、この濠江が届く頃には一児の母親になられて、いそがしい日々を過ごされている事と思います。来年は子連れで出席していただける事を心待ちにしております。また、その他の同窓生の皆様、来年は役員改選の年にあたっております。万障お繰り合わせの上ご出席下さい。

で千円単位、また、千円未満でも結構でございます。寄付をしてやろうと思われる方は、事務局の宮崎の方までご送金下さい。とりまとめて同窓会本部へ送らせていただきます。出来るだけ現金書留にてお願いします。封書の場合は、現金を入れて送った旨電話下されば幸いに存じます。受付の〆切日は、昭和62年2月末といたします。よろしく申し上げます。

送り先

宮崎 望

## 共栄造機株の最新式工場を見学

徳島支部

事務局長 河野 昭夫

多くの意見、案が出て、午後3時から始まった会も、あつと言う間に3時間が過ぎてしまいました。なごりつきないが、高知から出席された工藤氏(48)のリードのもとに逍遙歌を歌い、会計山地氏(33)の萬歳三唱の音頭でもって散会しました。

なお、体調をくずして欠席された佐伯先輩(1)、久米先輩(8)、布藤先輩(8)、来年の総会には、ぜひ、元気なお姿をお見せ下さい。冠動脈のバイパス手術をなさった松山の栗原さん(31)、手術後の経過はいかがでしょう。肋膜炎で入院されている新居浜の泰さん(43)、早くよくなって下さい。東宇和からこられる途中交通事故にあわれた松本さん(37)、電話では大した事はないと言われていましたが、身体の



再発足後第2回目の徳島県支部総会が10月19日(日)、徳島市の眉山会館において、ご来賓に磯野氏(同窓会長)、大槻先生(理事長代理)をお迎えして盛大に開催されました。今回は、やや趣向を変えて、総会に先だち同窓生の林 武氏(23)の経営する共栄造機株の最新式工場を見学させていただき、支部会員の研鑽と親睦の度を一層深めようと企画されました。永く徳島に在住していても、めったに見学する機会もなく、容易に見ることの出来ないもので、林社長の遠大な構想も合わせお聞きすることが出来て、会員一同大いに感銘いたしました。

さて総会では、ご来賓よりご祝辞、50周年



### 奈良奥山めぐりで 秋を満喫

昭和61年度奈良支部総会は10月5日(日)、奈良交通(株)本社会議室にて開催しました。本部から磯野会長、比企事務局長、大学から成瀬教授(理事)、黒正就職部主任をお迎えし、総員数60名が出席して午前10時30分から

### 各地から集まって 盛大な支部総会

記念館設立にともなう寄付金の納付状況、大学の近況等のご報告をいただいた後、支部の議題として、支部の充実、運営について活発な意見交換がなされ、最後に、伊藤支部長よ



丹有支部  
支部長 梶村 文弥

り支部会員としても50周年記念事業募金に出来る限りの協力をしようとの呼びかけがあり、熱気の渦巻くうちに総会の幕を閉じました。

今年の澱江の刊行は例年よりも遅くて年末になるとか、皆さますますご多様のことと心よりお喜び申しあげます。

丹有支部というのは、兵庫県の北東部にあって、京都府と一部大阪府に接し、古来の丹波国と摂津国有馬から行政的にも丹有地区と呼ばれていますので、支部の名称にしています。

地域の高校から母校に学んだ者と、当地在住・在勤の同窓生等が会員です。わずか3、4の高校の卒業生が中心ですが、かつての大阪経済大学の名声に集まった六百数十名の会員がいます。

ところが、ただ今は受験生が激減してしまいました。寂しいことです。もう一度魅力を感じる大学になってくれたらなあと思いつづけています。

さて、昭和60年度総会は、次のとおり盛大に開催することができました。

とき 昭和61年2月23日(日) 午前11時より  
ところ 三田市・宝来

奈良支部  
事務局 測上 孝

野尻支部長の挨拶で開会しました。同窓会および大学の現況と将来の展望について、ご来賓の皆様方からお話をいただき、会計報告を経て、支部総会の行事は無事終了しました。

記念写真撮影の後、12時30分から昼食懇談会を14時まで開きました。そして、同窓の融和と親睦をよりよく深める為に、出席者全員が、マイクの前に立てる様にし、自己PR、

### 熊野路にて 半世紀余の澱江をしのぶ



出席者 58名(大学・本部来賓5名)  
このたびは、三田地区の役員が中心になり、数回の役員会をもって準備を進め成功に導いてくれたのです。

当日は、大学から経済学部長松原和男先生、理事大槻弘先生、就職部副部长石井敏雄氏、同窓会本部から磯野斉会長、比企事務局長にご出席いただきました。

地元はもちろん、東京、京都、大阪、神戸、西宮、福知山などからも参加してくれ、会場全体が一つに解け込み欲談がはずみ、母校の伝統「融和」そのものの様相でした。

会の進行とともに、スピーチやカラオケに福引、それに数名のコンパニオンが彩りを添え、拍手と歓声が、熱気のウェーブとなって大きく盛り上がりました。

2次会がまた庄巻で、出席者の大半が、借り切りのスナックに移動し、夜の部まで歓をつくしました。

次回は、篠山で開催の予定とし、別れを惜しみながら散会した次第です。

日ごろの支部役員各位のご尽力に感謝し、皆さまの一層のご協力とご支援をお願い致します。



近況を語り合つて有意義な時間を過しました。最後は新企画の奈良奥山めぐりでした。

快晴の秋晴れに恵まれ、古都奈良の大和路を奈良交通(株)自慢のオープン観光バスで遊覧、木津川のほとりでは川辺を散歩して、秋の景色を満喫し、またの逢瀬を楽しみに散会しました。

なお、今回の支部総会には、総会、懇親会場を含め観光バス等、野尻支部長が副社長されている奈良交通(株)に大変お世話になり、勤務されている同窓諸兄にもご苦勞をお掛けしました。

書面をかりてお礼申しあげます。

三重支部  
支部長 水上 敏夫

日時 60年11月9日(土)、10日(日)  
場所 尾鷲市、ビジネスホテル・ゆかり  
出席者 渡辺法人理事、川野同窓会副会長、松原経済学部長、三重支部長以下12名  
概況 (1)開会 (2)支部長挨拶 (3)松原先生より (4)川野副会長より (5)渡辺法人理事より (6)閉会  
副会長の情報から一現在、同窓生、約4万5千人のうち、把握されているのが2万人。毎年約1千5百人卒業。  
松原先生から一入学生の偏差値の向上傾向、3種の推せん入学制実施に伴う成功。コンピュータ導入による情報教育への努力。  
渡辺先輩から一50周年記念行事の一つ、7

階建記念館建設中（1階学生ホール、7階に同窓会ホール）、来年3月完成。3億円の資金を募金中。全国33支部にも呼びかけ浄財を。新名簿発行準備中、申し込みを請う。価格6千円。澱江誌代1,000円をお忘れなきようご協力を。

本年は、遠路はるばる熊野路へお運びいただきご苦勞様でした。15名のこじんまりとした

### “泉南支部総会 次回ゴルフ大会にご参加下さい”

泉南支部  
支部長 中川 克己

泉南支部総会を5月24日(日)に貝塚市の料亭「ふの木」において盛大に開催いたしました。

大学より大槻 弘先生(理事)、黒正 明就 職部主任、同窓会本部より渡辺達好名誉会長、磯野 斉会長、比企事務局局長、西本集一広報部長、また、関西国際空港問題関係で奈良支部に籍を置いておられる大成建設の空港対策部長の南沢正廣氏等、多数のご来賓のご出席を賜り、同窓生20数名の皆様と楽しい一時を過ごすことが出来ました。今年の総会より岸和田市・貝塚市の同窓生数名も出席され、泉南支部もますます発展の途についてまいりました。現在泉南支部の活動はゴルフ大会と旅行が中心となっております。

今年のゴルフ大会は、7月16日(水)、大阪ゴルフ・クラブにおいて行われました。第1回卒の藪内正博名誉会長のお世話で大変楽しい一日を過ごすことが出来ました。夏の暑さ

た会合でしたが、落ち着いた雰囲気、和気あいあいときなな、先輩の活躍状況なども聞かせていただき、半世紀余の澱江をしのび、このつながりを今後も更に高めて行くべきことを覚え、お互いの健康と発展を念じつつ解散しました。会場の準備、始末等、種々お手数をいただきました皆様、ご苦勞様でした。ありがとうございました。

をふっ飛ばす絶好の天候で、老も若きも、一緒に、ゴルフが出来るとは本当に幸せだと思えます。次回より19回卒の北川市雄氏がゴルフの幹事を勤めてくれます。近郊の支部の方も是非参加して下さい。今年は山陰三朝温

### 「ふる里」で新年会を開催 平日にもかかわらず多数参加

鳥取支部  
会計 西山 林一

去る、1月20日(月)午後6時より、鳥取市内のおでん屋「ふる里」にて新年会を開催いたしました。昨年末、亀井支部長よりの要請により急な計画となり、日程や会場、それに支部長のご都合等により右記日時の開催となりました。出席者は、鳥取県東部地区の同窓生を中心に計16名でした。



最初に、亀井支部長より新年のごあいさつの後、大学の50周年記念事業の説明と募金協力のお話があり、以後和やかな懇親会へと進行し、二次会はスナック「街角」で、以後はそれぞれ三次、四次会へと分散し新年会を終えました。月曜日の午後6時開会という集まりにくい

### 札幌ならではの サツポロラーメンの味

北海道支部  
支部長 田中 喜三郎

今年の北海道支部総会は例年通り9月27日の土曜日に開催致しました。はやいもので昭和57年に支部結成してから5回目になるわけ

です。毎年大変お忙しい中、そして、ご遠方わざわざご出席をいただいて学校あるいは同窓会の様子、現況等についてお話を聞かせ下さっている諸先生方に心から感謝申し上げます。



日時にもかかわらず、多数のご出席をいただいたことは幹事役として誠に感謝にたえません。同窓生としての友情を強く感じた次第です。夏にはゴルフがマージャンの会を開き、楽しい同窓会にしたいものと考えています。今後共よろしくお願い申し上げます。

第です。毎年のことですが、今年こそ大勢集まって盛大にと事前に書面と電話で出席方を勧誘するのですが、思うようにならず、折角おいでいただいた先生方に誠に申し訳なく恐縮致しております。

今年には学校からは昨年につづいて松尾先生が、同窓会本部からは渡辺名誉会長と比企事務局長のお二方のご臨席を頂きましたが、相変わらずの少人数でお詫び申し上げたところ、人数が少ないとかえって心の通った会合になり、話もはずみ、楽しさも増すではないかとなくさめられたような次第です。

会場である第一ホテルの和室で郷土料理「えぞ皿鉢」で懇談、懇親に時のたつのも忘れて語り合い、「サービスマン女性の時間」のささやきで記念写真を撮り、夜の街「薄野」に二次会の席を移しました。ミュージックパブ「5、6、セブン」で各々

泉に旅行の予定でありましたが、予約が失敗に終わり、来年になりました。

私達の泉南地域は国際空港建設で大きく生まれ変わる様相を呈して来ましたが、地域の環境整備、対応化が目について来るのも遠くはありません。空港人口道路の用地買収交渉、泉野駅前(南海本線)の拡大による駅前周辺の整備、港海道路問題等、泉州は今大きく変化して来ております。その中で、泉佐野市商工会議所副会長の重里 実氏(II)が、先般、商工会議所を代表して、泉大津市民館において、公述人として堂々と疑問点を詰問されました。このように、多数の先輩諸氏が何んらかの形で活躍されおりますことを知っていただきたく思います。

最後に、大阪経済大学卒業の同窓諸兄の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

自分の「ノド」を披露しあいましたが、渡辺名誉会長の76歳とも思えない若くて元気なご発声に、松尾先生の落ちついたシブイ歌い振り、そして、比企事務局長の張りのあるリズム感のいいうまさに本当に敬服致しました。時間も大分経過したので、名物札幌ラーメンをご馳走しようと、薄野のど真中にあるラーメン横丁にご案内を致しましたが、ヒヤリとする北海道の秋の風が酔ってほてっている顔に気持ちよくあたり、一段と酔心地を快適にしてくれました。一同おいしそうにフウ／＼

いってたべられ、お腹もすいていたのか本当に皆様うまかったという様な顔付きでした。本州各地にも札幌ラーメンの店は沢山ありますが、札幌ラーメンの本場の味は札幌でなければ味わうことは出来ません。腹ごしらえも出来たので、今少し薄野の秋の夜長を楽しんでいただこうと、ピアノスナックへお連れ致しましたが比企事務局長の美声での演歌はこの店でも大勢のお客様の拍手喝采を浴び、本当にご案内してよかったですと思いました。

先生方のお元気なご様子に、お疲れのことと気をつかいながらもおそくまでお付き合いを願って誠に申し訳なかったと思っております。しかし、大変に楽しい一夜を過ごさせていただきました。

以上、支部総会当日の様子を書かせていただきましたが、当北海道支部は転勤族が多くて、年々減る一方で、新しく支部登録された人はいません。その後北海道へ転勤移住された方をご存知の方は本部又は支部へご一報下さるようお願い申し上げます。

# 同窓会支部役員

## 支部だより

東京支部 支部長 井阪 健一  
大阪府役所支部

東海支部 支部長 加藤 正秋  
西宮支部 支部長 八木 米次  
北九州支部 支部長 嶋原 正孝  
高知支部 支部長 横田 憲介

岐阜支部 支部長 坪内 敏男  
南九州支部 支部長 宮田順一郎  
丹有支部 支部長 梶村 文弥

滋賀支部 支部長 野田 邦弘  
神戸支部 支部長 田淵 栄次  
福井支部 支部長 内田 甫  
奈良支部 支部長 野尻 忠正

京都支部 支部長 深田 稔  
東播磨支部 支部長 永井 宏  
石川支部 支部長 柚木 繁  
三重支部 支部長 水上 敏夫

北摂支部 支部長 石川 裕  
姫路支部 支部長 永川 仁一  
富山支部 支部長 重松 尚  
泉南支部 支部長 中川 克己

豊中支部 支部長 筒井 英夫  
岡山支部 支部長 村上 一夫  
香川支部 支部長 和田 憲明  
和歌山支部 支部長 松本 旬弘

大阪市支部 支部長 南部 俊一  
山口支部 支部長 串田 一  
徳島支部 支部長 伊藤 博  
鳥取支部 支部長 亀井 寛

島根支部 支部長 渡部弘一郎  
北海道支部 支部長 田中喜三郎

# 学園の近況

理事長あいさつ 50周年記念事業 人事 学長あいさつ  
 教学関係 61年度入試結果 62年度推薦入学(募集要項) 施設関係 国庫助成 学術講演会・学会 マスコミ関係  
 計報 62年度入学試験概要 就職関係 新刊紹介 公開講座 その他の催し

## 理事長選任のごあいさつ



理事長 鈴木 亨

同窓生の皆さん、ご壮健でそれぞれ各界において、ご活躍のことと大慶に存じます。このたび、私は藤田敬三理事長のあとを受け、理事長に就任いたしました。職務専念のため、学長を辞任することになりました。6年もの間、皆さまのご協力のお陰で大過なく勤めることが出来ましたことを厚く御礼申しあげます。まことに微力ではありますが、さらに最善を尽くし、理事長としての重責を果たしたいと念願しておりますので、旧来同様、ご後援のほどよろしくお願いいたします。

さて、お陰をもちまして50周年記念館は、今春、古い時計塔にかわり、新しいシンボルとして誕生しました。本年5月には、中国の復旦大学から学術交流代表団が来校、記念講演会・交流への懇談会をもつことが出来ました。定員増をはじめ、学園の活性化は徐々に実施されており、恒例の公開講座も回を重ねて4回目、目下実施中ではありますが、府民の方がたにすっきり定着してきた模様と、喜ばしい次第であります。これらの地道な積み

重ねが追々と大阪経済大学を大きく発展させていくであろうと信じております。終りになりましたが、円高不況が叫ばれている昨今、記念事業募金につきましては、ご無理なお願いをいたしましたにも拘わらず、大勢の同窓生の方がたから熱意ある浄財をお寄せ頂き、心から御礼を申し上げます。一応、来年度3月末で締切る予定ですが、目標額が達成できますよう、何卒、格別のご後援・ご協力のほど、切に願ひあげます。

新しいシンボルとしての記念館が皆さま方の心ふるさととして育ちますよう、是非一度、母校をご訪問頂きたいと存じます。

昭和61年10月



## 学長就任のごあいさつ



学 長 山本 晴義

このたび、はからずも学長に就任することになり、その責任の重さをひしひしと感じております。皆様方の絶大なご協力を得まして50周年記念館も立派に完成し、大学全体の雰囲気が一ときわま明るくなりました。厚く御礼申し上げます。

鈴木亨前学長のもとに、教職員、の熱意で現在の急速な情報化に対応し得る条件が整備され、また中国をはじめとする大学相互間の国際的な学術交流も次第に密接に行われるようになり、現在の社会の要請にこたえ得る基礎が出来たと考えております。

私に課せられました課題は、もとよりこの基礎を発展させ、拡充してゆくことにありますが、まず研究・教育面で重要なのは、「産業界を超えて」とか「ハードとソフトの調和」とかの提唱に見られますように、現在学問はどの分野でも、大きな問題に直面しており、多面化していることであります。

私はこのような社会の動きを、敏感に先取りし、個性ある教学体制をつくっていくつもりであります。他面では、本学はまだまだ閉鎖性が強い。教職員も学生も、もつと

## 50周年記念事業

### ◇50周年記念館竣工式

創立50周年記念事業として、昨年5月10日に着工した記念館建設工事が順調に進捗し、予定通り3月に竣工しました。

61年3月31日(月)大安の日、午前11時から記念館1階において竣工式を挙行。本学ならびに工事関係者が出席してその完成を祝いました。

11時30分、定礎除幕式、鈴木亨理事長代行が柱礎を鎮定しました。記念館は4月8日から開館しました。

### ◇50周年記念館竣工祝賀会

61年5月10日(土)、午前11時から記念館7階において、50周年記念館竣工祝賀会が挙行されました。これには、京阪神の国公私立大学、大阪市、企業、同窓会、後援会など各界から約200名が出席しました。祝賀会は左記の次第によって行われ、終了後にコンピュータとAV機器のデモンストラーションが行われました。

次 第  
開式(玉岡事務局長)

国際的にも、国内的にも外部のあらゆる面と接触する。学外でも、どんどん活躍する。そこでの情報を吸収して、学内で大胆にとり入れ、全学結集して実行していく学風をつくっていく。私はもともと黒正巖先生の建学の精神はこのような姿勢にあったと考えています。最後に私は現在、大学は「大衆消費社会」の中にあること、したがって学生諸君の四年間の大学生活を快適な魅力あるものにしていく、そのなかで各自がはつきりした人生観をつかんでいく、そういう大学づくりを進めていくことが、とりわけ私学にとっては大事だと考えています。

61年11月



### ◇物故者慰霊祭



創立50周年記念事業の残された催しとして、在職中になくなられた学園功労者の方々の慰霊祭を執り行いました。

実施日 61年10月4日(土)  
場 所 50周年記念館7階

ご出席のご遺族の方がた

菅野常男様(故菅野和太郎先生長男) 菊田倫子様(故菊田太郎先生長女) 喜田富久子様(故喜田義雄先生奥様) 黒正明様(故黒正巖先生次男) 建林章子様(故建林隆喜先生奥様) 西池令子様(故西池成輝評議員長女) 濱田しとや様(故古西明子主任実妹) 藤田整様(故藤田敬三先生長男) 宗倉節子様(故

## 人事

### ◇理事長の選任

公 示  
6月24日開催の理事会において、左記の人事が承認されました。

記

1 鈴木亨理事長代行を昭和61年7月1日付で理事長に選任する。

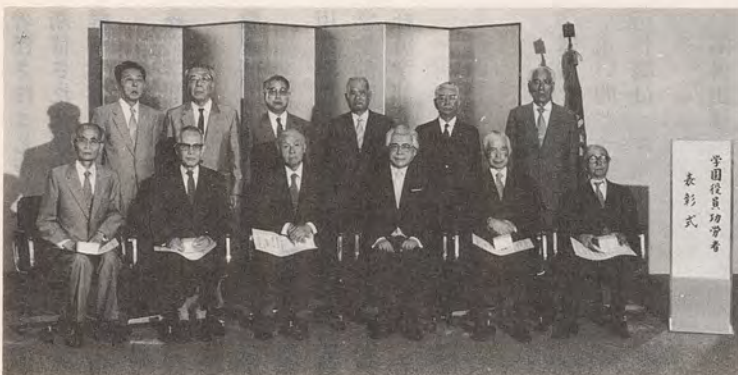
2 鈴木亨理事(現、第一号理事)を、学長の職を退いた日をもって改めて第三号理事として選任する。  
昭和61年6月25日  
学校法人 大阪経済大学

鈴木学長あいさつ  
来賓祝辞  
佐藤次彦大阪工業大学長  
香山博東淀川区長(市長代理)  
鏡開き  
色川幸太郎理事  
磯野斉同窓会長  
大和久士後援会長  
乾杯  
竹田鐵仙愛知学院大学長  
パーティ

◇学園役員功労者の表彰  
6月7日(土)、50周年記念館7階において、学園役員功労者の表彰式が行われ、左記の方がたに感謝状と記念品が贈られました。

記

浅沼 玄憲 (元理事)  
色川幸太郎 (理事)  
磯野 斉 (理事)  
梅田 武文 (元理事)  
川勝 伝 (評議員)  
北里 武三 (元理事)  
倉辻 平治 (元評議員)  
黒正 光 (評議員)  
里地 三平 (理事)  
佐治 敬三 (評議員)  
鈴木権平氏 (評議員)  
鈴木 正里 (元理事)



学園役員功労者表彰式

高室 一彦 (理事)  
田坂 茂忠 (理事)  
玉置 保 (元理事)  
廣田 實 (評議員)  
比企 重 (評議員)  
藤原光治郎 (元理事)  
松原 四郎 (評議員)  
巡 政民 (元理事)  
森下 泰 (評議員)  
渡辺 達好 (理事)



◆桑津昇氏(11)が理事に、西本集一氏(23)が評議員に選任

去る3月24日開催の評議員会並びに理事会で、次のとおり人事が決定されました。

- 記
- 1 評議員桑津昇氏を理事に選任する。
  - 2 西本集一氏を評議員に選任する。
- 就任月日は、いずれも昭和61年3月24日。任期は、現に在任する評議員又は理事と同一。昭和61年3月27日  
学校法人 大阪経済大学

◆学長就任の承認

学校法人大阪経済大学は、10月28日開催の理事会で、山本晴義教授の学長就任を承認した。  
任期は、昭和61年11月1日から3年。

◆新任

61年4月から、下記の方がたが

着任されました。今後のご活躍が期待されます。	経済学部助教授	国友順市
経済学部	講師	伊豫田隆俊
経営学部	講師	尾嶋史章
教養部	講師	尾嶋史章
用務職員	用務職員	畑下修巳
学生部嘱託	学生部嘱託	伊藤恩
経済学部	講師	品部久志
		(情報処理概論)
		61・6・1付
◆退職		61・3・31付
永い間どうもご苦労さまでした。	用務職員	片岡利彦(定年)

◆海外出張

渡辺 泉 教授	目的	調査研究
行先	イギリス 他	
期間	61・4・1～62・3・31	
小林 龍一 助教授	目的	調査研究
行先	イギリス 他	
期間	61・4・1～62・3・31	
泉 弘志 教授	目的	調査研究
行先	ジュネーブ・ニューヨーク	

期間 61・8・21～62・8・20  
その他短期出張者 19人(省略)

◆役職者一覧 (61・11・1現在)

学 長	山本晴義
理事長	鈴木 亨
経済学部長	松原和男
経営学部長	松尾竹彦
教養部長	八木田 恭輔
大学院委員長	上 島 武
教務部長	千葉勇夫
入試部長	土井乙平
学生部長	岡本昌夫
就職部長	香川尚道
図書館長	久保田 諄
体育館長	浜田幸策
広報部長	山本晴義
日本経済史研究所所長	鈴木 亨
産業経済研究所所長	岡本 正
事務局長	玉岡 浩

教学関係

中国・復旦大学との交流

◆復旦大学図書館へ図書を寄贈  
本学図書館では、先生がたから返却された個人研究費図書のうち図書館所蔵図書と重複する図書の一部(和書2、932冊、洋書693冊、計3、625冊)を、このたび中国・上海の復旦大学図書館へ寄贈することになりました。  
61年3月18日、本学を出荷、4月1日神戸出港の中華人民共和国船鎮真号により、4月3日上海港に到着、復旦大学関係者に引き取られました。

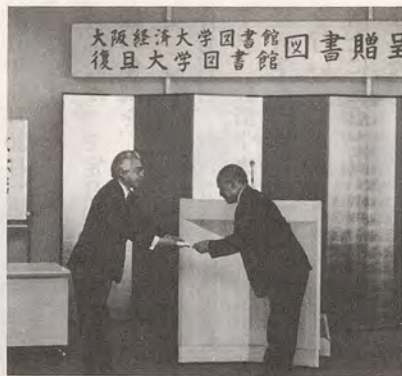
同大学は、中国で最も日本研究の盛んな大学として周知されており、北京大学と並び称されるエリート大学です。

また、58年には同大学の鄭勵志氏(当時同大学世界経済研究所副所長)が本学を訪れ、以来、中小企業経営研究所との間で文献交流が始まっています。

◆復旦大学学術交流代表団を招待  
61年5月27日(火)、本学では復

旦大学学術交流代表団を招待して、図書贈呈式と記念講演会および一連の招待行事を行いました。

今回の代表団は、鄭勵志氏(世界経済研究所長)を団長に、洪文達(世界経済学部長)および蘇東水(経済管理学部長)の3氏です。



なお、復旦大学では、創立81周年記念の文科図書館を新築、その開館式典に本学から久保田諄図書館長と石川菊図書館係長が招待されて訪中、奇しくも同じ5月27日に、寄贈図書目録の贈呈式が行われました。

代表団招待日程  
5月25日(日)

代表団、新幹線で京都着。それを出迎え、センチュリーホテルに案内、打合わせ。

5月26日(月)

京都大学経済研究所訪問。嵐山の故周恩来首相の記念碑見学。市中観光、大阪ガーデンパレスに案内、宿泊。



5月27日(火)

本学訪問、図書贈呈式(記念館同窓会ホール)、「中国の経済近代化と日本」と題して、鄭團長の流暢な日本語による記念講演会(4階会議室)、懇談会(同窓会ホール)で今後の学術交流についての意見交換。夜は梅田第一ビル「北京」で学長招待レセプション。

5月28日(水)

シャープ郡山(奈良)工場、天理工場の見学。夕刻帰宿の後、

酒井亮介氏(本学15回卒)が明朝見学予定の大阪市中央卸市場の仕組み等について説明。

講演 「中国の大学図書館が教育および研究遂行において果たす役割について」  
講師 姜 徳 安 先生  
通訳 崎田 洋一氏(中小研)

5月29日(木)  
早朝、大阪市中央卸市場のセリ状況を見学。市場長および関係業者代表と懇談。業界紙5社の共同インタビュー。午後はダイハツ工場(池田市)視察。

5月30日(金)  
広島へ向う代表団一行を見送り。これら接待には、プロジェクトチームで計画表を作成、チーム員がそれぞれ分担して当りました。

◆図書館第一副館長を招き講演会  
5月27日、復旦大学文科系新図書館落成記念式典にお招きを受け、同館第一副館長姜徳安(きよう・とくあん)先生から、「8月下旬に開催される第52回国際図書館連盟(IFLA)東京大会に参加するため貴国に参りますので、その帰路ぜひ貴学を訪問させていただきたい」旨のお話がありました。本学では早速受け入れのための折衝を始め、9月1日米阪、2日、本学訪問、3日帰国ということになりました。

◆定員増について

60年9月4日付で大学の校地の面積について、大学設置基準の一部を改正する省令が施行されました。今回の改正は校舎基準面積の6倍が必要とされていたのを、この2分の1の範囲内で校地が不足しているも教育に支障がないと認められる限度において、これを減

ずることができるようにしたものです。従来、本学では校地不足のために学部増や定員増さえ行えず、今回の改正に伴い、とりあえず定員増を行うこととなりました。

校舎・校地の調査、文部省への打診等が進められ、恒常的定員増(現行入学定員一部二部800名を1、000名に、申請期限61年6月30日)、臨時的定員増(入学定員をさらに100名増、一部2学部、申請期限61年9月30日)を申請することになりました。

したがって定員増に伴う教員組織の体制を、大学設置基準に基づき、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、教員養成課程の分野に7名、経済学専門科目分野に4名、経営学専門科目分野に2名の増員を行い、少人数教育等教育条件の向上に重点を置く施策が講じられました。

◇61年度「総合科目」を開講  
『澱江』98No.21に紹介しました。『澱江』No.21に紹介しました。とおり、一般教育科目に「総合科目」を設置、61年度から2年次生を対象として開講しました。

「人間と環境」の担当は、自然環境、思想、心身の健康および人間形成の視点からのアプローチを旨とし、自然分野から成瀬洋教授、人文・社会分野から山本晴義教授、保健体育の分野から岡本昌夫教授、教職課程からは近藤秀磨助教です。

「日本の近代化」の担当は、その文化論的アプローチを旨とし、人文・社会分野から永野仁、森川滋両教授、外国語分野からは中川操教授です。

◇成績台帳等のマイクロフィルム化  
教務部では、成績台帳(原簿)および卒業生台帳をマイクロフィルム化しています。原簿の紙面恒久保存は難しく、古いものについては紙質の悪さも加わって、すでに老朽も甚だしい状態です。また昭和56年度以降の分は電算化されていますが、FDおよびMT等の保存条件は現時点では未知数です。そこでまず55年度分までについてマイクロフィルム化することになりました。フィルムは16mm、A H V 100 F T のものを使用します。検索方法はイメージマーク方式で、コ

大阪大学理学博士を授与、38年に本学に教授として就任、生物学・科学史をご担当になりました。そのかたわら、教養部長として重責を果されました。  
第3回公開講座には、60年10月4日(金)「大気と水と緑」と題して、病身を押しして講師を務められました。これが先生の最後のご講演となりました。  
3月29日、京都府乙訓郡円明寺ヶ丘自治会館において、告別式がしめやかに営まれました。喪主は奥さまの喜代子さん。慎んでご冥福をお祈りいたします。



淡谷寿夫教授 逝去

故藤田敬三先生の偉業とお人柄をたたえ、各界代表者・同窓生・学生たち600名が参列、祭壇の白菊で飾られた遺影に向って黙禱を捧げ、ご冥福を祈りながら、お別れの献花を行いました。



本学教授淡谷寿夫先生は、61年3月27日(木)午後2時54分、直腸がんのため大阪警察病院で逝去されました。享年72歳。  
先生は大正2年4月20日、東京のお生まれ。昭和11年京都帝国大学農学部農林生物学科を卒業、のち農林生物学教室勤務、農林技官として農林省開拓研究所勤務を経て、32年に立命館大学経済学部講師として人類学をご担当、34年

ンピュータに接続して検索することもでき、リーダープリンタを使用して読み取ることもできます。

訃報

藤田敬三理事長 逝去される



学校法人大阪経済大学理事長・藤田敬三先生は大阪府済生会中津病院で入院加療中のところ、60年11月29日(金)午前3時25分肺炎のため逝去されました。享年91歳。  
先生は明治27年3月22日のお生まれで、ご出身は香川県三豊郡豊中町。大正10年京都帝国大学経済学部を卒業後、翌年文部省在外研究員として独・仏・英国に留学。大正13年に帰朝、同年彦根高等学校教授に就任、その後京都帝国大学講師、大阪商科大学教授、大阪市立大学商学部長、同経済研究所長を歴任、昭和32年には大阪市立大学から名誉教授の称号を受けられました。

その間、日本学術会議会員に選出され、多方面に活躍されました。先生のご専門は工業政策、中小企業問題で、中でも下請制工業のご研究は日本の草分けとして高い評価を得、代表的(編)著書として『世界産業発達史研究』『下請制工業』『日本産業構造と中小企業』があります。  
先生は昭和10年、本学の前身校である昭和高等商業学校が再建された時から本学にかかわられ、以後、32年には教授兼常務理事として、さらに35年から44年にかけて学長に就任され、幾多の問題に対処しつつ、学園を発展に導いてこられました。  
49年、大学の経営再建のため、理事長の重責を負われ、全身全霊その半生を本学の振興に捧げられました。  
11月30日、千里会館において告別式がしめやかに営まれました。喪主はご長男整氏。慎んでご冥福をお祈りいたします。  
●故藤田敬三先生大学葬●  
日 時 60年12月20日(金)  
午後1時30分〜3時  
場 所 千里会館(吹田市)  
理事長代行の鈴木亨学長が葬儀委員長、玉岡浩事務局長が司会をつとめてとり行いました。

大野群平評議員 逝去  
本学法人評議員 大野群平氏(本学20回卒)は、60年12月21日、心筋梗塞のため急逝されました。享年54歳。  
川野氏は大阪府出身。昭和29年本学を卒業。同年大阪日産自動車(株)に入社、40年大阪日産モーター(株)に転属、松原営業所長を経て、本社特販部長の要職にあり、斯界で活躍していました。



59年7月、本学法人評議員に就任、法人運営に対し、同窓生としての立場からご協力いただきました。また同窓会の常任理事としても56年から58年まで澱江の編集部長として務められました。  
葬儀は12月23日、豊中市北緑丘集会所において、仏式によりしめやかにとり行われました。喪主はご長男の豊彦氏。慎んでご冥福を祈ります。

61年度入試結果

◇特技(スポーツ)推薦  
60年11月8日に実施された標記推薦入学選考の志願・合格者状況は左記のとおりです。  
| 志願者・合格者状況

経済学部	98
経営学部	91
志願者数	40
合格者数	30

(志願者数は昨年比22%増となりました)

経済学部	24(0)	32(8)	56(8)
経営学部	24(0)	32(8)	56(8)
合計	24(0)	32(8)	56(8)
受検者数	24(0)	32(8)	56(8)

◇普通科・商業科推薦  
60年12月1日に実施された標記推薦入学選考の志願・合格者状況は下記のとおりです。  
(普通科)

経済	130	119	249
経営	130	119	249
合計	130	119	249
志願者数	130	119	249
受検者数	130	119	249
合格者数	130	119	249
入学手続者数	130	119	249

2 合格者の種目別内訳	
柔 道	卓 球 3
剣 道	バドミントン 2
陸上競技	サッカー 9
競技スキー	ラグビー 11
硬式野球	バスケット 9
準硬式野球	ボール 3
硬式庭球	バレーボール 3
軟式庭球	ハンドボール 5

合格者数 18 (0)  
 18 (0)  
 32 (8)  
 50 (8)  
 入学手続者数 18 (0)  
 32 (8)  
 50 (8)  
 ※以上( )は女子内数

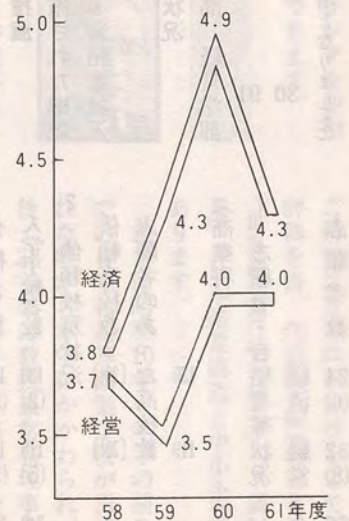
61年度の志願者合計は1万2361人で、前年度と比べ1、673人の減少(11.9%)でした。第一部別でみると、第一部は1、661人減(13.1%)、第二部は12人の減(0.8%)となっています。また学部別では経済学部と経営学部がほぼ同数となりました。

志願者・受験者・合格者・入学手続者と倍率

( )女子内数

学部	志願者	受験者	合格者	入学手続者	倍率
経済学部	5,467 (40)	5,466 (60)	1,255 (19)	437 (5)	4.3
経営学部	700 (2)	700 (2)	204 (1)	94 (1)	3.2
合計	6,167 (42)	6,166 (62)	1,459 (20)	531 (6)	3.3

倍率の推移(第一部)



62年度 推薦入学選考日程

◆特技(スポーツ)推薦  
 出願期間 61年10月20日  
 10月24日  
 選考日 61年11月7日  
 61年11月15日  
 合格発表 61年11月15日  
 募集学部・人員  
 経済学部第一部 35名  
 経営学部第一部 35名  
 推薦依頼校 全国の全日制高等学校  
 ◆普通科・商業科対象推薦

出願期間 61年11月17日  
 11月21日  
 選考日 61年11月30日  
 61年12月6日  
 合格発表 61年12月6日  
 (普通科)  
 募集学部・人員  
 経済学部第一部 120名  
 経営学部第一部 120名  
 推薦依頼校 大学の指定する高等学校  
 (商業科)  
 募集学部・人員  
 経済学部第一部 20名  
 経営学部第一部 20名  
 推薦依頼校 全国の商業学校と商業科のある高校  
 選考料 25,000円

◆推薦入学説明会の開催

入試部では、普通科高校対象の推薦入学説明会を、推薦依頼校20校を招き、次のとおり実施しました。

7月2日(水) 福山市 福山ニューキャッスルホテル  
 鳥根・広島・愛媛各県の高校対象

7月3日(木) 岡山市 岡山ターミナルホテル  
 鳥取・岡山・香川・徳島各県の高校対象

7月8日(火) 大阪市 東洋ホテル  
 三重・滋賀・京都・大阪・奈良・和歌山各府県の高専対象

7月14日(月) 金沢市 金沢都ホテル  
 富山・石川・福井各県の高専対象

◆62年度入学試験概要

1 募集学部・学科・人員  
 経済学部 第一部 経済学科 400名

経営学部 第一部 経営学科 400名

経済学部 第二部 経済学科 100名

経営学部 第二部 経営学科 100名

2 試験日

経済学部(第一部・第二部)  
 62年2月9日(月)  
 経営学部(第一部・第二部)  
 62年2月10日(火)

3 試験地

大阪(本学他) 金沢 名古屋  
 姫路 広島 高松 福岡  
 試験科目・配点・時間

教科科目	科目	配点	時間(分)
国語	英語I・II・II B・II C 国語I・II	150	70
外国語	政治・経済 日本史 世界史	150	70
選択科目(二科目)	簿記会計I・II 地理	150	70

5 合格発表日

昭和62年2月19日(木)  
 出願手続等

6 出願期間 昭和62年1月9日  
 (金)~1月23日(金)

(2)検定料 25,000円  
 ※入学案内(要項・願書等)について  
 代金は700円(郵送請求の場合送料共1,000円)。

施設

◆摂津グラウンド新運動部室の竣工  
 61年5月16日(金)、体育会関係クラブの新部室新築工事が完了しました。2月5日に旧運動部室を解体し、第2体育館に仮住まいしていた硬式野球部、サッカー部、ラグビー部の3クラブが5月21日、待望のシャワー設備付の新品室に入居、活動を開始しました。

◆教員個人研究用および図書館、中小研にコンピュータを設置  
 6月27日(月)、日立パーソナルワークステーション2020システム27セットが搬入されました。教員個人研究用の25セットは、主として各個人研究室に設置され、パーソナルワークステーションとして単独に、また図書館、中小企業経営研究所設置の各セットは、50周年記念館の大型コンピュータとオンラインで利用される予定です。これによって、本学の情報処理教育研究設備および業務用電算設備は、さらに充実されることになりました。



〔建物概要〕  
 鉄筋コンクリート2階建  
 延床面積 392㎡

◇私立大学等経常費補助金  
 昭和59年度  
 59年11月22日付で申請していました標記補助金について、60年8月30日付で確定通知がありました。  
 [確定額] 394,867,000円  
 (海外研修派遣補助金  
 999,000円を含む)  
 前年度比13.8%減  
 昭和60年度  
 60年11月18日付で申請、61年8月29日付に確定通知がありました。  
 [確定額] 359,056,000円  
 (海外研修派遣補助金

国庫助成

◇就職講座  
 (第1回)  
 就職部では、昨年と引続き、長尾見氏(8)を講師に迎え、面接の心構えとして、話し方や聞き方などの指導があり、有意義な講座でした。  
 開催日 61年5月23日(金)  
 (第2回)  
 開催日 61年6月4日(水)  
 テーマ 企業が求める人材  
 講師 松下精工(株)  
 人事部参与 大西一氏

渡辺大介著

『市民社会の社会学』 同文館出版  
 61年3月 297ページ  
 (大阪経済大学研究叢書第14冊)  
 定価 3,000円



新刊紹介

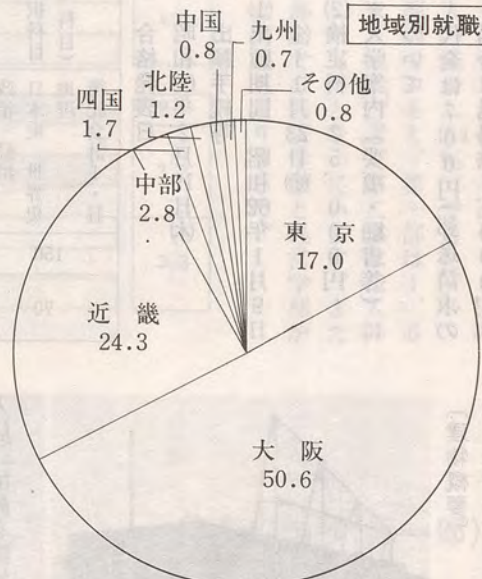
1,461,000円を含む  
 前年度比9.1%減  
 山本晴義編  
 『現代日本の宗教』—宗教イデオロギーへの批判的視角— 新泉社  
 85年10月 261ページ  
 定価 1,800円  
 成瀬 洋・貝塚爽平・太田陽子著  
 『日本の平野と海岸』へ日本の自然4 岩波書店 60年11月  
 226ページ  
 定価 3,400円

6年ほど前だったと思っているのですが、高橋竹山師の津軽三味線を聞きに行ったことがあります。聞くうちに、三味線に対する自分のイメージを打ち砕かれ、そして感動しました。会計学であらうか、いや目指してみたいと思っただけです。以来、いつそ会計学にこだわることになりました。そして、今回、目指すところに向かって一歩踏み出してみました。  
 1冊書き終えてすっきりしたかといいますが、実のところそうではありませんでした。6年も想い続けた女性に愛を告白して、振られてしまったときの気持ちです。もちろん、情熱も足りなかったのでしょうか、自分の生きる世界が小さく、抱擁力もなかったことを痛感しました。しかし、泣きはしません。つらくとも歌って気を取り直しています。今度は多くの方がたから教えていただいで抱擁力を身につけ、なんとか口説き落とし、かの水準まで不倫の道行をしたいと思っています。

竹本 洋編  
 『経済学の古典的世界』 昭和堂  
 61年3月 247ページ  
 定価 2,200円  
 瀬戸賢一著  
 『レトリックの宇宙』 海鳴社  
 61年4月 96ページ  
 定価 500円  
 重森 暁編  
 『日本公企業の再生』 法律文化社  
 61年4月 289ページ  
 定価 2,500円  
 森川滋・伊藤喜栄・小杉毅他共訳  
 『イギリスの産業立地と地域政策』 パーロー・レポート  
 ミネルヴァ書房 61年5月  
 361ページ  
 定価 2,600円  
 重森 暁・広田司朗・斉藤 博編  
 『財政学講義』 有斐閣  
 61年5月 248ページ(鶴田広巳第5章執筆)  
 定価 1,900円  
 西山 豊著  
 『卵はなぜ卵形か』 日本評論社  
 61年6月 162ページ  
 定価 1,400円

就職関係

◇60年度就職状況  
 「量的確保より質的確保」という厳しい選考のなかで、60年度の特徴としては、上場会社への内定件数が昨年にまして多かつたことが挙げられます。上場会社への決定者は197名(前年度128名、54%増)、内定件数(内定辞退者を含む)にいたっては396件という好結果となりました。このような上場会社等自分の志望する会社へ就職できた学生は、総じて入社試験対策を早く行い、積極的・計画的に企業研究・OB訪問等を行ったようです。なお求職者は、本人の都合で就職しなかった者を除き、すべて決定しました。  
 60年度就職状況最終集計は別掲のとおりです。



就職部長 香川 尚道 先生  
 (講演会)  
 本学理事 渡辺 達好 氏(3)  
 (第2回)  
 開催日 61年6月19日(木)  
 テーマ 優良企業の見分け方  
 講師 大阪府経営合理化協会  
 専務理事 小川 泰造 氏

◇産業セミナーと懇親会  
 就職部では、近畿2府4県の優良企業の人事担当者にお集まりいただき、標記セミナーと懇談会を次のとおり開催しました。  
 開催日 61年5月12日(月)  
 場所 新阪急ホテル  
 講演 「企業と人」  
 ユニチカ(株)  
 取締役社長 平田豊氏  
 出席者 214名





◇第3回公開講座アンケート結果  
「大阪 昨日から明日へ」をメ  
インテーマに、60年9月13日から

公開講座

日本中小企業学会 (西部)	61・7・26
日本商業学会 (関西)	61・1・18
日本OR学会 (関西)	61・2・1
第三世界研究会	61・5・17
国際金融研究会	61・7・5
現代世界経済研究会	61・7・28

(保険管理専門部会)

日本中小企業学会 (西部)	61・1・11
日本商業学会 (関西)	9・13

日本OR学会 (関西)	61・1・18
第三世界研究会	61・2・1

国際金融研究会	61・7・5
現代世界経済研究会	61・7・28

(3) 職業 ( )は女性内数	1 (0)	51 (2)	41 (4)	39 (3)	39 (4)	29 (1)
%の除数200	0.5	25.5	20.5	19.5	19.5	14.5
重複回答あり						

(2) 年齢	※( )は女性内数
20代	29 (1)
30代	39 (4)
40代	39 (3)
50代	41 (4)
60代	51 (2)
不明	1 (0)

(1) アンケート数	配付数回収数回収率
アンケート①	233 200 86%
アンケート②	731 605 83%
※アンケート①は全員配付で(2) (6)の項目、アンケート②は毎週配付で	
(7)の項目	
アンケート結果	
第5日 116 (5)	第6日 109 (8)
第3日 131 (12)	第4日 104 (11)
第1日 175 (21)	第2日 132 (14)
延人員 767 (71)人	※( )は女性内数
当初定員 150人	申込者数 330人
(出席者数)	
開講状況は次のとおりです。	
〔定員および申込者数〕	
〔出席者数〕	
10月18日にかけて第3回公開講座を行いました。なお、第1日目の講師森杉夫先生は病氣入院のため急拠、永野仁先生が予定のテーマで代講されました。	

(6) 受講の理由	※( )は女性内数
テーマに関心があった	142 (17)
大学の公開講座だから	53 (5)
%の除数は200	71
重複回答あり	

(5) 知った方法	※( )は女性内数
新聞記事	70 (6)
新聞広告	34 (4)
ちらし	10 (1)
阪急ポスター	28 (2)
地下鉄ポスター	25 (5)
市バスポスター	4 (1)
告示板ポスター	4 (0)
人に誘われて	5 (0)
その他・不明	26 (5)
合計	211 (24)
%の除数は200	110.5
重複回答あり	

(4) 居住地・勤務地	居住地	勤務地
大阪市内	56 (28)	124 (62)
大阪府下	91 (45.5)	35 (17.5)
京都府	5 (2.5)	1 (0.5)
兵庫県	33 (16.5)	13 (6.5)
奈良県	11 (5.5)	1 (0.5)
他不明	4 (2.0)	26 (13)
学生	13 (3)	7 (3.5)
主婦	7 (7)	17 (8.5)
公務員	17 (1)	114 (57)
会社員	114 (13)	114 (57)
自営業	16 (0)	16 (8.0)

影響は？

高はどうか、各国はどう見ているか、人びとの生活に与える

そのほか、人びとの生活に与える

高はどうか、各国はどう見ているか、人びとの生活に与える

織維にはじまり、カラーテレビ・自動車・農産物へとひろがってきた経済摩擦は、モノの面からさらに金融・証券・通信・流通などサービスやハイテク部門をも巻き込んだ、全面的なものに発展している。

世界経済の相互依存と国際化が進むなかで、対立か協調か、摩擦の激化か共存の発展か、急激な円高のなか、いま、日本経済は重大な岐路にたたされている。

そもそも経済摩擦とは何か、円高はどうか、各国はどう見ているか、人びとの生活に与える影響は？

(7) 講座の感想	重複回答あり
非常に役に立った	311 (51)
まあまあよかった	222 (37)
難しかった	34 (6)
もっと専門的に	36 (6)
その他・不明	21 (3)
合計	624 (103)
%の除数は605	104.5
重複回答あり	

本学で開催された  
学術講演会・学会

◇学内刊行物  
高城 寛著  
『土佐(高知県)和紙生産業者の現状と問題点』 61年3月 75ページ(大阪経済大学中小企業経営研究所調査報告 第6冊)  
経済史文献解題 昭和60年版  
日本経済史研究所編 清文堂出版 60年12月 502ページ  
田岡嘉寿彦名誉教授追悼論文集 (大阪経大論集 172号)  
61年7月  
故田岡先生一周忌のご命日に発行し、ご霊前に捧げました。

◇学術講演・学術交流会  
60年10月16日(水)、中国社会科学院哲学研究所訪日団(5名)による、本学への表敬訪問があり、学術講演と関西地区日中哲学者学術交流が行われました。  
講演 「中国の社会改革と精神

「日米貿易の構造と摩擦」  
本山美彦(京大助教授)  
「円ドル問題と金融摩擦」  
中尾茂夫(本学講師)  
「経済摩擦とレーガノミクス」

◇シンポ「日米経済摩擦を考える」  
60年11月26日(火)、大阪経大大会主催による経大生のためのパネルディスカッションがD16教室で行われました。  
松村文武教授の司会、パネリストは

文明の建設  
講師 邢責思(けい・ふんし) 所長  
副研究員 藤 穎(とう・えい)  
出席者 約250名

学術交流会「日中両国の哲学界の現状」  
出席者 30名



◇学術講演会  
61年7月17日、大阪経大大会と経済統計学会(関西支部)主催による学術講演会が、50周年記念館7階会議室において開催されました。

中西市郎(大市大教授)  
教室を埋める満場の学生(約400名)も活発な討論に参加しました。予定時間をオーバーするほどで、各パネリストからの学生に対する貴重なまともな最後に、盛大な拍手で幕を閉じました。

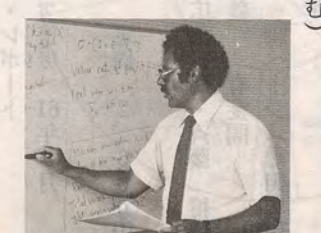
なお、シンポに寄せて、図書館では「日米経済摩擦に関する所蔵本リスト」を作成し、関係図書の特設コーナーも設けました。



◇その他の学会  
関西中小企業研究会  
講師 エドワード N. ウォルフ ニューヨーク大学経済学教授  
学術経済学教授  
通訳 ウラ フリスク氏  
司会 泉 弘志 本学教授  
出席者 34名(学外19名を含む)

アメリカ経営史研究会  
60・10・19

日本リスクマネジメント学会  
(中小企業専門部会)  
60・12・21



事態の諸側面から、その深層と真相にせまり、解決の方向を探ってみたい。

メインテーマ  
いま 日米経済摩擦を考える  
日時 昭和61年9月5日(金)  
10月17日(金)  
午後6時30分～8時30分  
場所 大阪府立文化情報センター  
スケジュール

9・5(金) 経済摩擦のABC  
(アメリカン・ネットワークと日本)  
松村 文武

9・12(金) 円とドルのたたかい  
(多国籍企業と貿易・金融)  
中尾 茂夫

9・19(金) 産業と技術の日米比較学  
(コンピュータと情報産業を中心に)  
青水 司

9・26(金) 日本の経営を占う  
(労務管理を中心として)  
鈴木 滋

10・3(金) 南北問題と経済摩擦  
(発展途上国の望むもの)  
京都大学 本山 美彦  
教授

10・17(金) 日米農産物交渉と両国農業の将来  
里上 讓衛

で役立て、休眠蔵書 交流の呼び水に(日経夕刊)復旦大学へ図書を寄贈

箕面市海外派遣事業研修生に玉田哲也君(3年)(サンケイ)

気をはく映画サークル―大経大の新作クランクアップ(読売)

日米鉄道の民営化比較(読売) 上田慧教授の留学報告

大経大の優勝決まる(サンケイ) 淀都五大学戦

朝日学術奨励賞受賞(朝日) 鶴田広巳教授らグループ

日米摩擦テーマに公開講座(朝日) 大阪経済大学公開講座「いま日米経済摩擦を考える」(毎日)

延長17回で大経大勝つ(朝日) 関六秋季リーグ

その他の行事

講演と映画「宇宙との対話」  
とき 60年10月25日(金)  
ところ D45教室  
講演 久保田諄先生(館長)  
「ハレー彗星に寄せて」  
ビデオ 「宇宙からの帰還」

マスコミ関係

◇マスコミ関係同窓生と懇談



◇本学広報部では、マスコミ関係同窓生との交流が従来から懸案となっておりましたが、このたびやっと実現の運びとなり、61年1月30日(木)、レストランパレスにおいて開きました。出席者は下記の7名。大学側からは鈴木学長以下理事2名と広報部が出席しました。懇談会は比較的なごやかな雰囲気の中で始まりましたが、マスコミ側から見た本学のイメージは決して良好とはいえず、本学の現状打開について積極的な建言や、種々の提案が出されました。

出席者の方がた(略敬称)

- 武安 一明 (24) 電通大阪支社 第4営業局副理事
- 沢村 大司 (24) テレビ大阪営業局長兼営業推進部長
- 中尾 俊之 (29) 日本経済新聞大阪本社第2部次長
- 進藤 英輔 (24) 日本経済広告社第2営業局次長
- 小崎 正豊 (21) 株広研取締役 営業本部長
- 岩島慎之助 (26) 読売テレビ放送業務部長
- 森川 義一 (25) 日刊工業新聞 業務局長

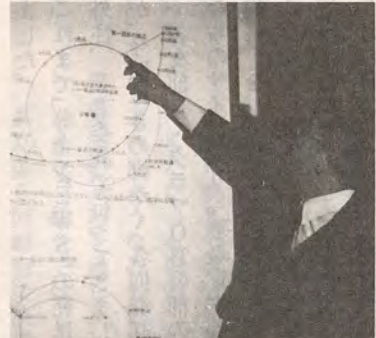
◇61年新聞紙上での本学記事 (抜粋)

- 50歳の大経大に記念館(読売)
- 渋谷さんのこと(読売夕刊)
- 京大・川那部教授の故渋谷寿夫先生に対する思い出記
- 珠算・府代表(読売) 40回国民珠算競技大会府代表に選ばれる川勝和巳君(2年生)
- 限りある「名水」守れ(サンケイ) 舞台は町議会へ(朝日)
- 条例作り直接請求(読売) おいしい水守って(日経) 島本の水を守る会・代表上島武教授

原作・監修 立花 隆

主 催 図書館・科学研究会

昨年まで会場に使用していた教授閲覧室が、書庫から溢れ出た資料に半分占領されていますので、今年は館外で行いました。折しも76年ぶりでハレー彗星がやってくる。しかも館長は天文学の久保田先生。もう一つの試みとしては、館長が顧問をしておられる科学研究会の学生諸君に小冊子を編集して貰って配布しました。当日、学生約70名、教職員10数名が集まり、まずまずの状態でした。先生は、スライドやOHPを使って平明に、興味深く解説し、1時間おわれわれを宇宙に浮遊させて下さいました。上映したビデオフィルムは、レンタル店入荷早々のものでした。



◇講演会「キャンパスの精神衛生を考える」

60年11月11日(月)、D45教室において聴講者120余名が集まり、カウンセラー葉賀弘先生が「キャンパスの精神衛生を考える」と題して講演会が開かれました。

先生ご自身のカウンセリング体験をもとに、西野証治先生の協力で得た学生諸君の気持、精神状態、つぶさな調査結果をもあわせて、今の一般大学生の精神状態の分析、解説をされました。



◇パネルディスカッション (学生相談室)

テーマ Free Talk in KEIDA I ホンネでトーク  
実施日 61年6月26日(木)  
場所 記念館31教室  
司 会 山田裕康先生



◇「みちしるべ」第1号発行  
大学が新入生を迎えるに先立ち、合格通知を受け取った新入生に、入学式を迎えるまでの期間、大学として有効な働きかけをしようと

◇国際化・情報化(毎日)  
商都大阪に大学の知識を還元(サンケイ) 記念館完成学長談  
日中のかけ橋に(読売)  
大経大↓上海の復旦大 中国



試み、発行したのがこの「みちしるべ」です。

61年度の入学予定者を対象として、大阪経済大学の雰囲気を感じやすい読みもので紹介する。こころし、教員の随想風のものを中心、先輩OB、現役の学生たちからの呼びかけ文で構成しました。新入生諸君が「みちしるべ」を読んで、少しでも本学に親しみをもち、これからの大学生活に役立ててくれることを切に祈っています。OBの方がたには、ご多忙のところご寄稿いただき深謝申しあげます。みちしるべ編集委員会



#### ◆きめ細かな募金キャンペーン

60年3月から始まった募金活動は、第3回中間報告によると、総額は1億6,000万で、目標額3億の53%、同窓生の人数から見れば総額の3%という微々たる状況。そこで大学募金事務局では、同窓会の提案により、未だ募金の機会を得ていない同窓生に対して、一大キャンペーンを行うことにな

りました。

これまで「募金NEWS」の発送は外注、業者委託で行ってきましたが、今回はきめ細かく、各回発起人・各支部長・クラブOB幹部の人たちのサイン入り「募金推進のお願い」を、それぞれ払い込み書類に添えて、お送りすることになったわけですが。

5月10日の記念館竣工祝賀会にご出席の同窓生にサインを頂き、ご協力願いました。

準備作業は5月中旬から、3人のアルバイトで松本副会長が指揮をとり、名簿によるクラブ別、ゼミ別、支部別の仕分け作成に1ヵ月所要、6月松本副会長の再就職後は募金事務局に移り、広報部前田があとを引受けることになりました。宛名シート封筒2万6,000枚が搬入されたのはその頃(60年8月現在の住所確認分)、9月以降の住所訂正分、新住所確認分あわせて約2,000通の訂正作業に半月かかり、まず、ご寄付の方がた1,400通を抜き取り、「記念館竣工パンフレット」を発送。

- ① 未寄付者分約2万5,000通を30クラブごとに抽出

- ② ゼミ(6理事)ごとに抽出
- ③ 32支部ごとに抽出
- ④ 残りを卒業回数1回〜51回に仕分けました。

その傍ら、百数十枚の「募金推進のお願い」マスター紙作り、2万5,000枚のコピーには田所総務部長や、同窓会事務局の広瀬さんが機械の機嫌とりをしながら大奮闘。それぞれの封筒にはクラブ名、ゼミ名、支部名を赤ゴム印で捺し、サイン入り「募金推進のお願い」を添えて封入作業。7月16日17日は追込みで新たに延11人のバイトを投入、小松真佐江さん(14)にも無理をお願いして手伝って頂きました。17日午後4時半、東淀川本局向け搬出車がスタンバイした時には、心身ともくたくたの状態でした。延60日余をかけてもこの作業は完遂できず、時間切れで残りはハンドボール部学生へ大島恒夫氏(17指揮)のバイトにバトンタッチして、やっと24日に全部発送が完了したとのことでした。

サインにご協力下さった方がた、封入作業にご尽力下さいました方には厚く御礼申し上げます。

7・8月中旬に800件を越える募金があった由、苦勞の仕甲斐も

あったものと、やはりきめ細かい手づくりは、暖かい心が通い合うものであることをしみじみ確信いたしました。

募金事務局



#### ◆A・B館に4研究所

50周年記念館建築に伴い、一時仮住まいを余儀なくされていた4研究所が、それぞれの書庫・事務室の内装を整え、このたび左記に移転しました。

- 〔日本経済史研究所〕  
事務室・書庫とも9月3日にA館1階へ。
- 産業経済研究所  
中小企業経営研究所  
経営研究所
- B館1階(旧図書館あと)、書庫には約15万冊収容可能な電動書架を設備、3月31日に引越しました。

# ゼミ三短信

## 稲原ゼミOB会

### 50周年記念館で臨時総会

大淀の水は春ゆく—— 学歌に歌われる如く、陽光まぶしい4月20日(日)、交通論稲原ゼミOB会の臨時総会を開催。ところは旧B館跡に偉容を誇る50周年記念館最上階(7階)の同窓会ホール。

記念館竣工以来、OB使用の第1号。なごの春を眼下に見ながら、母校50星霜の歩みを旧友と語る。

午前11時、総会開会。恒例となった稲原教授のフォローゼミ、今回は海難史上、省くことのできないあのタイタニック号に関する秘話(?)。こんな話が学生時代にあればもう少し出席率が良かったかも知れないのになあ……と隣席の友と笑い合う。

会費の値下げ、総会開催時期等について協議のあと、会食しながら出席者の近況報告などを行い、午後2時過ぎ、再会を期して散会。今回もまた、鹿児島、北陸など遠来のOBを含め24人が参加。稲原教授を囲んで紅顔の、そして、若い時代の思い出話を花を咲かせた。

OB会の連絡は

〒533 大阪市東淀川区瑞光1-6-21

桑田利雄氏へ

本庄和郎(88)記

## 北里教授ご夫妻出席の下 第6回総会盛りあがる

まだ残暑きびしいなか、阪急、長岡天神駅近くの「あら八」という割烹で9月7日(日)、第6回北里会総会が開催されました。

北里教授ご夫妻が本年もお元気にご出席され、泉谷教授、松本教授、そして同窓会からは比企事務局長もご出席下さり、総会に、懇親会にと盛りあがりしました。教授のご近況としてのお話も楽しく拝聴しましたが、その中で「最近、ただ「有難い」の一語に尽きる。朝から晩まで自分の世話をやいてくれる家内にもただ「有難い」の気持ちで一杯である。」というような心あたたまるお言葉を頂き、感慨深い一時を過ごしました。

また、総会では、会計より、特に、発言があり第5回総会で決議されました大学50周年

## 先生の近況



わが近況を語る

平 実

小生のゼミ出身諸君およびその他の卒業生諸君、皆さん御元氣ですか、御伺い申し上げます。完全定年になり、諸兄たちの後輩諸君とも接触する機会がなくなりました。だが大阪経大大学の賛助会員として、相変わらず『大阪経大論集』に論文を執筆させていただきます。

経済学の危機が叫ばれていますが、小生も永年の学究生活の総括を行う意味で、かなり大胆な見解を発表しています。最近の小生見解に御関心のある諸兄たちに読んでいただければ、この上なく幸いです。

なお、それ以外に文明批評的エッセイも盛んに書いていますし、青年時代から興味のある俳句や短歌の創作にも励んでいます。すでに句集一冊、歌集一冊を上梓しました。文筆活動は小生の最も好

記念館事業の一環として10万円を寄付した旨の報告があり、出席者全員拍手をもって了承されました。

今回も、運悪く、出席出来なかった方々も、次回こそ是非出席され、北里教授を初めとして、比企事務局長や泉谷・松本両教授と大学の近況や種々のお話をされ、楽しい一時を過ぎてみませんか。

役員一同心よりお待ち申し上げております。いずれお目にかかれる日を楽しみに……。

会長 高野 守(2)記

「お願い」  
60年度より運営費をお願い致しましたところ、たくさんの方々からご送金を賜りましたが、まだまだ足りませんので、まだの方は誠に恐縮でございますがよろしくご協力の程お願い致します。

なお、運営費は郵便振替にてお願い致します。

運営費 3,000円(60,61,62年度分)

加入者名 北里会

ご不審、ご不明、住所変更等ございましたら左記までご連絡下さい。

越川 昇



竹林庄太郎ゼミナール

「WANT」より

「NEEDS」

竹林庄太郎先生が、昭和60年度で、大阪経済大学をご退任されることを契機に、今まで庄太郎ゼミを経て卒業された各先輩方の名簿がないことを不自然に感じ、我々26期生が名簿作りにかかったのは、60年の春でした。その当時、大学の同窓会でゼミ住所録をお借りし、不明者については、手紙・電話で確認しつつ、また、名簿作成費用については、諸先輩のご援助を受け、1冊の名簿が完成したときには26期生全員で喜んだものでした。当時の、我々には、果たして完成に至るかという一抹の不安を感じながらの名簿作りでありましたが、それを契機に今回の経樟会発足に至るとは思いもよらぬことでした。10月10日(金)(祭)、天王寺で第1回経樟会発起人会と第1回総会が開かれ、また、それが成功したことは、すべてこの会を運営された人たちの努力のためであると感じます。この経樟会の発起にあたりゼミ生、OBの方々の多大なるご援助やご助言を得たことで、いままではゼミ生間で希薄であった上下のつながりをより密接なものとし、また、我々社会人1年生としては、諸先輩のご経験や貴重な生きたご意見を聞くことの出来る機会を持てたことはとても良い経験となりました。

敬友会(藤田ゼミOB会) 短信

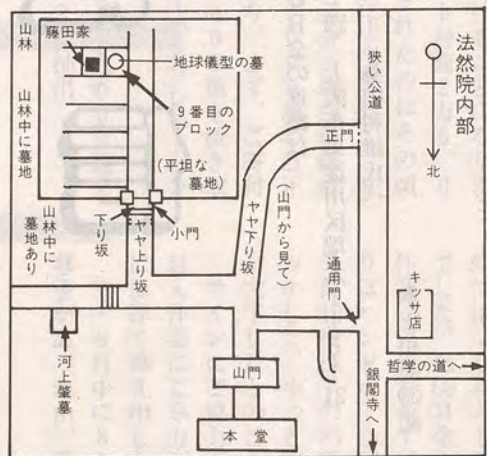
会員の皆様ご無沙汰しております。その後お元気に活躍のことと思います。

さて、恩師藤田敬三先生が永遠の旅路にたかれて早一年が経過しようとしています。一周忌には『大阪経大論集』の特別号として追悼論文集が刊行されますので、ご希望の方は左記宛ご連絡下さい。

なお、藤田先生のお墓は京都鹿ヶ谷の「法然院」内にあります。左記付近図を参照の上、ご希望の方は墓参下さい。おつて、敬友会の会合を企画したいと思っておりますので、その節はよろしく願います。

敬友会事務局

大阪経済大学庶務課 波根伸俊(32)



先生の近況

短信



浅沼 玄恵  
上新庄の一隅、昭和10年以來の茅屋に50年1日といった風に、人との会話も稀に、ヤレヤレという心境で暮らしております。皆様お元気に。



『経樟会』誕生

竹林 庄太郎  
同窓会員諸君も社会の各方面で活躍されて慶賀に堪えませぬ。私も、何とか、毎日原稿用紙と取り組んでおります。私のゼミ出身者の同窓会が発足しました。名簿も発刊されました。『経樟会』と名称決定されました。第1回集会を本年10月、大阪で開催する予定です。同窓諸兄のご健康とご健闘を祈り上げます。

『経樟会』連絡先  
浜田 信也



先生の近況

経大の意欲に期待



高橋 彦博  
富田林の金剛団地から上新庄まで、大阪市内を通り抜ける形で、私が経大B館の研究室に通っていたのは、千里で万国博覧会が開かれていた頃のことでした。私は現在、東京の東から西へ都内を通り抜ける形で、法政大学の多摩キャンパスに通っています。

経大50周年記念館が情報教育の場として確立されたご様子、ご同慶のいたりで。情報化社会における経大の意欲的な構えが、充分にうかがえる感じがいたします。





なく進行されて無事発起人会を閉会することが出来ました。続いて、出席者全員による記念撮影が行わ



### 50周年記念館に 油絵寄贈

竹林 祐吉  
昨年後半長期入院をして学生諸君に大変迷惑をかけ、相済まなかつたと思っております。現在は大分元気になり平常通り講義はしていますが、大病の余波のためか、もう一つスツキリした気持ちになれず弱っています。50周年記念館に、私の油絵（50号と15号）を寄贈しましたので、ご来学の折には、是非見てやって下さい。ではお元気でご精励下さい。

### 大いなる反語？ 「歌が上手」

松本 剛  
一、卒業して10年くらいたつてから、ひよつこり手紙をくれるゼミ生があり、うれしく思います。「これから本格的に勉強しますので、よろしく」という文面。いい花が咲きますように。  
二、年賀状に子供さんの写真入りというのもふえています。3年、4年とその写真を保存していますと、子供さんの大きくなるのが実感され、あわせて、父親たる人のあれこれを想像するわけ。  
三、ゼミの旅行は昨年、今年と続けて北陸です。学生の希望で偶然そうになりました。昨

れ、また、その後、催された懇親会は、杯を交わしながらの自己紹介をしている間に、いつのまにか話の花があらこちらに咲き、座談的な雰囲気中和やかに行われました。初対面のひとが多く、初めはなかなか話を交わすことができなかったが、諸先輩に仕事のこと、また個人的なこと等々話をしていたら非常に参考になりました。まさしく「経樟会」の目的を果たしている会でした。盛大な宴会も終わりに近づき、同じゼミ生同志としての交流をわかちあったのち、学歌と逍遙歌を斉唱し、萬歳三唱して、来年の再会を楽しみに閉会しました。

この「経樟会」発起人会と第1回総会には、同窓会本部事務局の全面的な協力とご指導を賜りながら、第26期生幹事と3期生・8期生・9期生のOBを中心に諸先輩との一丸となった協力体制のもとに開催されたものであり、案内状送付・会場準備・規約作成・会の進行においても総て竹林庄太郎ゼミナール卒業生ならではの結束を感じました。第1回目ということもあり、参加者は僅か32名であったものの、経樟会の目的である「竹林庄太郎ゼミナール卒業生の相互理解と親睦を深め、更に各々の分野で活躍されている事業等のより一層の発展のため、情報交換としての役割を果たす」ことに沿った今後の会の発展を念願し、来年の総会が有意義で更に盛大なものになることを願う次第です。

加藤哲夫(52)

年、旅館でカラオケに挑戦したら、伴奏と声全然合わず、途中でやめました。ところがゼミ紹介のときに、「歌が上手」と紹介されたそう(大いなる反語です)、新ゼミ生の一人は「それで、このゼミに来ました」といつて私を困らせました。

### 『現代世界経済をとらえる』 出版予定

松村 文武  
卒業生の皆さんお元気ですか。本年のゼミは、4年生20名、3年生I部20名、II部1名、合計41名という布陣です。85年9月のG5の協調介入以来の円高激震、日米欧経済摩擦の継続、日本の対外直接投資国家への本格的展開などを反映してゼミは定員上限が続いています(早く定員が16名程度になるように努力しています)。小生は昨年研究をまとめたこともあり、相当疲れが出ましたが徐々に回復しつつあります。今年は今年末に『現代世界経済をとらえる』(東洋経済)という一般向きの書物を編著で出版する予定です。  
50周年記念館が完成し、学生の出席率がよくなりました。経大がやっと終電車にのれたという所でしょうか。  
世の中、自民党の304圧勝ということ、これがOBの皆さんや国民に重苦しくのしかからなければと祈りつつ筆をおきます。

### 教養ゼミのテーマ 『アンナ・カレーニナ』

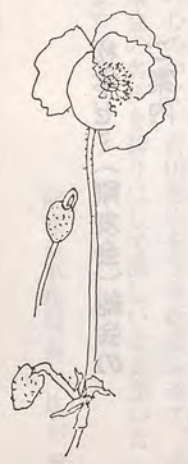
永野 仁  
昭和60年度から教養ゼミ(2回生対象)がはじまったので、専門ゼミはしばらく休ませていただくことにしました。  
教養ゼミのテーマは『アンナ・カレーニナ』を読むです。初年度は1名、今年度は3名と格好がついてきました。当時の音楽を聴き、絵画を見、ビデオも活用して楽しくやっています。

### 海外で活躍する 卒業生

中川 操  
卒業生の皆さんお元気ですか。今年の夏休みは西宮市の文化使節団团长として、カナダ、アメリカへ行ってきました。  
卒業生の方から結婚通知、子供が生まれた、外国への転勤、住所変更等々のお便りをいただいていたかしく嬉しく拝見しています。遠い外国からのお便り(珍しい絵ハガキ)は殊の外嬉しく、卒業生が外国でも活躍していることは、私のゼミの成果かなあとうぬぼれていきます。  
来年は3カ月位外国の大学へ研修に出かける予定です。お元気でまたお便り下さい。

### ゼミ旅行で 初の海外体験

藤本 寿良  
卒業生の皆さんお元気でご活躍のことと思います。私も経大にきてはや7年目となりました。ゼミもI部で6期目、II部で5期目を迎え、3ヶヶを越えて2000人の大台に近づくこととしています。私自身はあいかわらず経大教員の中では年齢的にまだ下の方で、学生諸君とワイワイやっています。61年度はII部のゼミ旅行で初の海外旅行(サイパン)を体験し、また62年度は1年間、カナダとアメリカに留学することになっています。そのため62年度はゼミが1年間途切れることになりましたが、帰国後はまた新しい気持ちで頑張りたいと思っています。  
最後に私事で恐縮ですが、2期生の時に結婚祝いをしてもらった私も、59年と61年に2人の子供が誕生し、にぎやかな毎日です。また61年4月に自宅も移りましたのでお知らせします。皆さんの便りを待っています。



## 脱皮

岩井 茂

先日、細川隆元・春日一幸両氏の『時事放談』を聞いていた。春日氏は「政党も脱皮をせねばいかん。しかし脱皮にもふたいろあって、蛇などは脱皮後も姿が変わらないが、蝶などは蛹から全然ちがった形になる云々」といつていた。

そこで思うのだが、人間も時々脱皮をする必要がある。しかし爬虫類や昆虫類のように身の皮を脱ぐわけにはいかない。人間が脱皮するということは、本質的には心の持ち方、考え方を転換することであろう。私自身の体験からいえば、敗戦後に、今まで勝つとばかり信じさせられていた戦争に敗けたので、自分の考え方を180度転換して新生の道をたどった。また昨年経大を引退したとき、今まで教壇上で教える立場にいたのを、変じて仏の教を学ぶ生徒の立場になり、目下修行中です。

## 重厚な雰囲気の 50周年記念館

井上 清

井上ゼミ出身の皆さん、元気に頑張っておられることと推察します。小生も本年に入つて、ようやく足かけ4年に及び病氣、精神的落ち込みから回復し、生活に迫力がでてきま

## 喜楽会に参加して

昨年3月2日に喜田先生が逝去されてから、早や1年余を経過いたしました。

喜田先生のゼミOB生で結成しておられる「喜楽会」が、61年7月6日(日)午後4時30分から大阪、梅田、新阪急ホテルで開催されるところのご通知をいただきましたので、先生のご遺徳をしのび参加させていただきました。

当日は、まず、同ホテルの「雪の間」に、菊の花で飾った喜田先生のお写真を正面に、先生のご令室様をお招きして、厳粛に追悼会が開催されました。松村英二会長、岡本光正事務局長より、それぞれ追悼の意を表され、ご令室様よりお言葉をいただき、参加者全員が、それぞれの気持でご生前の先生に語りかけると同じような気持で先生のお写真と話し合われたことと思います。私の心の中に先生のお言葉が残っているのは、先生の研究室が4階にあったため晩年には、いつも3階あたりで一服されているのを拝見して「先生、研究室を2階にかえてもらわれては……」と申しあげたら、先生は「比企さん、この階段を昇り降りすることが、われわれには一番よい健康保持の方法だから、あなたも忘れないように……」といわれたことです。自分の健康は自分で管理することの重要性を、そして、それによって研究に没頭できるエネルギーが蓄積されることの重要性を教えられたことで

した。4年ゼミ生と九州3泊4日の旅行や研修合宿をやり、2年生の教養ゼミをも担当して、定年まであと1年半をふんばりたいと決意しています。

なお、多くの卒業生の援助の下で、かねて建設中の50周年記念館が立派に出来上がりました。大学らしい重厚な雰囲気が漂っています。一度来学してみてください。また小生の研究室へも訪ねてきて下さい。お待ちしております。

## 自由な形で 楽しい倉春会に

倉辻 平治

一、ゼミナール近況。今年の4月、別府→熊本→天草へと九州横断のゼミ旅行に出かけ、楽しい思い出となりました。

二、倉春会は、一昨年、昨年と開きませんでしたので、早く再開してほしいとの希望や、問い合わせの連絡が何人かのゼミ卒生からきました。今後は、もっと自由な形で、気のあったもの同志が、たとえ1時間半程でもよい、喫茶店でコーヒーとケーキで楽しく顔を合わせような、倉春会の在り方も考えてみたいと思つていきます。



。「人間はある面では弱いものだから、自分で自分を律しえない。したがって、そうしなければならぬように、自分に自分で義務づけること」の大切さを具体的に教えられたことです。先生のご遺影がほほえみながら「比企君、わかったか……」といわれているようで、改めて心からお礼を申しあげた次第です。一応、追悼会を終り、全員で写真室に移動



## 松本ゼミ(剛友会)総会の ご案内

松本ゼミ卒業生の皆さん、お元気にお過ごしでしょうか。

早いもので、昭和58年1月15日に松本ゼミ同窓生の設立総会を開催してから4年近くたち、そして本年は、松本ゼミ20回目の卒業生が誕生し、また、立派な同窓会ホールも完成しました。

そこで、4年振りに松本先生を囲み、楽しいひとときを過ごしたいと思い、左記の通り計画しましたので、今からお忘れのないよう予定表にご記入の上、是非、ご出席下さい。

―記―

日時 昭和62年1月15日(成人の日)  
午後1時から4時  
場所 大阪経済大学 記念館7階  
同窓会ホール  
会費 5000円

(改めて年内に、出欠のお伺いを致します。)

剛友会会長 植村 祐三

「ハイ、チーズ」と記念撮影。

5時30分から「花の間」に移り、懇親パーティーに入りました。先生のご生前の思い出話、あるいは、自分個人の現況や仕事の話など、おもしろい話の輪ができて、いつ果てるともない楽しい時を過ごしました。

今回の「喜楽会」に参加させていただいて、ただ一つ私を感じたことを、最後に、申しあげ、当日のご報告とお礼にかえさせていただきますと思います。

喜田先生がご健祥でご活躍のときの「喜楽会」は、おそらく経大のゼミOB会の中で、出席者の最多を誇りとしていた会だと思えますし、また、私もそれを信じていました。今回の追悼会を兼ねたパーティーに参加させていただき「喜楽会」の会員の皆様の脆弱さに驚かされました。喜田先生は、私をはじめ皆様の心の中に、今でも生きておられるはずであると信じます。

「喜楽会」の皆様。松村英二会長、岡本光正事務局長を中心に、心の中の喜田先生とともに、大いに語り、大いに遊び、結束しようではありませんか。

「あの世」とやらの喜田先生も、それを望んでおられると思います。もう一度、皆様方の心の中に、喜田先生を生きかえらせて、喜楽会の名声を誇りにして欲しいと祈念いたします。

同窓会事務局長 比企重

本学教授渋谷寿夫先生は、昨年9月から身体の不調を訴えられ、11月に直腸腫瘍の手術のため入院された。一時は快方に向われたかにみえたが、同月下旬から重態に陥り、御家族の厚い看護の甲斐もなく、ついに意識を回復することなく本年3月27日永眠された。

先生は昭和38年本学に専任教授として赴任されて以来、21年にわたって一般教育科目の生物学、科学史を担当され、昭和59年3月定年後も特任教授として、自然科学概論、生物学の講義を持たれた。平生お丈夫の方ではなかったけれども、まだまだ元気に研究・教育に活動が続けられる最中のこととして、まことに痛惜にたえず、慎んで御冥福をお祈り申し上げる次第である。

先生は昭和11年京大農学部農業生物学科を卒業されたが、その後も同学部昆虫学研究室や理学部動物学教室で生態学の研究を続けられ、戦前すでに動物生態学関係の訳書を数点出版されていた。戦後は日本の生態学の新しい息吹きの中で、先生のそれまでの学問的蓄積が開花し、とくに理論生態学の分野で新面目を開かれた。昭和28年7月東大農学部で民科地団研・生物両部会合同のシンポジウム「進化」が開催されたとき、先生は「ハチを例にした生物の生活の進化」と題して講演された。

実は私が最初に先生にお目にかかったのはこのときで、日本におけるダーウイン主義生態学の代表的な担い手としての先生のお名前が私の頭に刻みつけられた。実験観察にもとづく生態学プロパーの領域での先生の研究活動は、この前後数年間がもっとも実り多き時代であったかと思う。

経大に來られてからの先生は、研究条件や社会状況の変化に応じて、それまでの動物生態学から人間生活やその環境の問題に研究域をひろげられ、生態学者の立場から公害問題や自然破壊に対してしばしばきびしく重要な提言をなされた。これらは『自然と人間——社会のなかの生態学』（1978）としてまとめられている。一方これと平行して、先生は生物教育問題にも意を注がれ、京都理科サークルのメンバーとして、初等中等教育における生物教育のありかたについて科教協の機関紙『理科教室』に数多くの論文を寄せられた。また自ら科教協全国大会の実行委員長をつとめられたこともあった。

このような実践的分野への先生の関わりはまた、国土研を通じてのいくつかの自然環境保全のための住民運動への積極的参加となつて表れた。先生晩年の著作となつた『人間生存の危機——地球史の中で考える』（1998

4、林 志岐と共編）はこの面における先生の情熱の一端をかいまみることが出来る。入院直前（昭和60年10月4日）に病をおして本学公開講座で講義された「大気と水と緑と——産業と環境問題とのあいだ」は、環境問題に対する先生のさいごの発言となつた。

文筆面でのきびしさとは裏腹に、先生の人は人間味にあふれ、学内では教職員にはいつも温顔をもつて接し、ときに求められればよき相談相手として適切な助言を与えられた。晩年本学図書館報『としよかん』に毎号写真入りで連載された「四季の花」は、ごく短い記事ながら先生のナチュラリストとしての側面を如実に伝える味わいのある文章として思い出深い。

このように自然科学から社会科学にわたる深い学識と思索のもと、自然と人間の広い領域を探索してやまなかつた先生は、細分化のすすんだ今日の学界にあつて、スケールの大きい異色の存在であつた。しかも科学を大衆のもとへとという立場を実践的に貫かれたことは、私の敬服してやまないところである。

なお未亡人渋谷喜代子様は、京都府乙訓郡大山崎町円明寺殿山1-25に御在住である。

61・9・2

# 通信

## 自動車部

われわれ自動車部は、今年創部22年に当たり、現在部員は、4回生9人、3回生7人、2回生4人、1回生7人、計27人です。

主に、ダートトライアル・ラリーに重点を置いて、全関西学生の中で成績向上をめざし、車輛整備や練習に励んでいます。

今後の抱負は、全関西学生戦での成績向上をめざし、JAF戦にも出場し、大経大自動車部の名を幅広く、世間に知らしめるよう努力して行くつもりです。

中でしたが、全員休まずに練習を続けました。

その甲斐あつて、まず大阪学生選手権では総合優勝を果たし、目標の関西学生選手権では総合第2位、リレー部門では同大を破り、見事優勝しました。その勢いで、後の全日本学生選手権では総合第5位、K-1・2・1万円で谷端・富山ペアが優勝して全日本学生チャンピオンとなりました。また、全日本選手権ではK-4が3位入賞、K-1・500では決勝に5人が出場、4人が2位以下それぞれに入賞。その後の国民体育大会にも4人が出場するなど、当初目標の関西学生の総合優勝は逃したものの、総じて予想外の好成績を残すことが出来うれしく思っています。

## アメリカン・フットボール部

当部は昭和43年に近畿学生リーグとして発足。53年には念願の関西学生リーグに昇格しましたが、選手層の薄さが響いて54年度入替戦で神戸大に敗れ、近畿学生リーグに降格し現在に至っています。

## バレーボール部

59年度のリーグ戦では優勝したのですが、入替戦で立命館大に敗れ一部復帰は達成できませんでした。今年も、一部復帰をめざして部員一同、練習に励んでいます。

現在、部員は4回生が引退し、3回生3人、2回生2人、1回生4人と僅か9人ですが、チーム全体がよくまとまり、他のクラブにない明るさがあり、生々と練習に励んでいます。

秋季リーグ戦も9月21日から始まり真最中。戦績は1勝1敗。がんばっていきましょう。

## 卓球部

わが体育会卓球部は、昭和10年創部以来、幾多の名選手を出し、常に関西学生リーグ戦に一部校として活躍し、また全日本大学選手権も戦後30年間、全出場権を得て常にベスト16位内に入賞という、栄光を勝ちとつてきています。現在、顧問の香川尚道先生をはじめ、松山義友先輩(9)、亀山泰宏先輩(30)

小林茂仁先輩(4)のご指導を受けて、部員16人と小人数ではありますが、過去の栄光を汚さぬよう練習に励んでおります。

## 硬式庭球部

われわれ体育会硬式庭球部は、3回生2人、2回生3人、1回生6人、計11人の新メンバーで活動しております。選手層の薄いのが悩みの種ですが、それだけ部員一人ひとりの責任の大きさを自覚し、互いに叱咤激励しながら、悩みを乗り越えようと努めております。

今年の戦績は、春季リーグ戦に3部リーグ優勝、2部昇格を遂げました。また、大阪府学生シングルス1位、2位を独占、全日本学生選手権ダブルス出場と、輝かしい成績を収めました。

# キャンパスだより

## カヌー部

わが体育会カヌー部は、昨年度4回生が引退した後、僅か5人ですが、11月から筋力トレーニングを開始、2月上旬からは芦屋浜で乗艇練習を始めました。白化粧の六甲山を背に、雪が舞っている寒



### 少林寺拳法部

わが少林寺拳法部は、部員は少数ですが、活気にあふれた練習をやっております。少林寺拳法の特徴としての拳禅一如・力愛不二・守主攻従・不殺活人・剛柔一体・組手主体を会得し、己に克ち、心と体を整えて、技術を楽しみながら自他ともに心身を鍛えようと心がけております。

### 柔道部

わが柔道部の部員は、現在、4年生3人、3年生6人、2年生3人、1年生8人、計20人で、一部校としては最少人数のクラブですが、諸先生がた・諸先輩がたから暖かいご指導を受け、伝統に負けないよう部員一同、猛練習に励んでおります。

小人数の中で技の向上をめざしていくため、他大学との合同練習や練習試合を重ねています。今年には尾田守君、深井潔君が選手団に選ばれて韓国遠征に行きました(8/6の毎日新聞に掲載)。関西体重別個人戦では思うような成績は残せませんでした、人との交

流を数多く経験し、心身の鍛練・修養を心がけ、一人ひとりが人間のたくましさや身につけるよう励みたいと思っております。

### 準硬式野球部

日中友好親善野球大会に出場

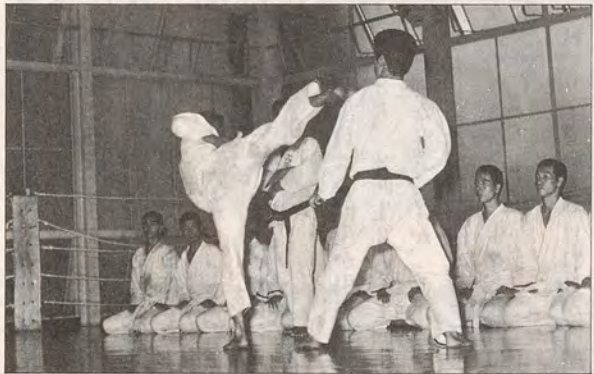
9月8日(月)～13日(土)にかけて、中国から上海棒球隊が来日し、神戸・大阪・滋賀の3球場において、日中友好親善野球が行われました。

わが体育会準硬式野球部からは近畿六大学選抜チームに、香山・原・小林・菅・金子の5選手が選ばれ、9月10日(水)、大阪住之江球場での対戦に出場、4-2で上海棒球隊に勝ち、面目をほどこしました。

上海棒球隊の選手は社会人や、学生の混成チームで、体格はごく立派なのにびっくりしました。しかし体格では負けても、技術面では負けないぞと気合を入れ、試合に臨みました。試合終了後は、昼食をともにして友好を深めることが出来、よい思い出にも、素晴らしい経験にもなったと思っております。

### 空手道部

わが空手道部は、関西学生選手権大会で56年7位、57年4位、60年4位、西日本学生選手権大会では56・57年ともに3位、59年4位、全日本学生選手権大会では38年の準優勝をはじめ、56年4位、57・58年はベスト8。また最近、個人戦で前主将松本一朗が全日本学生選手権大会でベスト8。現主将下上秀樹が関西学生選手権大会で第4位と好成績を収めています。現在、部員は21人で、技術面を



極めるとともに「礼に始まり礼に終わる」基本精神にのっとり、今後とも武道精神を失わないスポーツとして、伝統に恥じないよう全関・全日本制覇を目標に、日々練習に励んでおります。

### 淀都五大学

#### 総合定期戦

伝統ある淀都五大学総合定期戦も本年度23回を数え、期間は5月24日から6月7日まで約2週間、例年の2倍で、各大学のキャンパスにおいてより一層の熱戦が繰り広げられました。

今回もさらに連続優勝を目指し、体育会員が一丸となって戦いました結果、本学は11種目の優勝を納め、第9回大会以来、連続15回、通算21回の優勝を飾りました。なお今大会の総合成績は次のとおりです。

- 優勝 大阪経済大学 78点
- 2位 桃山学院大学 58点
- 3位 大阪工業大学 53点
- 4位 大阪産業大学 49点
- 5位 大阪電気通信大学 36点

## その他体育会活動状況

(優勝・準優勝を中心に)

- 〈剣道部〉
  - ・大阪学生剣道大会Aグループベスト8 61・9
  - ・個人女子・岩川(1)第3位 61・9
- 〈硬式野球部〉
  - ・関西六大学新人戦 第1位 61・5
- 〈準硬式野球部〉
  - ・近畿六大学春季リーグ戦 第1位 61・3・5
- 〈軟式庭球部〉
  - ・関西学生軟式庭球選手権大会 総合第3位 61・5
  - ・大阪学生軟式庭球優勝大会 第2位 61・6
  - ・大阪学生軟式庭球新進優勝大会 第2位 61・9
- 〈バレーボール部〉
  - ・関西学生バレー春季リーグ戦 第2位 61・4・6
- 〈陸上競技部〉
  - ・東京経済大学定期対校戦 総合優勝 61・7

### バドミントン部

・関西学生バドミントン秋季リーグ戦 第2位 61・9

### ゴルフ部

・関西学生男子春季リーグ戦 三部リーグ優勝 61・4  
・関西学生男子春季リーグ戦 二・三部入替戦二部復帰 61・6

### 競技スキー部

・春季季節外駅伝競技会 Aグループ 第2位 61・5

## 応援団

本年度わが応援団は30代目を数えるに至りました。これは、学内数あるクラブの中で有数の歴史と伝統を誇るものであると確信しております。

わが団は設団以来、仁義・礼節・愛・正義の精神を本分とし、日ごろの練習、春・夏季の合宿を通じて、一般学生の範となるよう、リーダーシップのとれる人間形成を目指しております。

また、関西六大学硬式野球リーグ戦や日本拳法部等、体育クラブ

の試合の応援に出かけ、応援する観衆を経大勝利のために一つにまとめ、選手たちを鼓舞するのも、ひとえに経大を愛するためであります。これからも応援団活動に精進し、経大発展のため、自己練習に励むつもりです。

## 写真部

芸術会写真部は総部員36人、現役員で37代を迎えました。年に3回の月例会や撮影会、春・夏合宿学祭など多くの行事を精力的にこなしています。11月下旬に行われる、わが部最大の行事である部展に向けて、目下、部員一同が日夜撮影活動にがんばっております。また、年1回OB例会を開き、先輩OB諸氏との親睦を深めます。

## グリーククラブ

わがグリーククラブは現在総員85人という経大一の大所帯で活動しています。

今年夏は夏のジョイントコンサートにおいて大成功を収めましたし、

また9月には大阪府合唱連盟主催のジョイントコンサートに出演するなど、意欲的な活動をしております。なお、12月9日(火)には、あのザ・シンフォニーホールにおいて第22回定期演奏会を開く予定です。部員一同、諸先輩がたの教えを引継ぎ、技術の向上、部員同志の融和を通して人間性の向上を目指し、今後ががんばっていきますのでよろしく願います。



### ギタークラブ

わがクラブは現在、4回生7人、3回生8人、2回生4人、1回生11人の計30人で活動しています。今年11月17日(月)、吹田市のメインシアター大ホールにおいて第20回定期演奏会を開く予定です。これに向けて、夏合宿は長野県白樺湖で1週間、先輩後輩お互いに励まし合って、厳しい練習をしてきました。これからもがんばっていいクラブにして行きますので、よろしく応援をお願いします。

第20代部長 3回生早島康二



### 吹奏楽総部

今年第18回定期演奏会、第8回ウインターコンサートと年2回の演奏会をはじめ、関西パトロン連盟主催のバンドフェスティバルに賛助出演するなど、演奏活動に励み、経大吹奏として精進しております。



### 簿記会計研究部

我々簿記会計研究部の部員数は、現在、4回生10人、3回生11人、2回生4人、1回生22人の計47人という学術会では最大の人数を誇っています。今年女の子が1人も入らなかつたのが役員者の悩みでした。1、2回生の学習予定として、2回生は6月中旬に学習発表、11月には部内討論会を控え、月・水・金の午後5時30分から学習会を行っています。また、1回生は6月の検定にむけて日曜日を除く、月・金の午後5時30分から学習会(検定後は月・水・金の午後5時30分)を行っています。3回生は5月、10月の関西学生会計研究会(関プロ)に向け発表を考えております。それ以外に、2校(6月)、3校(6月、11月)討論会、全日、西日本大会を控えております。

勉強ばかりではなく、一方ではリクリエーション、夏期合宿などは、先輩、後輩または後輩同志(特に1回生)の間で深い交流を目的にした行事を計画しております。

池田光洋記

### その他芸術会

#### '86年間行事

- ・マンドリン(厚生年金大ホール) 4/23(水)
- ・美術研究部春季部展(大阪画廊) 5/12(月)~17(土)
- ・第22回ミュージックフェスティバル(森之宮青少年会館) 6/6(土)
- ・第11回こくつぶしの夕べ(尼崎ピッコロシアター) 6/18(水)・19(木)
- ・美術研究部1・2回生展(大阪画廊) 6/23(月)~28(土)
- ・軽音楽部定演(メインシアター中ホール) 7/4(土)
- ・茶道部合同茶会(西宮えびす神社) 7/6(日)
- ・マンドリン定演(ピロティホール) 10/17(金)
- ・美術研究部秋季部展(大阪画廊) 11/10(月)
- ・邦楽部定演(郵便貯金会館) 11/22(土)
- ・茶道部秋季単独茶会(南禅寺南陽院) 11/23(日)
- ・写真部部展(ビルセンギヤラリー) 11/27(金)~12/2(火)
- ・経大上落語会(テイジンホール) 11/28(金)
- ・演劇研究部秋季定演(梅田ゴスベルホール) 12/12(金)
- ・写真部卒展(心齋橋ギャラリー) 12/15(月)~21(日)

# 同期生クラブOB会

### 昭寿会



昭寿会(昭和高商第4回卒の同期生会)が一昨年の有馬に続いて昭和60年10月18日(金)、岡山の同期の一人、内田辰四君の肝いりで、美作、湯郷グランドホテルで開催。卒業次年度の担任教授、岡山市にお住いの武田長太郎先生(83歳)、広島市にお住いの河野実先生(78歳)の両先生をお迎えしての昭寿会。

両恩師ともかくしゃくとして、いずれが師か弟か、はた目には見

### 第4期生

分けのつきかねる程の若々しき。昔を今に思い出懐かしい感激の再会でした。

当日、午後1時、全員は一たん岡山駅前集合して、湯郷への途中、岡山大学正門前に建てられた、母校の昭和高商及び岡山大学を創設された故黒正巖先生の胸像にもうで、一同過ぎし日をしのび、記念写真に納まる。

再び、マイクロバスに同乗、菊ヶ峠を越えて、新装なれる湯郷グランドホテルで昭寿会を開く。

両先生を交えて和気満々の中、

### 45年振りの同期生会に感激

#### 高商6期生の集い

昭和61年2月22日(土)、楓林閣アペノ店で45年目の再会。

この年月の重さを、今、更にかみしめる。およそ半世紀に及ぶ歳月が、長くもあり、短くも感じられるのは、その間が激動の年月のせいでもあるだろう。極言するならば、生きるのがやつとの時代といっても過言ではなかつたからであ

歌あり、踊りあり、夢うつつの中を佐々木君の音頭で幕を閉じた。

翌日、再び岡山に戻り、駅前で昼食をとる。席上小幡孝三君の提案により、昭和61年度は舞子ウィラでの再会と決まり、名残りを惜しみつつ散会した。

当日の出席者は左記の通り。

(写真右より)

- 山辺富己生 佐々木 聡
  - 今戸 国広 平野多賀司
  - 中村 源 武田 先生
  - 森元 庸晃 河野 先生
  - 三木 薫 内田 辰四
  - 小幡 孝三 宮平 盛助
  - 桜井 秀雄 小山 輝夫
  - 原 秀夫 以上15名
- 宮平盛助記

る。その中をくぐり抜けて来た、いかなれば、人生の勇士達である。はるかなる記憶は、お互いを一瞬たじろがせたが、心の糸をほぐすには、時間はかからなかつた。数分の会話が、すぐに懐かしい青春像を追わせている。磯野同窓会長のご出席を得たことも、錦上花を添えてなごやかにした。会長の

笑顔が一同と溶け合って、会長ご自身もしばらくは青年に戻られたことだろう。集う者38名。元氣な顔を来年もと、互いに励まし、手をとり、再会を約束する。短時間ではあったが、それぞれが若い日に戻り、明日への活力を得て別れて行った。諸兄に共通していえることは、母校創生期の在校生だけに、だれもが燃えるような母校愛を抱いていることであった。

伊藤音七郎記



### 七生会の集い

昭和商7期生会

「エッ海上(岸本)君が」、「エッ伊藤(関谷)君が」。いかに「会うは別れの始め」と観念的にはわかっていても、両君が「あの世」とやらへ旅立ったと聞き、「オイ七生会を開けよ」との声が高まり、本年3月23日(日)、午後2時から、梅田のレストラン・パレスに恩師山村武雄先生、武田長太郎先生を、同窓会本部から磯野 斉会長を、また、大学を代表して渡辺達好理事(同窓会名誉会長)をお招きして開催いたしました。急ぎよの開催だけに世話役一同「何人位来てくれるかな」との心配はあ

りました。しかし、17名も参集してくれ、ホッといたしました。定刻に比企君の司会で、まず、今はなき恩師、学友に心から黙とうを捧げました。そして、今日現在生きていることを誰へともなく感謝いたしました。ご来賓の両先生からご祝辞をいただき、続いて渡辺、磯野両先輩より、母校の現況、また、記念館建設の募金状況などについて詳細にわたるご報告をいただき、改めて心を新たに団結して、残る余生を母校の発展のために捧げることを認識しました。



さて、パーティーに入ると「昔話に花が咲き」、あちらに一群、こちらに一組と、自分の歩いてきた道の思い出話に尽きることがありませぬ。わずかながら、いまだ、現役もおり、既にほとんどが年金生活者ですが、ここまでくれば全員が昭和商の1学生にかえって大いににぎわっていました。その間を磯野会長差し入れのウイスキー水割を比企君がウェイターに早がわりして走り回っていました。宴たけなわ、突然武田先生から先生手彫のお盆が寄贈されました。世話人一同相談の結果、ご来賓にアマダで決めよう、ということに

なりアマダをひいていただいたら山村先生に当りましたが、山村先生から「おきもちだけいただいて、品物は七生会へ」のお言葉があり、七生会にいただくことになりました。ワイワイ、ガヤガヤも、とうとう閉会の時が来てしまい、楽しかった会を終りました。最後になりましたが、ご遠路岡山からご臨席いただいた武田先生、また、山村先生(京都大学名誉教授)に心からお礼を申しあげますとともに両先生のご健康を一同祈念いたしております。また、一つ悲しいお知らせを、この誌面を借りて、いたします。宮崎県串間市で活躍いたしておりました林 忠尚君も「あの世」とやらへ旅立ちました。ご冥福を祈りたいと思います。

来年は定例の七生会開催年になりますので、世話人一同で決定月日をお知らせいたします。全国の七生会の諸君、ぜひご参加下さい。また、奈良安民君から七生会へと1万円をいただきましたが、世話人相談の結果、彼の好意を七回卒奈良安民として記念館の募金として大学に寄付いたしましたのでご諒承をお願い申し上げます。

いつもながら、いろいろと七生会のため尽力してくれる比企、前田、丸石の3君にお礼を申しあげ、

### ぼたん会

今後とも元気で七生会を開催してくれるようお願いいたします。世話人代表日記

第8期生京阪神有志の会

長尾事務所までご連絡下さい。ご案内漏れの方にはご案内を差し上げます。今回の出席者

大橋秀男、梶村文弥、琴野 浩、沢田新太郎、柴田秀一、柴田真典、谷川徳五郎、長尾 晃

柴田真典記



毎年待ち望んでいるこの会も、昭和57年発足以来5回目の集いとなりました。この度は、皆さんが何かとお忙しく、僅かに8名の参加にとどまりましたが、例年の様に梶村君のお骨折りで、1月26日(日)、丹波篠山の「たかさご」で開催いたしました。今年も、また、立派な立杭焼を記念品に用意していただき、感謝でいっぱいでした。篠山は雪もなく、暖かく、私たちにうってつけの日でした。飲む程に、食う程に、談論風発、昭和16年に返って、本当に楽しいひと時でした。

京阪神在住の諸兄には、毎々、ご案内を差し上げておりますが、来年1月の会には、是非共、多数お元氣なお顔をお見せ下さい。お待ちしております。なお、会のことについてのお問合せは

海澄み、山澄み、水澄む秋晴の9月27日(土)、28日(日)、舞子の松間より遙かに見ゆる淡路島かよう千鳥のなく声は：と歌われた神戸舞子の絶景を見渡せる舞子ピラで本年度の9期生会を持ちました。

### 愛称九友会生まれ神戸会

この美しい松林に囲まれた庭園は、かつて神戸を愛された有栖川宮熾仁親王の別邸で(この宮さまは「宮サン宮サンお馬の前にチラチラするのはなんじゃいな：」のトコトヤレ節で有名)、明治以来の歴史的な邸跡。現在は神戸市の所有となっております。当日午後4時半集合で、東京、岐阜、名古屋、三重、そして、高松、広島、岡山、大阪から34名の方々が参加され、ご多忙中にもかかわらず磯野同窓会長も、是非、9期生の皆に会いたいとご出席を賜わり、和やかな雰囲気の中に全員で、6時、記念写真を撮り、まず、今年逝去された武川茂夫君、村瀬克房君、鈴間理一君そして戦病死された方々のみ盡に黙とうを捧げました。会は、まず、磯野会

同意で九友会と名付け、また、橋高一郎君を中心に、思い出の「九友会誌」出版も決定致しました。時間はやがて9時、今は亡き武川君をしのんで堀江君の音頭で全員元気よく三三七拍子、そして、黒正校長をしのび学園歌を斉唱して



一応閉会。引続いて、初めての人々とともに、久しぶりの再会の機を得た喜びに三三五五のグループが夜のふけるのを忘れて語りあかし、我々の生甲斐を感じる素晴らしい一夜をすごしました。明けて翌28日、我々を歓迎するような秋晴、大阪湾に横たわる淡路島、明石海峡、明石の町を一望に眺められる8階の食堂にてまだ尽きることのない懐かしい思い出の続きを、ビールと共に飲み語り、来年元気の再会を約して解散しました。今回新名簿も作成され新しく九友会の名称も生れました。今年都合で参加出来なかった方々も来年は是非元気な顔を見せて下さい。来年は岡山に決定し、富山義正君、赤沢七郎君、渋谷栄一君に幹事をお願いしました。次期幹事の方々、よろしく願います。世話役 南部 俊一

### きらめく個性の再発見

ひとみ会 第13期生会

61年8月30日、すさまじい残暑に耐えて、港町神戸ポートピアホテルの会場に参集して下さったひとみ会会員は、幹事の予定どおり30名。

遠隔の地からとか、卒業後初めてとか、10年振りとか、まことに感激的な出会いの風情に接し、夏の疲れもしばらく忘れてしまう有様でした。

近況と20・21年ごろの学生運動の思い出をテーマにして、全員ご発言願ったわけですが、お話の内容に、きらめく個性を再発見してはつと、卒後40年の道程に生き方の多様さを感じつつも、何とはなしに、全体として精神の調和がみなぎる、素晴らしい会合でした。後日、皆さんにもよい同期会だったと言って頂けました。これは、40年前暗黒の国家権力に盲いにされ、戦争のなかで頑張ることを余儀なくされ、戦後は唐突にもたらされた学問の自由、学生として身震いし、何もかもひっくり返ってしまった青春を体験してきた、ワレラ同世代だからでしょうか。

還暦前後の女性集団として、この2、3年毎年還暦の祝い？を述べあっているわけですが、元氣旺盛なひとみ会諸姉、とてもその年

### 金色夜叉の即興寸劇で

抱腹絶倒

第12-15期合同窓会

梅雨も終りに近い7月5日(土)、戦中・戦後の激動期にともに学生生活を送った第12-15期の合同窓会が、新大阪のガーデンパレスで開催されました。パレス

の広いロビーのあちこちで、2年ぶりの再会に握手したり、中には卒業以来、40年ぶりの同期の友人に思わず奇声を発して馳せ寄る姿も見かけられました。

### 募金、一人3万円の応募を可決

16・18期合同会

60年10月6日、16・18回卒の同期会を山中荘で開催しました。16回は専門学校卒、18回は大学3年編入で大学卒1回生となります。ようやく定年を迎え、頭髪も相当地に後退、白髪が増えてきました。出席者24人、大学から松原和男先生のご出席を得て、学園の近況をくわしくお聞きしました。宴もたけなわで発議があり、50周年記念募金に積極的に参加すべく、一人3万円の応募を満場一致で可決しました。また、5年に1回の同期会を、期間を短縮して3

年にしてはという意見、毎年やれという意見等々続出、ようやく子離れして、ゆとりの年代となったせい、お酒の勢いもあって大変な盛会でした。そういえば、われわれの年代は成長期を疎食に甘んじ、戦争・動員に体力を酷使し、また真面目そのものの年代です。近年、櫛の歯が欠けるように物故の報を聞く。せいぜい期間を短縮して、懐旧談に花を咲かせたいものです。松本 義和

### 第2回27期会総会開催さる

倉辻教授の人生論の講話

27期生の皆様には、日頃、ビジネス最前線でご活躍のこととお喜び申し上げます。さて、昭和60年11月16日(土)午後6時より東洋ホテルにて、母校より倉辻先生、同窓会本部より比企事務局長をお迎えして、第2回第27期会総会が盛大に開催されました。

第27期会は、発足以来2回目というところで、参加者は23名と前回(51名)に比べて大幅に少なかつたことは、世話人としていささか寂しさを覚えました。

会は、まず、小西代表幹事の開会の挨拶で始まり、続いてゲストとしてお迎えしている比企事務局長の母校の近況報告、そして、倉



出席者42人、素面の間にと記念撮影、堅苦しい経過報告や挨拶もなく、ユニークな松川圭一・中山隆両氏(5)の司会、乾杯でパーテイ

が始まり、嬉々とした声がかきこばいに、往年の美少年？美少女も、今や頭には白髪を頂き、ベルトの穴を心配する還暦あとさきの立派なヤング老年となり、今更ながら歳月の早さを感じさせられました。バイキング料理も大方なくなつたところで恒例のお遊び。各自100円玉一個を持ってジャンケンの勝抜き合戦、「ヤア！儲かった」と思うも束の間、その代償は酒宴の余興を演じる破目に。貫一お宮の「今夜のこの月を……」の名場面、演じる艶治なる美女、岡田麗子さん(14)と、ひょうひょうとして真剣なる美男、岡崎匡博氏(5)コンビの寸劇に、全員抱腹絶倒。息のあつたりあなたと呼べば……山のかだまの美声デユエットにも年輪を感じ、「今年のトラはお賽銭が少かつたから必ず負ける」と広田神社宮司氏の厳かなるご宣言に、「イヤ！絶対V2や！」とタイガース「六甲おろし」で応酬。次第に大合唱となつて……、やがて懐かしくも楽しい夜が更けていきました。隔年実施を毎年ガーデンパレスでとの名残り尽きない声を背にしながら、散会となりました。幹事 小松真佐江(14)

辻先生のマックス・ウェーバーとメナイド・ケインズのユーモラスな裏話の講話があり、時間がたつ



第27期会総会  
大阪経済大学同窓会

につれて和気あいあいとして話題が大きくふくらんでいたようでした。

そして、会が大いに盛り上がったところで、応援団出身の角本喜八郎君の指揮で追遙歌を声高らかに歌いあげ、名残を惜しみつつ、また会う日を約束して夜更けの街へ……。

なお、当日、会の名称を27期会とする旨を全員一致で決定致しました事をご報告申し上げます。

代表幹事 小西幸雄  
幹事 岩崎正弘、神代憲治  
名取信也、柴田吾八  
車野修三  
会計 坂元 裕

### いつにない盛会—— 論集の発行と松本杯コンペの発会でわく

クラブOB会

毎年恒例のOB会会長小山由彦(29)を有馬温泉で、1月11日(土)12日(日)に行いました。のんびり温泉につかつてのOB会という訳にはいきませんが、それなりに楽しい時を過ごしたと思っていま

本年度25周年を迎え、その記念論集の発行という一大事業を控えているためと、いま一つは、今年から顧問の松本先生のお名前をかりた「松本杯」ゴルフコンペの発会式をかねていたためと思われま

研究部員お互いが連絡をとりあい、年々新しいメンバーを加え、いつまでも、年2回のOB会が開

### 富久屋ホテルにて——懐旧の喜び

23期生会

催できるようにしたいと思っております。  
吉岡 哲史(36)

昨年引き続き、今年も2月11日(祭)に大阪市南区の富久屋ホテル(23回、玉岡良夫氏経営)で恒例のように開かれました。

最後に全員で写真をとり、経大同窓会と23期生の発展と健康を祈って萬歳三唱を……、久し振りに友情をあたためて散会しました。

酒井弘光記



クラブOB会

### 有朋自远方一来

剣道部OB会

大阪経大(旧昭和商)剣道部OB会が60年10月27日(日)、神戸のニューポートホテルで開催された。紀伊(7)、梶村(8)、両氏のお世話。今度で5回目。しかも、今回ほど様々な人生模様が印象深く語られ楽しかったことはない。

かけつける。村田、北条両君と親交。百野操(12)、入学時3段、19年4段、陸軍特別操縦見習士官(特攻予備軍)、ソ連抑留後23年末復員、20歳で死ぬ筈であった自分、前向きに何でもさせてもらう。息子たちも幸せな結婚をした。西垣内一郎(12)、神戸市立中学校長。校長のタイプじゃないと百野がヤジ

クラブOB会

### 50周年記念館にて 第23回OB会総会開催

ワンダーフォーゲル部OB会

昭和61年7月13日(日)午前11時より、我々が学んだあの旧校舎、旧設備とは目を新たにしような、機能的な新設備の充実も目覚ましい、母校記念館7階同窓会ホールにおいて第23回OB総会を開催しました。

午後5時過ぎ、OB会旗の前で記念撮影をし、エールを組み、学歌、追遙歌を歌い、次回総会での再会を約束して散会となりました。



山本芳樹(8)

阿部英臣(6)、自社の後楽園の広告料が半年で2億円以上であった。吉松利量(6)、七段教師。夜戦の肉弾戦の切り合いで命が助かった話。紀伊達男(7)、昭和15年当時は京都熊野神社前の懐かしい合宿風景写真を持参。一昨年出席された渡辺民雄氏(5)が8月に喉頭癌のため亡くなられた由、合掌。梶村文弥(8)、兵庫県立高等学校長を退職後、篠山で各種団体の役員。本日の会合のお土産に丹波の焼物を準備。村田吉司(11)、事務用品のスーパーを手広く経営、新案特許の筆ペンを全員に寄贈。これは本当に良く出

同期生クラブOB会  
河津実(11)、運動会の役員活動中



紹介をまじえながら和気藹々のうちに進行しましたが、話題は今回の総会の一番の議題であった現役の事故対策問題に終始しました。

新OB会役員  
名誉顧問 古久保五郎  
会長 神田 博  
委員長 前岩 清嗣



年度代表(○印は委員)  
36・37塩本 38伊藤 39牧田  
40木元 41永田 42今津 ④中  
西 ④東 ⑤小林 46藤田 ④  
永井 48蔵本 49兵頭 50石川  
51多田羅 52早野 53曾我 54  
永田 55大仲 57沢井 58高橋  
59田中 ⑥水田  
会計 飯田徳政  
新役員目標は、OB、現役援

クラブOB会

### まよますの結束を望んで

#### ハンドボール部OB会

冒頭から私事で恐縮ですが、私(鮫島)は昭和61年7月付異動で名古屋支店勤務となり、現在サラリーマンになって初めての単身生活を経験しております。名古屋支店の守備範囲は中部7県であり、これ等の地方に在住しておられるOB諸兄弟と、勤務の合い間にお会い出来ることを楽しみにしております。

さて、OB会の活動状況をご報告致します。

一、総会(昭和60年11月3日) 大学同窓会パーティー終了後、同会場にて開催。毎度のことながら比企事務局長初め同窓会幹部の方々のご好意を感謝しております。

助金の設立、年輪(OB会誌)の続刊でありますので皆様方の原稿のご協力をお願いします。また、来年の総会には、今回欠席の方々は是非、多数ご参加されますようお願いする次第です。  
年会費払込先 郵便振替 口座番号 大阪0-104004  
加入者名 大阪経済大学W.V部OB会 飯田徳政記

2年ぶりに関西リーグ一部に復帰した現役チームに対し、ビデオ一式と、超特大の部旗を寄贈するべく決議しました。

二、ゴルフ東西対抗戦(昭和60年10月12日、13日) 東京、大阪各8名の迷ゴルフアーククラブに集合。ただし、東京勢はハンドボール部OBだけでは数がそろいませんので同窓会東京支部の有志に参加していただきました。参加メンバーは左記の通りでした。(順不同 敬称略)

東京 大阪  
平石(26) バスケット 辻村(31) ハンド  
吉田(27) ハンド 金沢(32) ハンド



湯郷グランドホテルにて

いずれも現役時代は柔道部に席を置いて、練習に、合宿に、汗を流した仲間達で、24回卒から27回卒業生の18名がそのメンバーである。会の名前の通り、年に一度気楽に寄り集まって、お互いの健康を喜び、昔話や、近況報告を酒の肴に楽しく飲むのが目的である。

したがって、会長もなければ、会計もなく、まして会則等、堅苦しいものも一切なしの当番制で運営している。第1回目は昨年の4月に有馬温泉、兵衛別館で開催し、出席者は12名、第2回目の今回は昨年と全く同じ入達が出席した。今回は三輪忠昭君が夫人同伴で出席し、野郎ばかりの中に和やかなムードを作ってくれた。

皆が集ると話は決って学生時代に各地で行った合宿のことや試合

の話を始め、各人の仕事の話、健康の話、娘や息子の縁談の話、この暮には孫ができる話、ゴルフに釣、はては政治談議までが出て、わいわいがやがやとにぎやかな事この上ない。しかし、最後はやはりまた柔道の話に戻るのが不思議である。

お互いに、いつの間にか、50歳前後の年齢になって、それぞれの職場で、それなりの責任のある地位になっている人達だから、このように肩のこらない集りがストレス解消に良いのかも知れない。

柔道部の遠征歌を歌い、応援歌、逍遙歌、学歌を歌って夜の更けるのも忘れて過ごした。

来春は出来る限り夫人同伴で集まることを約して、小雨の降る湯の里を後に一路焼物の里、備前市に向った。

- 出席者  
24回卒 上野充也、吉田文雄  
25回卒 生田邦雄、大道関治  
26回卒 逸見学、源幸夫  
27回卒 梅垣皖洋、車野修三  
西勝美 吉田文雄(24記)

牧田(28) 軟式野球 伊藤(35) ハンド  
玉田(25) ハンド 平木(35) ハンド  
斉藤(36) スケート 岩崎(36) ハンド  
小林(34) とんかつ店 清水(31) ハンド  
梅本(31) ラグビー 田々美(40) ハンド  
鮫島(27) ハンド 福井(自休) ハンド  
注、( )内数字は卒業年度  
ロッジで行われた前夜祭は、ゴルフ場初って以来の大宴会となり、現役時代の思い出話に花が咲きました。さて翌朝、微風快晴と思いきや、なんと台風なみの風雨となり、それでもなんとか1ラウンド消化し、再会を約束して夕刻解散しました。

三、第8回11人制ハンドボールフェスティバル(昭和60年11月10日)

昔11人制に親しんだ関西の各大学OBの親善試合が、大阪大学のグラウンドで行われ、当OB会も昨年に引続いて参加し、よい汗をかきました。昭和62年度は第10回記念大会となり、大阪経大が幹事となります。グラウンドの使用等、

本年4月26日(土)、27日(日)の両日、第2回目の会合を、岡山

クラブOB会

### !!寄多郎会湯郷温泉に集う!!

#### 柔道部OB会

以上が主な行事ですが、今後も活動の火を消すことなく続けていきたいと考えております。全国各地でご活躍のOB諸兄弟、倍旧のご協力を賜りたくよろしく申し上げます。

県の湯郷温泉にて開催した。寄多郎会という変な名前の会であるが、

職域OB会

### 年々充実する商業建築懇話会

商業建築懇話会も昭和55年12月に発足して以来6年目を迎え、内容の充実と共に、会員数も23名に達しました。

大阪経大を卒業したという同じ釜の飯を食った者同志で、商業建築及びこれらに関連する業界に在職する者が集い、建築に関する情報交換、紹介等を行い、各自の業務に役立てると共に、会員相互の融和と親睦をはかり、充実した会合を続けています。

最近の例会は、9月16日(火)大阪市北浜の料理屋「くまた」において同窓会本部より比企事務局長にご出席をいただき、大学の近況について有意義なお話を拝聴し、これを機に会員一同、より一層大学に目をむけ、母校発展に協力しなければならぬと痛感いたしました。

また、年内には、更に、ゴルフコンペや旅行の計画も話し合わせ、盛会裡に終了しました。来年も瀬江の紙上をかりて、再び同窓生諸兄とお会いできることを楽しみにしております。



なお、本会への新規入会のお問合せは

にご連絡下さい。

末筆になりましたが、比企事務局長様には大変お忙しいスケジュールをこなしておられるようすが、どうかお身体には十分気を付けてられ、今後共母校発展の為に活躍下さるよう会員一同祈念いたしております。

大場謙二

本年中に新規入会の会員名  
大塚章介 協和建工(株)専務取締役

岩崎正弘 部長  
大陽酸素(株)環境機器

小原友行 総合設備 代表  
富平真行 大末建設(株)建築営業

課長  
菅原正雄 三晃塗装(株)代表取締役

古田 孝 古田工務店 代表  
西田 一雄 (株)ミクロ情報サービ

前田 耕作(24記)

### 「尼崎は変わる」を キャッチフレーズに

尼崎市役所大樟会の第4回総会を、昭和61年10月1日(水)、尼崎市総合文化センターで開催しました。約90名の会員の内、48名が出席し、大変なごやかで楽しいひとときを過ごしました。

「尼崎は変わる」をキャッチフレーズに頑張るぞ、乾杯!

鶴田 茂(40)

宇野勲会長のあいさつ、尼崎市議会議員、高岡一郎氏の乾杯、それにおなじみの同窓会事務局長比企氏の得意ののど披露もあり、最後まで親睦を深めることができました。



### 身近なところにも 同窓生

昨年の「瀬江」に初登場させていただいた川西市役所大樟会ですが、「瀬江」の反響の大きさを改めて知らされました。意外にも身近なところにも同窓生が多くおられ、新たな会話が生まれることもありました。

我が大樟会は、地味ではありませんが、結成以来、年数回の行事を着実に続けています。また、この大樟会の開催により、相互の親睦を深め、日常においても情報交換を行うなど有意義に活用されています。

今年1月27日(月)に開催いたしました懇談会には、毎回ご参加いただいている母校の大槻先生をはじめ同窓会本部より比企事務局長をお迎えし、一段と会話がはず

川西市役所大樟会

みましました。しかし、ここ数年は、市職員の採用が減少していることもあり、平均年齢が毎年1歳ずつ高くなっています。

また、このたび会員の一人、山形輝三氏(32)が、都合(特定郵便局長に就任の為)により退職され、一同さみしく思っています。山形氏の今後のご発展を祈念いたしておきます。

今後、我が大樟会24名の平均年齢があがらないように願うとともに、会の発展に全員がより一層努力し、ひいては市政発展の一翼を担って行きたいと思っています。

幹事 田中 重男(20)

### 宝塚市役所経大会 今年も盛大に開催

昨年は「メンソール・沖繩へ」と、沖繩まで足をのぼし、沖繩在住の同窓生、与那嶺さん、山城さんと経大の同窓会員らしく旧交を

あためてきました。今年は鳥羽へ1泊2日の日程で挙行いたしました。

いままら伊勢・鳥羽でもあるま



い、との意見もなかったとはいませんが、そこは「融和」を mottoとする経大OBの集団です。2月22日(土)、23日(日)、平素

### 安らかに川野群平君

昨年12月1日(日)、「はたち会」の同窓会が梅田の「本むさし会館」で開催されました。私は気にかけてながらも、ついに出席出来ませんでした。一週間程たって、川野君

に電話をかけ、欠席をわびるともに近況を話しあい、お互いに今月は忙がしいので、来春是非会って「一杯やろう」と約束しました。その後、身辺の変化もあり、日々

を過しておりましたところ、20日に打出君より川野群平君の訃報が伝えられたときには、あまりにも突然で、信じる事が出来ませんでした。同級生の連中が集まる会合では、学生時代の癖そのままに、机をたたきながら熱弁をふるう彼を見て、「君は昔のとおりだね、少しも変わらないね」と、懐かしく学生時代を話したのでした。昭和25年に入学し、同級生とともに学び、ともに遊び、それ以来35年余りのおつきあいでした。多才な彼は、在学中、自治会の委員長としても活躍し、同級生として大いに期待しておりました。



元気で「はたち会」に出席の頃の川野君(写真2列目右端)

が同窓会にかけた情熱には感謝の念がたえません。私は、学生時代、近所に住んでいたこともあり、特に親しく、種々思い出も多く、川野君を失ったことは、何ともいえないようないさみしきで一杯です。最後になりましたが、川野群平君、どうか安らかに眠り下さい。級友一同心から「さようなら」のことはをささげ、ご冥福をお祈り申しあげます。

山村 恭造(20)

### 追悼 武川茂夫君

ひと雨ごとに紫陽花色を重ねる6月の初日の夜、武川君逝去の訃報を受け、大きな驚きと衝撃とで暗い夜空を見あげる思いでした。『諸行無常会者常離』の世とはいいいながらも、柔道8段、強健な体力と精神の持ち主の君が、67歳、これから社会の為に活躍される年であつたのにまことに残念でなりません。

思い出せば昭和15年4月、大隅の里に高くそびえたつ昭和商高に入学して、体育館内の青畳の道場で初めて顔を合せて、お互いに勉学に柔道に励み頑張りましょう」と手を握り合つて以来3年、黒正校長、寺尾先生をはじめ諸先生方の薫陶をうけ、また、諸先輩のご指導のもとに精神修養、体力作りに励み、互いに切磋琢磨して来ました。柔道では、今は亡き真部清馬君とともに、私達同期の先頭にあり、大阪学生柔道制覇はいうに及ばず、全国学生柔道界に「昭和商高に武川あり」の名声を博されましたことは我々の誇りでした。

また、卒業式の際に、堂々と胸を張つて体育賞を黒正校長より授与された君の姿は、今でも、目に浮びます。

時あたかも太平洋戦争に突入、卒業も繰上げとなり、ペンを銃に持ち代えて戦線へとせせきんじ、君は陸軍将校として立派にその任を果されました。戦後、昭和25年、私も復員して神戸で会い、互いの元気を喜び合い、『昭和商高での柔道精神を生かして頑張ろう』と励ましあつて、肩を抱きあつたのもついでこの間のことのように思えます。

10数年続いている年1回の9期生会には、いつも君が会を盛りあげてくれ、ユーモラスなスピーチのあと、『高商名物教授の数え歌』を君の音頭で合唱、そして、独特スタイルの三三七拍子で締めくくつてくれましたが、今年の9月の神戸会ではその姿を見ることが出来ず、また、声を聞けないことを思えば、悲しみて一杯です。君は人一倍母校を愛され、同窓会本部

の理事として、理事会では発展的な発言をされ、常に母校の発展の力にならねばならぬ同窓会の諸問題について強く意見を述べられていましたことも忘れることが出来ません。

悲しい君との別れの6月3日の

### 中小企業診断士となつて27年

三木 薫(4)



昭和13年4月に昭和商高を卒業、三菱レイヨンに7年在職、そして、協栄化学(株)を創立したが2年で辞任。その後、経営コンサルタントとして自立するまで中小企業に勤め、職業を転々とした。この間、昭和28年9月頃、昭和商高時代の恩師菅野和太郎先生が、当時、オサメ触媒の監査役をしておられたので、北野総務部長宛に就職依頼の紹介状を書いてもらいに浪速ホテルの社長室へ行つた。先生は机の引出しを開けて『三木君これを見てごらん。就職依頼の履歴書が一杯つまっているだろう。君の場合、職歴もそこ〜だが、年齢も

40歳に近いからむつかしいね』と言われた通り、北野総務部長に面接したところ『先般不況による人員整理をしたとこなので、いくら菅野先生の紹介でも一寸無理ですな』と言われた。

昭和33年8月初旬より下旬まで約1カ月間、通産省登録中小企業診断士を目指して名古屋市で行われた認定講習会に1日も休まず、毎日午前5時に起きて一番電車に乗つて講演会々場に赴き、帰宅はいつも午後9時前後だった。その認定講習会も無事終わり、名古屋市の商業5企業の診断実習の時には、なにぶん初めての事でもあり、大変戸惑いを感じた。その時に大変苦労をしたので、将来人を指導する時には、その人がよくわかる様に教えてあげなければならぬ

### 募金キャンペーンにご協力に対し感謝

この7月末ごろ、お手もつと創立50周年記念事業の一つである記念館建設に伴う第3回目の募金案内状が届いたことと思います。募金総額3億円。同窓会としては少なくとも半額の1億5千万円を目標と呼びかけてきましたが、5月末現在で5千万円強、募金をいただいた方々が1400余人と大変残念な状況にありました。そこで、額はもとより、一人でも多くの方たちにご応募いただくよう、同窓会では、大学と協議のうえ、あらゆる組織を網羅して募金を呼びかけることにしました。

南部 俊一(9)



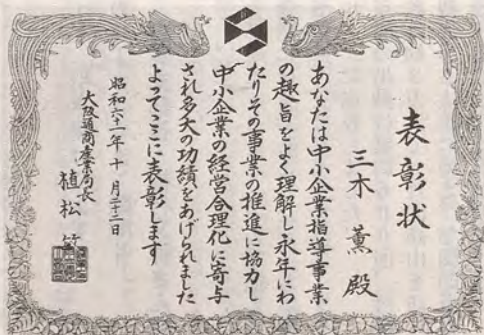
まず、運動部を中心にクラブ関係を第1順位に、第2にゼミ関係、第3が支部関係と各々世話役、諸先生、各支部長、そして残つた方たちには同期発起人の方々から、それぞれ添書をいただいで、これを同封のうえ発送しました。長期間と多くの労力を要する作業とはなりましたが、お陰さまで多くの方々の賛同を得、成果が出つつあります。

ここに第3回募金キャンペーンの概要をご説明し、心から御礼を申しあげる次第です。

松本 義和

と痛切に感じた。昭和34年4月1日付で官報告示により通産省登録中小企業診断士となり、その後間もなく、三木経営管理事務所を開設、昭和34年10月1日より貝塚市商工相談所専門相談員、昭和35年4月1日より貝塚商工会議所専門指導員となつて現在まで貝塚地区事業所の経営相談・指導に携わつて来た。その間、昭和49年11月より59年11月迄11年間、(社)中小企業診断協会の委嘱によつて通産省登録中小企業診断士を目指す実習生を毎年5人ずつマンツーマンで実習指導をして来た。指導の方針として各人の環境を考慮し、常に懇切丁寧を旨として教えてきた。たまたま、昭和55年11月の実習生が60歳前後の人ばかりで、謝恩会の打ち上げの席上、今後年に2回位、6月と12月に懇親会をしてはどうかとの発議があり、それ以後毎年申し送りで行なう事になつてしまひ、会の名称も「三文会」と名付けられ、その都度私が招待されて、懐かしい一夕を持つ様になつた。いつも10数人が相集ひ、ハードスケジュールだった実習当時の思い出して欲談している。誠意を持って人に接すれば必ず喜んで

もらえると言う事を身にしみて感じていた。なお、37年より現在に至るまで、大阪府立産業能率研究所が行なう大阪府の設備近代化診断を手伝つて来た。本年10月22日に、大阪府知事の推薦によつて昭和61年度優良受診企業の推進協力者として大阪通産産業局長表彰を受けた。身体もまだまだ元気なので、今後も中小企業を指導し、経営合理化に寄与したいと思つている。小生の長男、泰も昭和44年に大阪経大を卒業し、大阪の岩崎会計事務所へ勤め、昭和52年に税理士登録をして三木泰税理士事務所を開設、現在に至つては、この方は現在相談役程度である。



# 戦没戦友の慰霊の日々

田中 一三(1)

小生卒業の翌年、昭和11年1月現役兵として入営、12年1月除隊、13年6月召集を受けて中支に出征、18年6月除隊までの5カ年間戦線にあり、20年4月再召集を受け、中支・大別山中・武勝関にて終戦を知る。

兼松江商榷に勤務、定年退職後はもっぱら戦没戦友の慰霊の日々を過ごし今日に至る。

母校も、創立以来、既に、50年余を経て建学の精神を確立され、多くの人材を社会に送り出された先生方に感謝の誠をささげ、健闘される卒業生に満腔の声援をおくりします。

# 人生の節目を迎えて……

増田 通夫(6)

私は昭和商第6回の卒業生です。丁度、第2次世界大戦の真つ只中で、学校卒業と同時に応召され、内地、台湾と約5年間、お国の為にも、戦ってまいりました。昭和21年3月、無事帰国し、故郷の仲南町役場に奉職し、昭和59年12月、病気の為退職し、療養生活が続いております。

母校はますます発展を遂げられ、また、今回は50周年記念事業として記念館を建てられ、心より喜び申し上げます。近年は低成長経済、貿易摩擦、円高問題など、厳しい時代

に、母校において優秀なる人材の育成の場として活用していただき、ますます本学の発展と同窓会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

# 教職課程の充実を望む

富山 義正(9)

岡山県の教員採用試験がむづかしくなると後輩の教員になる数が非常に減っています。商業教科の専門的知識を十分につけさせるとともに、情報処理技法が十分こなせることが必要となっています。教職課程で希望者への指導をよろしく願います。

岡山県高校教育の同窓会をもっていましたが、人数が減り不活発化しています。

# 「瀬江サンデー会」を開催

竹内 三郎(10)

数年前、大阪の会社を定年退職したあと、地元で町役場で関西新空港問題に取り組んだあと、現在は町史編さんの準備作業を委嘱され、古い借用証文や人別帳などの古文書の解説に取り組んでいます。「60の手習い」もいよいよです。地味な仕事ですが、手探りで難解な文字を読み



篠山のガイド 引き受けてます  
《デイスカバーささやま》顧問  
丹有支部長 梶村文弥さん(8)

「デイスカバーささやま」グループとは、昭和58年に開かれた市民講座「デイスカバー篠山」で、小生などの郷土篠山についての歴史・文化・地理・経済・行政等の話を聴講してくれていた人たちが中心で誕生しました。せっかく、学習した知識を自分たちだけのものにせず、観光客にもお伝えしようという思い、それが郷土愛につながるものだと、58年秋から始めたボランティアのグループです。

会員は20歳位から70歳までの男女とりまぜ41人、いろんな立場の人たちがいるので、最初は意識と意欲を

下したときのうれしさは一しおです。

3年程前、地元と同窓会支部が結成され、先輩、後輩の皆さんの知遇を得、また、それを機に会長をはじめ本部の皆さんに親しくしていただいております。また、「3年D組」に在籍したもので、「瀬江サンデー会」をもち、年に一度、一泊の懇親会をもって旧交を温めています。

# 往事茫茫

小林 良雄(11)

夏休中のグライダーの合宿訓練、淀川堤の草いきれ、瑞光通り、平安食堂の通学路、銃を担ったの嵐山・比叡山への行軍、学期末・学年末の試験、日立造船・桜島工場への動員、学従出陣を送った大手前広場等々、40数年前の戦時下の学生生活が色々な感慨をさそい思い出されます。昭和44年に税理士事務所を開設し



ジェット・エア・サービスKK取締役  
名古屋支店長 青山貞二さん(11)

円高時代の有望企業とされる旅行業界の中で、名古屋地区でのホスピタリティといわれる同窓生がいる。標記の青山さん(名古屋市長東区もぎ台1-1-81)がその人で、地元東海銀行で12年間、各支店長を勤めあげ、10年前の定年直前にこの会社へ出向した。

銀行時代の同僚から、上役にゴマをすつてうまい所へ回してもらったなあとかよく冷やかされるんですよと屈託なく笑顔が返ってくる。地声が大いにおどろかせた銀行時代からの評判で、昭和26年の一宮支店次長時代、地場産業である厚毛輸入に骨を折り、外為業務で大臣表彰を受けたことも

ご発展を祈念いたしますとともに、一度は訪れてみたいと思っております。

# 同窓生と海外旅行

平石 道夫(17)

卒業して丁度35年たちました。気は若いつもりです。東京支部の仲間

現在約50社ある愛知県旅行業者の会長。どの会社の支店長もいわばサラリーマン、私は銀行で中小企業のお相手役として苦楽を共にした経営者、円高だブームだと、浮かれている時代ではありませんとおっしゃる。海外旅行を楽しむコツは？と尋ねると、無理をしない日程と費用。そして熟年者にはやはり、ハワイに始まってハワイに終る」とおっしゃる。会社は名古屋駅前にある大名古屋ビルの一階、その節には一度お訪ねする価値はありそうである。

東海支部長 加藤正秋

と夫婦で海外旅行に3年続けて行きました。「年輪を経て、また嬉しハワイ旅行」。ヨーロッパにはお互いに仕事の都合でまだ実現出来ませんが、感激の多いうちに行きたいと思っております。

名簿を開いていて、なつかしく、名前と顔が浮かんできます。東京に上京なさる機会があれば是非お電話下さい。母校のますますの発展を心から願

# 北

# か

# ら

# 未だ現役

鈴木(有見) 美登里(13)

人は歳月を重ねたから老いいるのではない、理想を失うときに老いるのだ」とか。未だ現役、毎日頑張っています。

でも、去年は親しい友人をなくしました。卒業以来会えずじまいだったのが残念でなりません。やはり、現在も大事に、楽しまなくては、と思う毎日です。

# 水戸より大阪を思う

逸見 豊(14)

転勤また転勤の主人について歩いていっているうちに茨城の地に17年住みついでしまいました。水戸名物の「納豆」もとうとう昨年からは食べられるようになりました。現在、孫のような小・中学生と算数・国語の学習を

# 南

# か

# ら

ってやみません。私どもも二人で頑張って、いまだ現役で働いています。時節柄、不況下でいろいろとむづかしい問題が山積していますが頑張っています。諸先輩皆様のご健闘を心よりお祈りいたします。

### 「瀬江」に支えられて

嵯峨(榎本)敏枝(18)  
創立50周年記念館が立派に竣工されましたことを心よりお祝い申し上げます。

皆様お健やかに過ごしてですか？私は体調を崩して専業主婦になつてから10年がたちました。いろいろなことに出会い、ストレスに弱い自分をいやという程知らされました。くずれ折れそうになる自分の心を支えてくれたもの一つに瀬江に見られる多くの同窓の方々が頑張っておられるということがありました。今は、夫の定年を間近に控え、はや老化現象の現れ出した頭を何とか回転させ、これからの老後に対処していかなければならない現状です。

当地・小山では同窓の方々と近くでお会いすることもなかなかかので、少々淋しい思いがいたします。それでも、いつの日か何処かでめぐり合え、話し合える日を楽しみにいたしております。

母校の今後ますますのご発展をお祈りいたしております。

### 京都支部総会に期待

平石 義隆(18)  
卒業式の前日が松下電器への入社日……。早くも34年余が経過。その後、松下本社2年、当時発足まもない松下電子工業に出向、現在はその子会社、松下電子応用機器(株)の監査役をしております。

会社は、最近好調子の電子レンジ用のマグネトロン、テレビのカラーブラウン管用のシャドウ・マスク、半導体、その他、電子応用機器……精密機等を生産。円高不況の中でもオランダのフイリップス社方式の原価管理でコスト競争に頑張っている毎日です。

先日も京都支部総会に列席し、渡辺先輩はじめ、新任の若い支部長のご活躍ぶりを見て、今後は、年度毎の責任者を決め、出席者を増やす……等の案も出て、今後に期待している状況で、すべて管理の仕方が重要ではないかとも思っています。

### 充実の毎日

永山(林)恒史(19)  
昨年9月で32年余勤めた銀行(奈

良市・(南都銀行)を退職し、4月より出向中であつた現在の会社におけるまま勤務しております。現役時代は、商取引や営業活動について側面からながめることに限られていた私にとつて、今回初めて、実際に経験する夢がかなえられ、満足する毎日です。かつての銀行では尊敬する先輩に恵まれ、また、日頃は身近で立派になられた同級生からも指導をいただくごとに、同窓のよしみとありがたさを痛感しています。幸い、後



大阪市信用金庫専務理事

新堂友衛さん(21)

新堂友衛氏とは旧知である。新堂氏と言え、氏が本学に在学されていたころ、同期の永井文夫氏(日触興産KK取締役業務部長)や古谷七五三次氏(旧姓八木・大阪産業大学常務理事)などと「空手部」を創設されたことを想い出す。腕前も揃って3段くらいであつたと記憶する。

卒業されて後、新堂氏とは久しく会う機会がなかつた。この新堂氏が若くして大阪市信用金庫の専務理事まで栄進されたのには、やはり人知れぬ努力があつたことを、因らずしも新堂氏と私の共通の友人であるN氏から聞いたことがあつた。営業

輩も毎年2・3名ずつ入行し、今や、中堅管理者として育ちつつあることは、母校にとつて、また、地元同窓生として心から喜ばしく思います。学校として、今後卒業される方には、決して他校に負けない「新鮮さ」があり、「資質豊かな」人材を養成され、社会へ送り出されるよう一層の努力を念願するものです。

成績の振わない支店の責任者になつたとき、おそらく会社が詳細なデータに基づいて立てた予想を覆えして、その支店を復活させるという大変なことを新堂氏はやつてのけられたと言ふ。

大学の社会的評価は、さまざまな分野で先輩がどのように活躍しているかにかかっている。好むと好まざるとに拘わらずそのことは事実である。マイホーム志向は良くないとは言われないが、後輩のために道を切り拓いてくれるのは、やはり社会的に頑張っている先輩たちではないであらうか。 母校教授 藤本周一

# 北

# か

# ら

# 南

# か

# ら

### ガンバレ運動部

宮原 史郎(21)

生活の基盤が島根県なるため、卒業後31年になるも、母校に挨拶に行つたのは僅か数回しかない。いつも申しわけなく思っている。

在学当時と比し、最近では、運動部の活躍が全般的に低調なのがなんともさみしい。 母校の発展、そして経大健児の健闘を切に祈っている。

### 全うした国鉄勤務

井上 利秋(22)

思いかえせば、早いもので、31年に卒業してはや30年がすぎました。在学当時、私は教員免許をとり、卒業後は、先生になろうと張りきつておりましたが、気がついたら国鉄に就職してすでに10年を経過しておりました。従つて、両親兄弟が国鉄を首になったのならばやむをえないが、そうでないのであれば、「どの職場でも同じで、一たん決めた職場は最後までやり通せ」と、意見され、考え直し、引續いて頑張りました。お陰で国鉄職員であればだれもが望む助役、駅長を経験し、一昨年定年退職し、現在は、第二の職場で、国鉄の経験をいかし、労務管理を担当しております。

最後に、母校がますます発展するようお祈り致します。

### 大学時代を顧みる

明石 真一(25)

卒業後、長らく大学時代を顧みる余裕もなく27年、ようやく周囲を見回せるようになり、小学校から大学まで同窓会ブームでもあり、最近、なつかしい顔を見る機会も多くなつた人生半ばの毎日です。

経済界においても大経大卒業生の名を聞くようになり、卒業生がよくがんばっているのがわかります。在学中はハンドボール部におり、それ以外のことはあまりわからぬままに卒業してしまいました。毎年、海外出張の時にももう少し勉強しておけばよかつたかと反省しております。

過日、積水化学の広田社長と会談をしたとき、少しは大経大のためになつたかなあ……と、大学の話の花が咲きました。

### 友愛久遠に変わるまじ

明田 安生(25)

卒業以来27年、東京―大阪―岡山―大阪と移り住み、名古屋市へ在住して(最も長く)14年となりました。妻と子供2人(男・女)、一家4人平凡



「科学技術庁長官賞」を受賞!!

徳島支部の林武さん(23)

昭和32年卒業、鳴門市在住、徳島支部の林武(はやし・たけし)さんは、本年度、大経大卒としては異色の科学技術振興功績者として、東京・農林年金会館虎ノ門パストラルで科学技術庁長官表彰を受けた。

林さんは卒業後帰郷して船舶の電装工事業に勤めたが、1年で独立、母の経営する旅館に出入りの多い漁業関係者をバックに、船の発電機・レーダー・魚群探知機などの修理、販売を始め、現在の共栄造機(株)を設立した。製品の本命は昭和40年から手がけたフィッシュポンプ(魚移送機)の開発で、その上研究熱心、特

な日々を健康に恵まれ送っています。

「水や濁れる人の世に 真理求めて遊ぶ子の 友愛久遠に変わるまじ」 在学中に歌つた逍遙歌のこの一節は常に忘れることができません。

団体の機関誌の編集に携わること15年、その後業務部へと転部して今日に至りますが、日常根底に流れる精神はこの歌詞に通じます。汝が悲しみに我は泣き 吾が喜びに君や舞

許・実用新案は55件、出願中10件、特許庁長官奨励賞も受けている。創業以来30年近くに及び、今日の会社の隆盛を築くまでには言うに及ばない苦勞をしたが、林さん開発の装置は商品化が軌道に乗り、国内ではシェア90%以上、外国への輸出も盛んである。

林さんの人柄は実直で、論理派。魚佃安定と省力化に尽くし地元での信望も厚い。

今回の受賞は、同窓生としてご同慶にたえないものであり、誌面を通じてご披露する次第である。 徳島支部長 伊藤 博

# 仙台に思う

堀田 康清(26)

東北の自然は春から秋は優しいが、冬は峻厳である。大阪から仙台へ移り10年になります。その間、母校訪問の機会にも恵まれないが、澱江を送っていただき、おおよその様子を拝察出来感謝しております。

仕事で東北各地へ行きますが、過疎に悩む農山漁村が多く、これからの交通と産業開発に期待を持っています。リアス式海岸で有名な三陸海岸は太平洋の荒波が洗う雄大な眺め、また、山峡での秘湯等観光資源にめぐまれています。ただ、企業が少なく、活気に乏しいところであり、本学同窓生も非常に少なく、出会う機会もまれで、寂しい心地がしております。今後同窓生の増加することを目指してまいります。

恩師をはじめ皆様方のご健勝を祈ります。

# か

## 教職ひとすじに……

猪口 正通(27)

同窓生の皆様、ますますご健勝にて活躍のことと拝察いたします。

大経大卒業以後26年、京都を振り出しに、淡路島の洲本、姫路と勤務地は変わりましたが、教職ひとすじに歩んでまいりました。

現在は、神戸の県立高校(定時制)

# 南

## 久しぶりの同期会出席

谷佐田 正人(33)

早いもので卒業以来19年が過ぎました。現在は、地元の信用金庫に勤務しております。同窓生も多数在職しておりますが、近年入庫者が少なく寂しく思っております。

昨年は、大阪での園田ゼミの同期会に出席し、久しぶりに旧交をあたため、「自由と融和」の精神の下に、のびのびと過ごした学生生活が懐かしく思い出されました。

新幹線の車窓から、あるいはまた澱江により経大の変貌を眺め、一度訪れてみたいと思っております。50周年記念館竣工を機に同窓会におかれましては、そのような催しを計画していただきたいと思っております。母校経大のますますのご発展を期待しております。

## 経営学研究科の設置を

安倉 一誠(34)

卒業後6年間、大阪市内の会計事務所に勤務した後、昭和50年に地元商工会へUターン。以来11年、地元商工会の経営指導員として地域商工業の振興・発展に微力を尽しています。当町は、関西学研都市の区域に含まれ、61年4月には、その一部施設として同志社大学が移転開校したのをはじめ、今後も大型開発が相次いで

# 北

# か

# ら

で教頭として頑張っております。

ただ、現任校が夜間定時制であるため、勤務時間の関係で支部、同期生の会合等の御通知を受けても出席することが出来ず(土曜日の夜のことが多いため)、大変残念でもあり、また、申し訳なく思っております。最後になりましたが、諸先生方をはじめ、同窓の皆様をますますのご活躍と、母校のより一層の発展を願ってやみません。

## 「寿会」を計画

長崎 和夫(40)

卒業して23年、国盗りの地岐阜市に在をなして14年、元気に過しております。卒業以来諸兄にはご無沙汰いたしております。

38年卒園岡ゼミ「寿会」25周年コンパを(田岡先生の物故をしのび)計画いたしております。連絡先ご一報下さい。

皆様のご活躍をお祈りします。

## わが子に思う

浜口 正行(32)

卒業して、早くも20年の年月が流れてしまいました。教職員の方々、

で計画されているため、60年度には「地域ビジョン」を作成し、新しい町づくりに取りくんではいるところ。(希望など)50周年記念館の竣工おめでとございます。会館新築に伴い情報関係の機器・教科を充実されたことは時節柄や運きに失した感はありませんが、喜ばしい事です。今後、この方面を増々充実、拡大されますとともに、視聴覚教室を生かした語学教育にも力を入れて欲しいと思えます。欲をいえば、大学院に経営学研究科を設置し、研究者だけでなく、経営者経営学を身につけた人材の養成も希望します。

## 「小林寮」を懐かしむ

吉田 健一(36)

卒業後、16年の年月が経過しましたが、相変わらず硬式テニスをやっています。毎週土曜日は、子供3人の内2人をつれてジュニアと、ママさんテニスを教え、日曜日は、試合か家庭サービスかという週末を過ごしています。

学生時代は大学近くの「小林寮」というアパートにいましたが、その頃一緒にいた人達と一度顔をあわせたいなあ……と思っております。



仏像の彫刻家です

京都支部長の深田 稔さん(29)

私は大阪経大出身でありながら、異質の職業についておりますので、とくに自己紹介させて頂きます。

父が仏像彫刻家です。幼少からの環境もあり、門前の小僧式に覚えてしまった訳です。しかし経大に進学した頃は、家業を継ぐ意志は全くなく、経済人になるつもりでした。当然、卒業後は大和証券に入社、証券の仕事をするつもりでした。目まぐるしく移り変わる株の世界にやがて空しさを覚え、父の願望もあって転職を決意、父の下で彫刻家として再出発することにしました。

父は高村光雲の孫弟子に当たり、仕事上では親子の関係ではなく、手厳しく仕込まれました。以来20年あまり、仏像彫刻一筋に励んできました。単に仏像と言いますが、仏教教

同窓会関係の方々にはますますご健勝のことと思います。

さて、小生は18年間勤めた土庄高校を、2年前に、転職になり、現在は小豆島高校に勤めています。

3人いる子どもが、次々と大学受験を迎える年齢になってまいりました。

## 母校の様がわりに驚く

武内 清志(37)

小生の住んでいるところ備前市は古くから焼物の町としてよく知られています。中世六古窯の中で最も古い歴史を持つ備前焼は、釉薬をけかないで松割木で焼き上げられて出来る窯変が枯淡で素朴な中に優雅さを漂わせ、独特な味わいがあります。一度、当市へお越し下さい。

さて、母校を去り、公務の道を志して早15年の歳月が流れました。いたずらに年を取るばかりのこの頃です。現在、総務課に席を置き、法制関係の仕事をしております。国を

た。1人ぐらいいは、母校へ進学してくれたらと希望しています。

母校のご発展を祈念致しております。

母校から御恵贈いただいた『澱江』を拝読する度に、あの学生時代を懐かしく思い出したり、また、母校の様がわりに驚いたりしています。一度上阪して、旧友とも会ってみたいと思っておりますが、何分横着になってしまい……。

最後になりましたが、母校のご発展と同窓会の今後のご活躍をお祈り申し上げます。



## 「青年の船」で アジア・オセアニア諸国と交流の旅に

岡山支部の小谷哲生さん(49)

1985年1月26日、「青年の船」の団員として、にっぽん丸で東京晴海港を出港しました。この事業の目的は、主にアジア・オセアニア諸国との交流です。

日本人団員は279人(岡山県からは5人)で53日間、海外11カ国から参加した63人の団員とともに、船上や寄港地において文化の紹介、スポーツ交歓等を行いました。海外青年との会話はほとんど英語ですが、

身振り手振りや、単語の連呼などで結構、支障なく生活できるものです。英会話の力はつきませんでした。度胸はついたように思います。また、安い費用(15万円、あとは国が負担)で海外旅行ができるのも魅力の一つです。

この航海で多くの知識と友人、そしてよい思い出を得ました。皆さんもぜひ応募して、国際交流の担い手になってみませんか。

### 積極的なPR活動を

小池 邦久(38)  
50周年記念館の完成おめでとうございませう。写真で拝見いたしましたが大変立派な建物で新しい大経大のシンボルにふさわしく嬉しく思います。

私も、現在、3人の子持ちゆえ、多額の寄附も出来ませんが、500円もを送らせていただきます。母校の世間的評価も気になるところですが、一応、関西の私学では関関同立の次くらいに位置しているとは思いますが、最近では京産、近大、竜谷大のような総合大学に人気が集まっている気もします。昭和商以来50年の伝統を誇る母校の積極的なPR活動を期待しています。

### 人造真珠の和泉市より

桑原 雄二(39)  
卒業以来13年の歳月が過ぎ去りました。現在、泉陽信用金庫に勤務し、預金、融資、新規先勧誘をしています。私の勤務地和泉市は繊維、織物、人造真珠が主要地産産業なので、これらの産業が輸出中心のために円高の影響をかなり受けています。私の担当地区は人造真珠の中心地です。人造真珠は本真珠と比較しても見劣りせず割安で、大きさ、色、形など

### 10年選手となり...

紙屋 昭(40)  
全国のOB、OGの皆様お元気でお過ごしでしょうか。母校を卒業しまして12年が過ぎました。青くさかった私も会社ではもう10年選手です。幸い、仕事も身体も順調で、毎日元気に暮らしております。長男は小3、次男は年長組で、日曜日ごと、子供達と運動するのが常となっております。最近、ゴルフの調子も良く、はじめてハーフ39がでて気をよくしています。同期の皆様、おたより、お電話を下さい。

### 経大の発展を祈る

外村 公一(41)  
とにかく頑張っています。これからも、チャレンジ精神、攻撃精神をもって、いろいろなことをやっていこうと思っています。新聞等での大経大の活躍を楽しみにしております。しかし、ここ数年低迷しているような感じがし残念です。50周年、これを機に、経大の発展を祈っています。

### 輝かしい墨光

渡辺名誉会長が

作品展に出品

本年8月26日(火)〜31日(日)の6日間、京都市美術工芸ギャラリー1で第28回墨光社作品展が京都新聞社後援のもと盛大に開催されました。この作品展には同窓会の渡辺達名誉会長の作品が毎回展示されており、ひととき人目をひいていますが、今回の作品は、特に、逸

自由に出来てとても魅力的です。同窓生の諸兄で近くにこられましたらお立ち寄り下さい。

### 私の近況

畔上 晃(39)  
上越新幹線・関越自動車道の全通により新潟県も首都圏との結びつきがさらに増し、人口3万弱のわが田舎町「六日町」も、その経済的効果、物流、人的交流が一層はげしくなっ

### 総合大学を望む

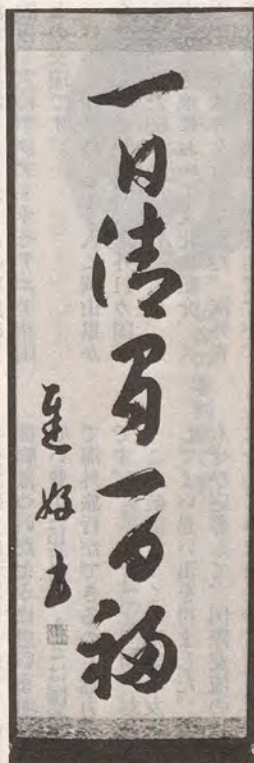
吉田 弘明(48)  
一、大阪で下宿して働いています。いまだ独身を貫いています。クラブの同期生の結婚式ばかりに出席しています。  
二、第一に、やはり、総合大学を目指してほしいと思います。そして、クラブ活動に対して大学側の全面的な協力もお願いしたいと思えます。また、クラブで活動した出身者の一人として、学舎とグラウンドが近くにあつて全力を傾注できるようにしてほしいと願うものです。

### 卒業そして結婚

長谷川(北端)京子(49)  
大阪経済大学を卒業して早3年がたちましたが、私は、今年の5月25日に結婚致しました。現在は、鯖江市に在住しております。

### 新館に感慨ひとしお

小林 一夫(49)  
経大卒業後、はや3年、大学受験生を対象とした教育産業に従事して



品であるとする界から賞賛されています。いつもながらの名誉会長の達筆ぶりには敬服させられます。ご存知のことと思いますが、この「澱江」の題字、今年の会員名簿の表紙なども、すべて渡辺名誉会長の筆によるものです。ここに改めて、同展覧会に展示されました作品を会員の皆様にご披露し、

ともに鑑賞しつつ、およろこび申しあげたいと思います。いつまでもご健祥で、母校のため、同窓会のためにご尽力いただくことはもちろん、いつまでも立派な墨跡でわれわれの目を楽しませていただきたいと祈念いたします。

文責 比企

### 同窓生は同郷の人

山口 寛一(40)  
卒業して12年、この間結婚、3人の子供に恵まれ、仕事の方もまあ順調だろうと思っています。取引先などで、たまたま、大阪経済大学卒の人がいたりしたら大変なつかしく、同郷の人に会ったような気分になるこのごろです。  
記念館の方も順調に建設が進んでいるようで(募金の方は思うようにいかないようですが)心からお祝いの言葉をお送り致します。

### 盛大なる絵画展(個展)

松本旬弘和歌山支部長展示会

同窓会和歌山支部長、松本旬弘氏(6)が絵をおかきになることを知っておられる会員の皆様がおられるでしょうか。私感ですが、ほんの少数の方々だと思えます。  
本年4月23日(水)〜28日(月)の6日間、和歌山市湊通11丁北2丁目、紀の国会館内「サロン龍門」で、松本旬弘「サロン龍門」で、松本旬弘絵画展として個展が開催され、斯界からの絶大な賞賛をえられ盛会裡に終えられました。  
「六中観」の第一は「忙中閑あり」であります。私の場合は「病中閑あり」で、主と

して療養中に画いたものを並べてみました。  
と、ご本人はいっておられますが、実に逸品ぞろい、ただただ見られるだけです。私には残念ながら、絵心はありませんが、その作品一つ一つに心を打つものがあることは否定できない事実です。  
松本旬弘画伯、和歌山支部長は、最近はお元氣そうでお安堵いたしておりますが、ご自愛され、ますます傑作を画かれてわれわれの目を楽しませていただくよう祈念してやみません。  
絵画展の中の一品「ニコシアのミュージアム」(F8号)をご紹介します。文責 比企



ニコシアのミュージアム F8号



文責 比企

「澱江」により50周年記念館の完成を知り、本年6月、楽しかった学生時代への郷愁の思いも手伝い、上野から下宿先の大道町へと歩いてみました。壮観たる新館に、在学中に完成していればと胸のあつく感じる思いで、大変感激し、広島へ帰りました。

最近、大経大の名前を新聞等で見かける機会も少なく、大変さみしい思いがしています。

仕事の関係上、近年、受験雑誌に有名私大として評価されることを0



Bの1人として喜んでいきます。学生時代は自由奔放な生活を送っていましたが、今ではそれが一番貴重な体験であり、経大での4年間は日々活力になっていくといっても過言ではありません。私が痛感していることは、一人一人のOBが小さなことでも社会に貢献できる人材となり、これから巣立ってゆく多くの後輩たちの誇れる先輩であるよう努めることが、今後の経大の「源」と思っています。

今後の母校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

最後に、編集部の皆様、いつも興味深い編集ありがとうございました。澱江の到着を大変楽しみにしています。これからも頑張ってください。

赴任後、はや一カ月  
中島 寿士(52)  
2カ月間の鬼町(シマ)での研修を終え金沢へ赴任し、はや1カ月た

ちました。こちらにも諸先輩方が多数おられると思いますが、こちらで何か集うことのできるのでしょうか。是非参加してみたいものです。現在、1日100件以上の飛び込みセールのしています。まだ苦しさを感じている暇もない毎日です。

松原ゼミのみなさん近況をお知らせ下さい。

念願の日展・洋画の部に特選で入選 関田庄司さん(8)

関田さんは「先輩、私が日展の特選に入選するまでは『澱江』にとりあげないで……」と、いつも私にいつていた。

第18回の日展で、彼の念願(?)であった特選に入選されたことをこの誌面を借りて、心からお喜び申しあげたい。おめでとう!!

参加作品1997点の中から10点の特選作品の一点に選ばれた栄誉を得られた関田さんは、これまで日展には9回入選をされている。しかし、彼はいつも「入選は入選であって、特選ではない」と、私に話してくれていた。これ

が何を意味するのか、門外漢の私には、彼の真意をお伝えできないが、いずれにしても、40歳のころから独学で油絵を描き始めたといっている。そして、「ぼたん会(八期生会)」、「三重支部総会」には必ず顔を出してくれているが、いまだ一度も彼から本格的に画の話を聞いたことがない、彼も語ろうとしない。

彼がある新聞に「絵の基礎もなく、絵の具の使い方も知らずに始めた者が、よくぞここまで来た」という感じ。何事も、とことんやる性格が、特選につながったの

かも知れない」と語っている。彼らしい表現だと、私は私なりに感じている。

昭和の高商を出て、日展・特選の栄冠を掌中にした彼の努力に拍手を送りたい。

(絵画結社・大洋会運営委員で日洋展委員である関田画伯の今回の特選作品は、岡山県・大島にある銅の製錬所跡を題材にした『廃虚』で、100号の大きさの労作である。) 掲載写真は「昨年の『ぼたん会』(八期生会)」のときの関田さんと私のスナップ写真です。

比企 重

61年度版 同窓会名簿

5年振りに新名簿を発行しました。申込みがまだの方は、お早くお申込み下さい。

- ◆収録概要
- ◆第1回卒業生より第52回卒業生(昭和61年3月卒業)
- ◆創設時より昭和61年3月までの大学院の卒業生



- ◆価格
- ◆一冊 6,000円(送料込)
- ◆予約金払込方法
- ◆郵便振込
- ◆銀行振込

- ◆問合せ先
- ◆大阪経済大学同窓会事務局
- 06・328・2431代
- 大阪経済大学同窓会 名簿係宛
- 大隅2・2・8
- ◆オリジナル・テレホンカード

- ◆ステッカー(シール)
- ◆ステッカー(シール)

異動のあったときは、ただちにご連絡ください。

- ◆住所変更 ◆呼称変更
- ◆勤務先変更 ◆所属部課
- ◆役職異動 ◆電話番号変更

などの場合は、同封してあります「名簿作成調査票」をご利用のうえ、本部へお届けください。

とくに、官公庁、金融機関、損保関係、国立学校にご勤務の会員のご協力をお願い申し上げます。

コンピューターシステムの名簿をご利用ください。

同窓会会員名簿は、現在、同窓会独自でシステム化したコンピュータによる管理体制を採用しておりますので、

- 1、郵便番号による都道府県市町村別会員名簿作成
- 2、ゼミ別会員名簿作成
- 3、卒業回数別会員名簿作成
- 4、クラブ別会員名簿作成
- 5、業種別会員名簿作成
- 6、封筒用漢字ラベル作成

などのアウトプットが可能です。会員の皆さん、大いにご利用ください。



## 学 歌

作詞 秋本吉郎  
作曲 柴田南雄

1. 大淀の  
水は春ゆく ゆたかな春だ  
芽立つ葦原 緑が沁みる  
この若さ  
希望は明るい 蒼穹かけて  
永遠の青春 みなぎる学園  
大阪 大阪経済大学

2. 大樟の  
蔭は裕々 夏風そよぐ  
学徒師弟が 幹負いもちて  
諸汗に  
確かと植えた 融和の象徴  
繁れ自由の 花さく学園  
大阪 大阪経済大学

## 学 園 歌

作詞 黒正 巖  
作曲 水野康孝  
臨みて高く聳り立つ  
産業日本を双肩に  
力の糧の広野原  
船車どよもす八衢を  
科学日本の究明に  
心の花の咲く園生

1. 商都の東北灘江に  
我等が昭和学園は  
担うて進む若人の  
2. 黒煙天をひた蔽い  
静かに臨む学園は  
生命を注ぐ若人の

## 逍 遥 歌

作詞 中村行男  
作曲 松川圭一

1. 此処 城北に迎えたる  
紺碧淀の春の夢  
惜春の賦のただよば  
薫風静かに流れ来て  
逝きし苦節の十余年  
歴史は吾等に教うなり

2. 水や濁れる人の世に  
真理求めて遊ぶ子の  
友愛久遠に変わるまじ  
汝が悲しみに我は泣き  
吾が喜びに君や舞う  
惜みて励め我が青春を



◆61年度の購読料のお願い  
「自らの購読料で『澱江』を育てよう。1,000円にご協力をお願いします。」  
を合言葉に、59年度からスタートしました澱江購読料につきましては、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。  
60年度の澱江購読料は、500名の方から、649,380円頂戴いたしました。ありがとうございます。  
このご声援に見合うような澱江をと、編集氏一同、一ふんばり、二ふんばり頑張つて参ります。  
61年度の購読料につきましては、11月10日現在で、すでに65名、109,000円集まつております。引き続きよろしくご協力のほどお願いいたします。何卒よろしくご声援ください。  
(広報部)

### ◆新同窓会ホール・事務室 61年4月オープン

50周年記念館の完成により、同窓会ホールと事務室が、本館の4階から記念館の最上階(7階)へ

移転しました。  
新しい事務室・ホールは、ホテル並みの内装・調度で、同ホールからの眺望は素晴らしく、すでにOB会等で活用されています。  
ご来阪の際は、ぜひ、母校ならびに同窓会事務局へお立ち寄り下さい。そして、母校、同窓会の充実発展のための会合にご活用下さい。  
事務局のスタッフも気持ちを新たに張り切っていますので、激励かたがたお越し下さい。心から歓迎いたします。

### ◆『黒正巖先生遺稿集』の発行予定

母校創立50周年記念を祝して、同窓会は『黒正巖先生の思い出(仮題)』を現在編集していますが、学内の日本経済史研究所が奇しくも時を同じうして、『黒正巖先生遺稿集』を編集しており、近近に出版する予定になっています。  
『黒正先生遺稿集』は、黒正家からご提供いただいた資料を、先学生のご高弟、三橋時雄先生(京都大学名誉教授)のお力添えを得て、日本経済史研究所から刊行するものです。黒正先生の遺稿集として

は、百姓一揆の専門的な研究を収録した『百姓一揆の研究 続編』が、昭和34年に刊行されています。これは、戦前に発表されたものをまとめたもので、今回の遺稿集は、戦後から逝去されるまでの短い期間にも拘わらず、ご研究に、また青年教育にと、献身的なご努力を傾けられた先生の一面を知ることの出来る遺稿を集めたものです。  
同遺稿集は限定出版で非売品になっておりますので、ぜひ、一読したいと思われる同窓生の皆さんには入手不可能なため、とくに、日本経済史研究所の紙型を借りて、『黒正巖先生の思い出(仮題)』の姉妹編として、同窓会で増刷りして発行することとなりました。大きさはB6版、170ページ程度、値段は未定です。何れきまりましたらご連絡いたします。  
主な内容は次のとおりです。

- 『黒正巖先生遺稿集』  
日本経済史研究所編
- 第一部 日本農政史
- 第二部 講演、随想、その他
- 新春雑感
- 年頭雑感
- 青年教育を如何になすべきか
- 農業協同組合法実施一周年

- に当りて
  - 吉田考古学会の任務
  - 新憲法前文について
  - 新学制問題に就いて
  - 第六高等学校再建準備会
  - 六高復興祭にあたりて
  - 傾財談義
  - やぶくぐり
  - 川口清健救免の嘆願書
  - 黒正巖博士年譜
  - 黒正巖博士著作目録
- 資料をさがしています  
◎『昭和商学報』 昭和12年発行  
◎『大阪経大新聞』 昭和24年発行  
バラでも結構です  
生きた資料として年史編纂に使わせていただきます。  
大学広報部

## 編 集 後 記

▼待望の50周年記念館が今春竣工しました。重厚で近代的なそのたたずまいは、本学の伝統と未来を象徴しているようです。是非ご来学下さい。  
▼大阪市支部の誕生により支部総数33となりました。休眠、胎動中の支部の奮起を期待します。▼50周年募金は62年3月末まで。▼50周年事業期間中の3年間だけでもと、ご理解をいただいたデラックス版、来年からは縮小?かも。▼61年度澱江購読料もよろしく願います。▼師走発行となった今回の『澱江86』、コタツでゆつくりとご覧になり、ご意見をお寄せ下さい。▼新企画「話題の同窓生」、今後とも発掘、ご紹介にご協力下さい。▼数々のご投稿ありがとうございました。止むなく割愛した方には心から感謝します。

## でんこう 澱江 1986

- 発行日 昭和61年12月20日
- 編集 広報部
- 発行所 大阪経済大学同窓会  
〒533 大阪市東淀川区大隅2-2-8  
電話(06)328-2431
- 印刷 凸版印刷株式会社  
〒553 大阪市福島区海老江3-22-61  
電話(06)454-3256



經  
市